

第 68 回通常総会 議案書附属資料

1. 理事会・監事会の 2024 年度開催報告…………… P. 02
2. 理事会委員会活動報告…………… P. 10
 - (1) 全国組織委員会…………… P. 11
 - (2) プロジェクト・政策委員会…………… P. 34
 - (3) 大学生協奨学制度推進委員会…………… P. 39
3. ブロック活動報告…………… P. 41
 - (1) 各ブロック報告…………… P. 42
 - (2) 各ブロック運営委員会・常任運営委員会の 2024 年度開催報告…………… P. 58
4. 大学生協設立支援金の運用状況報告…………… P. 73
5. 2025 年度 会費一覧…………… P. 75
6. 2025 年度 大学生協連への出資金増資要請、および減資…………… P. 84



2024 年 12 月 14 日～15 日 於／つくば国際会議場
全国大学生生活協同組合連合会

1. 理事会・監事会の2024年度開催報告

<2024 年度 理事会開催報告>

■第1回理事会

1. 日時 2023年12月16日(土) 11:30~11:40
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム(オンライン)
3. 出席者(出席理事) 理事総数42名中、38名出席
(途中出席・途中退席) なし
(欠席理事) 4名
(出席監事) 7名
(欠席監事) なし
4. 議長 中森一朗 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 代表理事選定の件
- 第2号議案 会長理事、副会長理事、専務理事及び常務理事選任の件
- 第3号議案 業務執行理事及び執行役員選定の件
- 第4号議案 2024年度理事会委員会の設置及び委員長等選任の件
- 第5号議案 常任理事会の構成決定の件
- 第6号議案 顧問選任の件
- 第7号議案 役員報酬決定の件
- 第8号議案 理事以外の学生常勤及び教職員委員会副委員長の手当の額決定の件
- 第9号議案 専務理事・常務理事に事故あるときの職務代行順序決定の件

【報告事項】

- 第1号議案 コープ共済連への役員の出向について
- 第2号議案 コープ共済連大学生協部会運営委員の推薦について
- 第3号議案 理事会議事録の迅速な作成のための「代理押印承諾方式」について
- 第4号議案 2024年度の諸会議日程について

■第2回理事会

1. 日時 2024年2月17日(土) 11:30~17:02
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム(オンライン)
3. 出席者(出席理事) 理事総数42名中、40名出席
(途中出席・途中退席) 6名
(欠席理事) 2名
(出席監事) 7名
(欠席監事) なし
4. 議長 西田伊吹 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 会員生協役職員教育研修積立金によるセミナー費用等参加費用補助支給基準設定の件
- 第2号議案 正規職員・キャリアパートナー職員就業規則および正規職員給与規則一部改正の件
- 第3号議案 定時職員およびパートタイマー・臨時職員等職員就業規則一部改定の件
- 第4号議案 幹部人事決定の件
- 第5号議案 ブロック特別会費決定の件
- 第6号議案 大日本印刷㈱とのDECS事業の業務システム導入に伴う契約書締結の件
- 第7号議案 大学生協大阪会館の土地購入決定及び一般定期借地契約締結の件

【協議事項】

- 第1号議案 令和6年能登半島地震についての対応状況
第2号議案 大学生協の全体概況について
第3号議案 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
第4号議案 新社会人コース事前申込受付 対応方針について
第5号議案 第67回通常総会付随企画「実践事例交流会」のまとめと振り返りと今後に向けて
第6号議案 2024年度新学期活動の推進と2025年度に向けて
第7号議案 「2023年度組合員の参画する場づくり」の推進ポイントについて

【報告事項】

- 第1号議案 大学と生協をめぐる情勢について
第2号議案 第67回通常総会開催報告
第3号議案 理事会・理事会委員会等報告
第4号議案 会員生協・ブロック活動報告
第5号議案 教育ICT事業の協業化の進捗について
第6号議案 全国事務局報告
第7号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第3回理事会

1. 日時 2024年5月18日（土）10:00～16:19
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム（オンライン）
3. 出席者（出席理事）理事総数42名中、34名出席
（途中出席・途中退席）5名
（欠席理事）8名
（出席監事）6名
（欠席監事）1名
4. 議長 松井貴哉 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 第68回通常総会議案作成計画決定の件
第2号議案 「日本消費者教育学会」「生活経済学会」加入の件
第3号議案 「セミナー等参加費用補助支給基準」の対象範囲変更の件
第4号議案 執行役員及び常任理事会を構成する役員の解任並びに業務執行理事選定と任務追加の件
第5号議案 幹部人事決定の件
第6号議案 正規職員退職金規則一部改正の件
第7号議案 全国加入Webシステムのシステム分離方針決定の件

【協議事項】

- 第1号議案 大学生協の全体概況について
第2号議案 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
第3号議案 「全国共同仕入事業」の政策検討方針について
第4号議案 第68回通常総会の開催と当日の運営について
第5号議案 共済健康安全推進方針について
第6号議案 2024年度新学期活動の推進と2025年度に向けて
第7号議案 「2024年度組合員が参加し協同する場作り」の推進ポイントについて

【報告事項】

- 第1号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第2号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第3号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第4号議案 教育 ICT 事業の協業化の進捗について
- 第5号議案 全国事務局報告
- 第6号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第4回理事会

1. 日時 2024年7月20日（土）10：00～16：31
2. 会場 大学生協杉並会館会議室および zoom システム（オンライン）
3. 出席者（出席理事）理事総数 42 名中、38 名出席
(途中出席・途中退席) 6 名
(欠席理事) 4 名
(出席監事) 6 名
(欠席監事) 1 名
4. 議長 太田真沙希 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 全国大学生協連第68回通常総会開催日程・会場及び推進体制決定の件
- 第2号議案 全体区分役員候補者推薦委員および役員報酬検討委員交代の件
- 第3号議案 パートタイマー・臨時職員等就業規則一部改定の件
- 第4号議案 幹部人事決定の件
- 第5号議案 内部監査規則一部改正の件

【協議事項】

- 第1号議案 大学生協の全体概況について
- 第2号議案 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
- 第3号議案 「経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度」第一次案について
- 第4号議案 「全国共同仕入事業」の会員生協討議資料及び検討タスクの設置について
- 第5号議案 2024年度全国方針の上半期総括と下半期に向けてのポイント
- 第6号議案 「2024年度組合員が参加し協同する場作り」の推進ポイントについて
- 第7号議案 2024年度総会・総代会の振り返りと2025年に向けて
- 第8号議案 第68回通常総会の開催と当日の運営について

【報告事項】

- 第1号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第2号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第3号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第4号議案 教育 ICT 事業の協業化の進捗について
- 第5号議案 全国事務局報告
- 第6号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第5回理事会

1. 日時 2024年9月21日（土）10：00～16：29
2. 会場 大学生協杉並会館会議室および zoom システム（オンライン）

3. 出席者（出席理事）理事総数 42 名中、38 名出席
（途中出席・途中退席） 7 名
（欠席理事） 4 名
（出席監事） 7 名
（欠席監事） なし

4. 議長 田村莉穂 理事

5. 議事

【議決事項】

- 第 1 号議案 第 68 回大学生協連通常総会運営計画等決定の件
第 2 号議案 全国加入 Web システムのシステム分離方針に基づく分離開発決定の件
第 3 号議案 2024 年度決算方針及び 2025 年度予算案決定の件
第 4 号議案 子会社等の 2024 年度決算見込みと 2025 年度事業計画承認の件
第 5 号議案 大学生協連会員経営支援金支給決定の件
第 6 号議案 2025 年度理事会委員会「事業と新学期活動推進委員会」設置提案の件

【協議事項】

- 第 1 号議案 大学生協の全体概況について
第 2 号議案 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
第 3 号議案 経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度（案）設計について
第 4 号議案 第 68 回通常総会議案第 1 次案に関する討議
第 5 号議案 「総会議案検討会議・ブロック大会・全国パワーアップ交流会」の開催について
第 6 号議案 「2024 年度組合員が参加し協同する場づくり」の取り組み到達と 2025 年に向けて
第 7 号議案 2024 年度総会・総代会振り返りと 2025 年度に向けて

【報告事項】

- 第 1 号議案 大学と生協をめぐる情勢について
第 2 号議案 理事会・理事会委員会等報告
第 3 号議案 会員生協・ブロック活動報告
第 4 号議案 電子教科書のコンテンツ仕入契約の変更について
第 5 号議案 教育 ICT 事業の協業化の進捗について
第 6 号議案 全国事務局報告
第 7 号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第 1 号議案 監事（会）報告

■第 6 回理事会 <予定>

1. 日時 2024 年 11 月 23 日（土・祝）10：00～
2. 会場 大学生協杉並会館会議室および zoom システム（オンライン）

■第 7 回理事会 <予定>

1. 日時 2024 年 12 月 13 日（金）16：00～
2. 会場 つくば国際会議場および zoom システム（オンライン）

<2024 年度 監事会開催報告ならびに監査実施報告>

第1回監事会

日時 2023年12月16日(土) 11:44~11:49

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

出席 7名(6名 Web 出席)

議題

協議事項 1. 監事会議長互選の件

協議事項 2. 特定監事互選の件

協議事項 3. 監事報酬の件

報告事項 2024年度監事(会)監査活動方針と年間計画(案)について

第2回監事会

日時 2024年2月17日(土) 17:21~18:10

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

出席 7名(6名 Web 出席)

議題

協議事項 1. 2023年度期末監査意見の今後の取り扱いについて

協議事項 2. 2024年度監事(会)監査活動方針と年間計画について

協議事項 3. 2024年度期中監査実施計画について

報告事項 内部監査室報告

第3回監事会

日時 2024年5月18日(土) 16:35~17:05

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

出席 6名(6名 Web 出席)

欠席 1名

議題

協議事項 1. 2023年度期末監査意見への回答と今後の取り扱いについて

協議事項 2. 2024年度期中監査実施計画について

報告事項 内部監査室報告

第4回監事会

日時 2024年7月20日(土) 16:50~18:31

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

出席 6名(4名 Web 出席)

欠席 1名

議題

監査 DECS 事業に関する現状と課題について

協議事項 1. 2024年度期中監査について

- 協議事項 2. 今後の監事(会)活動計画について
- 協議事項 3. 2025 年度監事定数と選任について
- 報告事項 内部監査室報告

第 5 回監事会

- 日時 2024 年 9 月 21 日 (土) 16:45~17:32
- 場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム
- 出席 7 名 (6 名 Web 出席)

議題

- 協議事項 1. 2024 年度期末監査について
- 協議事項 2. 意思決定書の閲覧による監査の実施について
- 確認事項 1. 2025 年度監査費用 (監事会) 予算について
- 確認事項 2. 監事監査規則の改定について
- 確認事項 3. 第 6 回監事会について
- 報告事項 内部監査報告

第 6 回監事会<予定>

- 日時 2024 年 11 月 14 日 (木)
- 場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

議題

- 協議事項 1. 監事候補者の選任を総会に付議することに関する協議
- 協議事項 2. 監事の報酬について

第 7 回監事会<予定>

- 日時 2024 年 11 月 18 日 (月)
- 場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

議題

- 協議確認事項 監査報告書について

第 8 回監事会<予定>

- 日時 2024 年 11 月 23 日 (土)
- 場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

議題

- 協議事項 1. 意思決定書の閲覧による監査結果の対応について
- 協議事項 2. 2024 年度期末監査の振り返りと期末監査意見書について
- 協議事項 3. 大学生協連総会監査実施計画について

第 9 回監事会<予定>

- 日時 2024 年 12 月 13 日 (金)
- 場所 つくば国際会議場

議題

協議事項 2025 年度監事(会)監査活動方針と年間計画について（申し送り事項）

2024 年度期中監査及び代表理事と監事との会合

日時 2024 年 7 月 3 日（水） 13：00～17：00

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

出席 7 名（7 名 Web 出席）

主な監査内容

- 1) 2024 年度上期決算概況報告ならびに財務・資金管理状況について
- 2) 2023 年度期末監査意見と回答について
- 3) 業務システムの現状と今後の課題について
- 4) 学生総合共済事業の現状と課題について（コープ共済連との連携について）

代表理事と監事との会合

監事監査規則第 25 条（代表理事との定期的会合）にもとづく、代表理事との定期的会合
協議テーマ

- (1) 子会社 UCOM に対する経営支援計画の実施状況について
- (2) 大学生協「再生」の状況と次の方向性について
- (3) 大学生協の周りの学生組織をどう支援していくかについて

2024 年度期末監査及び代表理事と監事との会合＜予定＞

日時 2024 年 11 月 18 日（月）

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム

主な監査内容

- 1) 2024 年度事業報告書・決算関係書類等について
- 2) 厚生労働省の検査結果について
- 3) 意思決定書閲覧監査について
- 4) 子会社（UCOM・大学生協事業センター）の状況と今後の方向性について

代表理事と監事との会合

監事監査規則第 25 条（代表理事との定期的会合）にもとづく、代表理事との定期的会合
協議テーマ

- (1) 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
- (2) 「経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度」について

第 68 回通常総会監査＜予定＞

日時 2024 年 12 月 14 日（土） 15 日（日）

場所 つくば国際会議場

主な監査内容

1. 総会受付・資格審査
2. 総会運営全般

以上

2. 理事会委員会等活動報告

(1) 全国組織委員会

- 1) 全国学生委員会
- 2) 全国教職員委員会
- 3) 全国院生委員会
- 4) 全国留学生委員会

全国組織委員会

【全国学生委員会】

全国学生委員会 2024 年度活動方針総括

各ブロック・エリアの学生委員長と学生常勤で構成される全国学生委員会は、第 67 回通常総会で議決した活動テーマ及び活動方針に基づいて活動して参りました。今年度の成果と来年度に向けた検討事項をまとめ、2024 年度の活動のまとめとします。

0. 全国学生委員会の位置づけ

理事会規則第 13 条及び、全国組織委員会に関する規則第 2 条に基づき、学部学生で構成される全国組織委員会である。連合会の目的である、組合員の生活改善・向上および豊かな学園生活の実現のために、理事会で提起された事項を軸に、学部学生等の組織として活動する。

1. 全国学生委員会の役割

全国組織委員会に関する規則に基づき、以下の役割を担う。

第3条 各委員会は、総会及び理事会の決定にもとづき、次のことを行う。

- (1) 総会、理事会等が決する政策や、代表理事、業務執行理事、執行役員による会の業務執行に、会員の各階層の組合員や役職員の生活・実態・要望等を反映させる
- (2) 会の政策や決定を、各会員の理事会や階層別の役職員等に伝達するとともに、各委員会及びブロックにおいて具体化する
- (3) 会員の実践や課題等を集約し、各会員に普及すべき事例を紹介する
- (4) その他、各委員会委員長が必要と認めた事項

2. 全国学生委員会の活動軸について

全国学生委員会は、当委員会の目的である「組合員の生活改善・向上及び豊かな学園生活の実現」を達成するために、今年度大切にしたいこととして以下の通り設定します。

(ア) 全国理事会で協議・決定された内容を、ブロック・会員生協を通じて実現できるように具体化する委員会

全国大学生協連理事会のもとに設置された階層別委員会として、大学生協グループ全体で議論されている内容を、学生組合員の視点で分析・提案し、組合員の声や生活実態を踏まえた活動を会員生協ができる全国政策を実現していきます。また、ブロックを中心とした会員生協への支援を通じて、会員生協学生委員会が積極的に、組合員活動に取り組めることを目指します。

(イ) 学生組合員の視点で、自らの生活を向上・改善できる仲間を増やしていくために実践をする委員会

学部学生で構成される全国組織委員会として、学生の目線で自らの生活を見つめなおし、同じ学生の仲間や上級生・教職員・生協職員など多様な階層の仲間とともに、生活の向上・改善できることを目指します。また、よりよい大学生活の実現を目指す中で、学部学生としての主体的な参加や学びと成長を大切に、委員会として具体的な行動を実践していきます。

(ウ) 全国のブロック学生事務局活動の機能向上を実現するために具体化する委員会

各ブロック・エリアの学生委員長と学生常勤で構成される委員会として、ブロックの在り方やブロック運営の視点でブロック学生事務局活動の機能向上やブロック学生委員会等の機関会議について協議します。全国学生委員会間の学びあい・励ましあいを通じてよりよいブロックづくりを目指します。

3. 全国学生委員会の活動方針の振り返り

2024 年度の全国学生委員会では、「全国学生委員会の活動軸」を具体化する形で 3 つの活動方針と、それぞれの方針で目指す具体的な事柄を掲げました。活動軸(ア)について「2024 年度全国の大学生協の活動方針」の視点で 2 つの具体的な事柄、(イ)について「大学生協「再生」基本方針」の具体化として 3 つの具体的な事柄、(ウ)について 3 つの具体的な事柄を設定しました。

全国学生委員会では、全国の大学生協で取り組む活動方針を学生組合員として実現していくために、

全国・ブロックの連帯や事務局機能を最大限発揮し、各会員生協での実践をサポートしていくことを目指し活動して参りました。

ブロック学生事務局は少しずつ会員生協への訪問や対面でのセミナー開催等ができるようになりました。実際に会って感じた“温度感”や学生の様子を報告しあい、今の学生委員会に必要なことを旺盛に議論できた1年間となりました。2024年度も引き続き全国方針に基づき3つのチーム(組合員が参加し協同する場づくりチーム・学びと成長チーム・広報チーム)を設けました。チーム制度を取り入れることで、その時に必要なことにスピード感を持って取り組むことが重要でしたが、改めて位置づけについては再考する必要があります。

3-1. 2024年度全国学生委員会の活動内容について

- ◇ 1月、2月、4月、5月、7月、9月、11月の計7回全国学生委員会を実施しました。1月、2月、7月は対面で実施しました。
- ◇ 3つのチームは、それぞれ年3~4回会議を行いました。会議に限らず適宜 teams で連絡を取り、必要なことを協議し、進めました。

3-2. 2024年度全国学生委員会方針に基づいた振り返り

<p>1. 全国理事会で決めたことを階層別(学生)の視点から具体化します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 全国の大学生協の活動方針の具体化を行います。● 組織委員会同士や全国大学生協共済推進委員会、全国社会的課題委員会との連携を強めます。
到達状況
<ul style="list-style-type: none">○ <u>会員生協の総会・総代会開催状況の聞き取り調査を実施し、172 生協から集約シートを回収することができました。</u><ul style="list-style-type: none">✓ 全国学生委員会でも総(代)会集約シートの分析を行い、各ブロックの連帯企画の参考や、次年度のブロックの推進につなげられるよう、協議しました。✓ 24年度の総(代)会前後に、総代とのつながりをつくれるよう、総(代)会の事前事後の取り組みや実践事例をまとめて会員生協に発信できました。○ <u>全国の大学生協で取り組むべきことについて、全国学生委員会の3つのチームで協議し推進しました。</u><p>〈学びと成長チーム〉</p><ul style="list-style-type: none">✓ 新学期の学びと成長について全国の事務局とともに推進の視点を統一することができました。✓ 学生生活実態調査に基づいて読書推進に関して学生事務局の学び、成長した実感を交流しました。✓ 全国読書コミュニティの推進について会員生協の活動やブロックでの推進を紹介しました。<p>〈組合員が参加し協同する場づくりチーム〉</p><ul style="list-style-type: none">✓ 24年度の総(代)会前後に、総代とのつながりをつくれるよう、総(代)会の事前事後の取り組みや実践事例をまとめて会員生協に発信できました。✓ 店舗(購買・食堂)をよりよいものにするために時期ごとに推進・提案するポイントを提示しました。✓ 24年度、組合員の運営参加をより広げるために、「組合員が参加し協同する場づくり」の具体化協議をしました。24年度の理事会での提案の方法やその後のブロックでの推進について考えました。<p>〈広報チーム〉</p><ul style="list-style-type: none">✓ 学生委員会インタビューを7ブロックで行う計画を立て、実行できました。(現在は1ブロック終了) —公立はこだて未来大学生協、弘前大学生協、茨城大学生協、愛知教育大学生協、滋賀県立大学生協、富山県立大学生協、徳島大学生協、鹿児島大学生協にインタビュー予定○ <u>新学期方針の達成を目指すために、年間を通じて新学期の取り組み集約や推進に向けた協議し、推進しました。</u>

<ul style="list-style-type: none"> ✓ 25 年度新学期方針策定のために、「組合員をど真ん中に」とはどういうことか、新学期の活動と事業で求められることは何か、25 年度新学期に必要なことは何かなどを全国学生委員会で協議しました。 ✓ 新学期の早期化に合わせ、全国学生委員会でオープンキャンパスや高校訪問など、早期の取り組みに目を向け 24 年度新学期方針の推進状況を確認しました。 ✓ 「新学期の事業と政策の答申」の具体化の一つとして、新学期プロジェクト(職員・学生委員・学生アドバイザー等での新学期準備会議)や生活事例まるごと学習会の推進を行っています。 ✓ 各ブロックでの新学期推進の視点が学生と職員で統一できるよう集約 FM を策定しました。 <p>○ <u>全国理事会で確認した「組合員が参加し協同する場づくりの具体化」を各ブロックで推進するために、各ブロックではいつどのような提案をするのか、どのような現状があるのかを全国学生委員会で協議しました。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各ブロック連帯等でよりよい総会・総代会についてブロック学生事務局から提案することがあります。
2025 年度への送り事項
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全国方針の具体化、全国の大学生協で取り込まれることの推進をスピード感を持って行えるよう、次年度もチーム別の体制を検討しましょう。 ◇ 総(代)会集約シートは、ブロックごとの集約と全国大学生協連での集約が重複している可能性があります。会員生協にとっても、連帯組織にとっても有意義なものにするために改良していく必要があります。 ◇ 「組合員の参加し協同する場する場づくり」の具体化は、各ブロックで、各ブロックの現状に沿った具体化がされるよう、推進方法を再整理する必要があります。全国理事会の協議と全国学生委員会の協議を経て、各ブロックで活発に全国の大学生協の活動方針①の取り組みが行われるよう進めていきましょう。 ◇ 引き続き、25 年度新学期方針と事業と新学期政策の答申の具体化を全国学生委員会内でも行っていきましょう。

<p>2. 全国の学生委員会の活動に貢献し、組合員の生活向上・会員生協の発展につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全国の学生委員会組織の再建・再生・創造・挑戦に取り組みます。 ● 全会員生協で学生委員の仲間を増やすこと(再建)・大学生協の魅力を活かした活動を増やすこと(再生)に力を入れて取り組みます。 ● 元気な学生委員会の事例を横展開します。
到達状況
<p>○ <u>組合員活動研修セミナー2024 の実施</u> (2024 年 2 月 11 日～14 日/68 会員生協 315 名(運営含む)の参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 学びの中で重視していた「一人の組合員」という視点・意識が全国で広がりました。 ✓ 企画外では、学び合いスペースを作成し、各ブロックのおすすめの取り組みやひとことカード企画を実施し、様々な取り組みの学び合いを行うことができました。 <p>○ <u>全国学生委員長セミナー2024 の実施</u> (2024 年 8 月 29 日・30 日/58 会員 170 名(運営含む)の参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ オンラインで開催し、全国の正副学生委員長から参加しやすい形態で実施することができました。 ✓ 学びの中では、SEQ を受診し学生委員会がどういう姿を目指したいかという視点からどのような素養を強めるかを確認することができました。 <p>○ 「<u>学生委員会の再生</u>」に向けて、様々な取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 全国の学生委員会が仲間を増やせるよう、学生委員募集ポスターの FM を配布しました。 ✓ 全国の学生委員数は、2024 年 9 月時点で 9,218 名になりました。

2025 年度への送り事項

- ◇ 学生委員会の再建・再生・創造・挑戦は 2025 年度も継続課題です。2025 年度はブロック学生委員会とのつながりを強めて、会員生協の学生委員会がお互いの活動を学び合いながら学生委員会の再建・再生・創造・挑戦に取り組んでいきましょう。
- ◇ 「学生委員会マッピング」の推進を行きましょう。学生委員会マッピングは自大学生協学生委員会の強みや、自分たちの興味関心をもとに展望を考えられるツールです。今後も夏合宿、引継ぎなど様々な場面での活用されるよう、推進していきましょう。

3. 全国のプロック学生事務局活動の会員支援・分野推進をサポートします。

- 全国学生事務局合宿でブロック学生事務局同士が学びあい、励ましあう機会をつくります。
- 分野別ミーティングを開催し、分野推進をサポートします
- Teams を活用した学生事務局同士の交流を進めます。

到達状況

- 1 月・4 月・9 月に全国学生事務局合宿を開催しました。
 - ✓ 4 月はオンラインで開催、1 月と 9 月は対面で開催しました。オンラインでも学生事務局として必要なことを学ぶ機会、学生事務局同士のつながりをつくる機会を設けることができました。
 - ✓ 対面で開催した 9 月の全国学生事務局合宿では、全体で学び合うだけでなく自分自身の学生事務局としての活動を交流し合い全国の学生事務局のネットワークである強みを活かすことができました。
- 新学期分野や組員交流・組織運営分野、学びと成長分野では、各ブロックの分野担当の事務局が集う場として、「しんがつきーずミーティング」「くみくみーずミーティング」「まなせーずミーティング」を実施し、開催しました。
 - ✓ 各地からの取り組みの持ち寄りも行い、学生事務局同士が情報交換・連携することができました。
 - ✓ 2024 年度は、ブロック職員・各事業連合職員とのつながりも強化し、各ミーティングで学生事務局と職員が学び合える場づくりが行えました。
- 分野別の Teams グループを作成し、情報共有を図りました。
 - ✓ 全国学生委員会同士の学び合いも見られました。
 - ✓ 一方で、多くの分野では常勤学生委員からの一方的な発信で終わってしまい、チャットを活用した情報交換を促進することが求められます。

2025 年度への送り事項

- ◇ 全国学生事務局合宿の内容について、全国学生委員会で議論はできたものの、非常勤メンバー(各地の学生委員長・副学生委員長)の意見を最大限入れられたかについては課題が残ります。次年度以降は、より学生事務局の支援機能向上に向けて、全国学生委員会非常勤メンバーとの連携を強め、教育・成長につなげられる合宿を目指す必要があると考えます。
- ◇ オンラインツールを活用し、全国の学生事務局がブロック事務局としての役割を発揮できるように工夫することが必要です。
- ◇ オンラインミーティング・Teams・SharePoint などを活用し、全国の事務局同士が学び合い・励まし合いを行えるように工夫しましょう。
- ◇ 全国の学生事務局が一同に介し、全国で頑張る仲間がいることを実感できる機会が、学生事務局のモチベーションにもつながります。2025 年度も一同に介せる機会をつくっていきましょう！
- ◇ 常勤学生委員が中心となり、全国学生事務局ニュースの発行を強化し、全国の学生事務局の経験や頑張りを見える化する取り組みを広げていきましょう。

【全国教職員委員会】

全国教職員委員会 2024 年度の活動のまとめ及び 2025 年度活動方針（委員長案）

2024 年 11 月 10 日
全国教職員委員会
委員長 只友景士

I 2024 年度の活動のまとめ

2024 年度メインテーマ

協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える

(1) 教職員の生活や教育・研究を支援する活動

～教職員の生活や教育・研究の支援をすすめる、大学生協の意義を教職員層に広めていきましょう～

全国教職員委員会は、第 4 回 9 月 30 日（金）のみオンライン開催でしたが、第 1 回 2 月 18 日（日）、第 2 回 5 月 19 日（日）、第 3 回 7 月 21 日（日）、第 5 回 11 月 24 日（日）と対面開催を基本に全国教職員委員会を実施しました。また、毎週 Web 高円寺（Web による教職員委員同士の交流会）を開催し、各大学での学事や生協店舗の状況、その他教職員を取り巻く諸問題について交流しました。

私たち教職員もコロナ禍により、オンライン授業対応やコロナ流行下での学生指導など、教育・研究において大きな変化を求められてきましたが、2023 年に新型コロナウイルスが 5 類に移行したことを受けて、大学の現場でもアター／ウイズ・コロナのフェーズに移行し、大きな変化がありました。ChatGPT に代表される生成 AI の急速な進歩と普及が、大学教育の現場に大きな影響を与えています。アター／ウイズ・コロナの時代の新たな変化に加えて、生成 AI の発達と普及にも対応して、教職員同士の交流や講義方法の学び合いを積極的に進めていくことが求められています。

(2) ブロック教職員委員会の活性化と組合員加入推進

～ブロック教職員委員会活動の活性化を支援してゆきます～

下記の 3 つの目標を達成するために、全国教職員委員会とブロック教職員委員会の連携を深め、ブロック教職員委員会活動の活性化を支援して行きました。

- ① 新歓パンフレットなどを用いた教職員の生協加入促進
- ② 教職員ニーズの把握と交流活動
- ③ 教職員委員の発掘と次世代の担い手づくり

各ブロックにおいて教職員や理事長を対象とした会議・交流会などを対面もしくはオンラインで開催しました。新歓パンフなどを用いた教職員の生協加入促進や教職員委員の発掘は限られた会員生協にとどまりました。

教職員の交流を目的とした活動を、各会員生協・ブロックなどで取り組み、大学生協の意義を広めました。各ブロックにおいて、理事長・教職員を対象としたセミナー・交流会などを企画開催しました。

関西北陸ブロックでは、10 月 26 日に対面形式により会員代表者会議&ブロック理事長会議（理事長・専務理事会）と全国総会議案検討会議が同時開催されました。関西北陸ブロック会員代表者会議&ブロック理事長会議では、加賀美太記先生（阪南大学）より「大学生協再建の課題を協同組合の原点から考える」と題した講演がなされた。こうした教職員セミ

ナ一等のブロックの教職員向け各種企画の広がりから、全国セミナーへの参加に繋げることが期待されます。

各ブロックの活動報告を入れます。

(3) 学生の生活や学びを支援する活動

～大学生協らしい学生支援の活動を推進してゆきましよう～

大学生協において、学生支援の活動をすすめる意義について、理解を広めるとともに、学生支援活動の実践例のさらなる掘り起こしを行い、共有することで、活動のさらなる広がりを目指しました。特にコロナ禍で大きく変化した学生の学びや生活の実態を把握し、実態にあった支援を考えました。学生が大学の成果以外での学びも保障できるよう呼びかけました。

大学生協奨学財団についても周知をすすめ、教職員組合員などに対する個人賛助会員への呼びかけを財団と協力しながらすすめました。

(4) プロジェクト活動の目指す方向とセミナーへの取り組み

～教職員の専門性を発揮してプロジェクトの活動をすすめます～

(プロジェクトの設定)

2023 年度に引き続き、「学びと成長、読書+α」「食と安全」「平和と民主主義」「協同組合」「環境と防災」の五つのプロジェクトの活動を推進しました。「平和と民主主義」と「協同組合」は、ほぼ合同でプロジェクトの活動を進めてきました。2024 全国セミナーの開催準備の議論の中で、効果的なプロジェクト運営のためにプロジェクトの再編については引き続き議論が必要です。

(プロジェクト活動)

プロジェクトでは、それぞれのプロジェクトの実情やメンバーの専門性に応じて、工夫を凝らした活動をすすめました。プロジェクト活動を全国に発信するために、広報委員会が情報の取り纏めをおこない、連合会ホームページ、SNS を通じて発信に取り組みました。

各プロジェクト単位で、全国教職員委員会で取り上げるべきテーマ・課題などについても議論しました。プロジェクトごとに、活動目標を定め、2024 全国セミナー、理事会設置の他の委員会、各ブロック主催のセミナー等と連動した取り組みを進め、教職員委員会の活動を広め、活性化する方策を議論しました。

全国教職員委員会のプロジェクトが先頭に立ち全国の関連する活動のネットワークの結節点となるために、全国教職員委員会のプロジェクト活動が、全国のネットワークの結節点となるような活動は意義深く、今後も進めていく必要があります。

(5) 2024 全国教職員セミナーの成功に向けた取り組み

～大学生協らしい学生支援の活動をすすめ、2024 年全国教職員セミナーの成功に向けて準備を進めましよう～

2024 全国セミナーの開催に向けて、全国教職員委員会はブロック教職員委員会と連携しながら準備をおこないました。全国教職員委員会としては、全国委員会の各プロジェクト単位、全国委員が所属するブロック教職員委員会単位の 2 つの局面から準備を進め、全国委員会とブロック委員会の連携を深めました。

2024 全国セミナーを全体テーマ「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」と設定し、2024 年 8 月 30 日・31 日の二日間、山形大学小白川キャンパスを会場として開催することとして準備を進めてきました。残念ながら台風 10 号（サンサン・SHANSHAN）の影響で、国内の交通が混乱することが予想されたため、開催 5 日前に全面オンラインでの開催とすることに決定しました。セミナー開催本部・事務局は山形大学小白川キャンパスに置き、オンライン開催で開催しました。参加人数は〇〇名でした。今後は、危機事象への対応のための意思決定の手順及び対応策の検討

することが必要であることが認識されました。セミナーのプログラムは下記の通りであった。

2024 全国教職員セミナー

全体テーマ：協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える

開催時期：2024年8月30日・31日

開催校：山形大学 小白川キャンパス

開催ブロック：東北ブロック

プログラム

1日目

全体会：2024年8月30日(金) 会場：オンライン開催

開会 13:00 13:00～14:00 (60分) 開会セレモニー

全国大学生協連からの挨拶

大会実行委員長並びに開催校生協理事長挨拶

東北ブロック教職員委員会代表挨拶

能登半島沖地震にかかわる報告(関西北陸ブロック：石川高専生協理事長)

来賓挨拶(コープ共済連他)、新設校紹介・挨拶

休憩・準備(10分)

14:10～17:50 全体企画「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」

第Ⅰテーマ：社会にとっての大学生協

第Ⅱテーマ：協同組合にとっての大学生協

第Ⅲテーマ：大学にとっての大学生協

1日目閉会 17:50 懇親会場へ移動(17:50-18:10)

2日目

8月31日(土) 会場：オンライン開催

9:30～12:00 分科会

第1分科会：これからの大学生の読書—どうなの、どうする？

(学びと成長、読書+αプロジェクト担当 座長：今山稲子)

第2分科会：協同組合/大学生協の原点から考える「食と安全」

(食と安全プロジェクト担当 座長：北見 宏介)

第3分科会：昨今の国際情勢を踏まえた緊急企画)

(平和と民主主義プロジェクト担当 座長：只友 景士)

第4分科会：環境を守り防災を進める「頑健な」大学生協をめざして

(環境と防災プロジェクト担当 座長：横畑 泰志)

セミナー終了：12:00

(6) 広報委員会を通じたHPの整備と教職員活動の活性化

広報委員会を通じて全国教職員委員会のホームページの充実に取り組みました。全国教職員委員会のプロジェクト活動、ブロック教職員委員会の活動、全国の優れた取り組みなどを紹介し、教職員活動の活性化を図りました。

★2024 年度紹介記事を掲載します。

(7) 委嘱委員の活動

社会的課題委員会に只友委員長、今山副委員長、朴委員を派遣しました。

これからの学生生活をともに考え見守る研究会には松坂委員を派遣しました。

1. 全国教職員委員会

【2024 年度】

第 1 回全国教職員委員会 02 月 18 日（日） 杉並会館

第 2 回全国教職員委員会 05 月 19 日（日） 杉並会館

第 3 回全国教職員委員会 07 月 21 日（日） 杉並会館

第 4 回全国教職員委員会 8 月 30 日（金） オンライン開催

全国教職員セミナー in 山形 8 月 30 日（金）・31 日（土） オンライン開催

第 5 回全国教職員委員会 2024 年 11 月 24 日（日） 杉並会館

2. 広報委員会（略）

3. 各ブロック（略）

II 2025 年度活動方針（案）

2025 年度メインテーマ

協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える（審議予定）

2024 年度メインテーマ（参考）

協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える

2024 全国教職員セミナーの成果を踏まえ、2025 年度からの大学生協運動の発展に繋げていきたいと思います。

2023 年度より「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」をメインテーマに二年間活動してきました。2025 年度のテーマについては、①2024 全国セミナーの全体テーマを「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」としてセミナーを開催し、成功させたこと、②未だ大学生協グループ全体の経営上の危機は払拭できておらず、大学生協の再生なお大きな課題であること、③2025 年が国連の定める国際協同組合年であることなどを踏まえ、改めて「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」を全体テーマに据えて活動することを提案します。なお、正式には、2024 年 11 月 24 日の全国教職員委員会で審議決定します。

2023 年 11 月 3 日、国連総会は、2025 年を、2012 年に続き 2 回目の「国際協同組合年」とすることを宣言しました。2025 国際協同組合年に相応しい取組を広げていきたいと思います。

2020 年から始まったコロナ禍で、大学生協は組織存続の危機に瀕しました。一時期の大学生協そのものの存続の危機は脱しつつあるものの、今なお経営の苦しい会員も多数あり、大学生協全体で経営の再建と組織活動の再建が求められています。2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症は 2 類から 5 類に移行しました。アフター／ウイズ・コロナの状況は続いており、コロナで変わった教職員と学生のキャンパスライフの充実のために、私たち教職員にできることを考えていきたいと思います。教職員の組織活動が活発になることで、大学生協のガバナンスを高め、協同組合としての意義と本質を見失わない大学生協づくりをすすめていきたいと思います。

2022 年 2 月 24 日に、ロシアがウクライナに侵攻を開始し、国際秩序は大きな転換期に入って

います。ロシアのプーチン大統領は核兵器の使用もちらつかせるなど核戦争の危機も現実のものとなりかねない状況にあります。2023年10月から始まったイスラエル・ハマス紛争は、パレスチナのガザ地区に人道上の危機を引き起こしています。イスラエルは中東の周辺国との武力紛争を拡大させており、核開発疑惑が持たれているイランとも緊張が高まっています。平和の実現と人道上の危機の重い課題が、人類に突きつけられています。こうしたなか、2024年ノーベル平和賞が、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）に授与されました。ノーベル委員会は受賞理由として、①核兵器のない世界の実現に尽力してきたこと、②核兵器が二度と使われてはならないと証言してきたことであると、被爆者の存在は「唯一無二」として朝日新聞は報道しています。

被団協は二度と被爆者を作ってはならないという思いから、人類が二度と被爆による犠牲と苦難を繰り返してはならないと訴え続けた。2025年ヒロシマ・ナガサキの原爆による被爆80年の前年の2024年に被団協がノーベル平和賞を受賞した意義は大きいといえます。「記憶を生かし続けることで、私たちはより良い未来に向かって努力することができる。私たちはそう信じています」ノーベル委員会のヨルゲン・ワトネ・フリドネス委員長は10月11日の朝日新聞の電話インタビューに答えています。今こそ、被爆者の記憶を生かし、より良い未来を創るための取組が必要です。

日米の金融政策の違いから日米の金利差が開き、高金利の米国に資金が流れることで、円安が進んでいます。ウクライナ侵攻による資源価格の高騰に加えて、円安の進行など様々な要因から、2022年から始まった値上げラッシュは、2024年も続いています。2024年は、2023年の不作の影響もあり、2024年夏頃からの米不足と米価の上昇が続き、その後も価格が高い状態が続いています。消費者物価の上昇が続き、消費者に大きな影響を与えています。私たち大学生協も原材料価格の上昇、物流費の上昇、人件費の上昇から値上げせざるを得ない状況に追い込まれています。物価上昇の傾向は当分続くと考えられ、不況とインフレーションの同時進行のスタグフレーションに突入する虞もあります。今、キャンパスを基盤とする消費生活協同組合である大学生協への期待は高まっています。

2024年元日に令和6年能登半島地震が起きました。2011年東日本大震災以降、日本国内では、多くの地震災害が起きています。また、毎年、台風や線状降水帯による大雨の被害が全国各地で発生しています。私たちが災害に巻き込まれるリスクがあることを自覚せねばならない時代にあるとも言えるでしょう。

日本私立大学連盟が、国立大学と私立大学の公財政支援における格差を是正するための具体的方策として、国立大学の授業料の上限規制撤廃、「教育国債」の創設などを盛り込んだ提言を取り纏めたり、東京大学が2025年度入学生から授業料を国立大学の授業料標準額を年53万5800円から20%分（10万7160円）引き上げることを決定したりするなど国立大学の授業料のあり方も大きな転換期を迎えています。日本の高等教育への財政支出は、対GDP比0.5%にとどまり、OECD諸国の平均1.1%と比べても低位にあります。私大連の提言が出されたのも、国の高等教育政策の貧困がその根本原因ですが、こうした議論から国公私立大学の設立母体の違いによる利害対立にならないように注視する必要があります。

こうした情勢の中で、学生の学びと成長を支え、全ての組合員の暮らしを守り、平和の問題を考え、大学生協の経営再建と組織活動の再生の先頭に立つべく、全国教職員委員会の2025年度の年間活動テーマを「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」と定めます。

（1）教職員の生活や教育・研究を支援する活動

～教職員の生活や教育・研究の支援をすすめ、大学生協の意義を教職員層に広めていきましょう～

私たち教職員もコロナ禍により、オンライン授業対応やコロナ流行下での学生指導など、教育・研究において大きな変化が求められました。新型コロナウイルス感染症が、感染法上の区分が2

類から5類に移行し、キャンパスも大きく変化しています。ウィズ・コロナの時代の新たな変化に加え、ChatGPTに代表される生成AIの技術が急速に発達・普及しています。こうした社会の変化に対応して、教職員同士の交流や講義方法の学び合いを積極的にすすめます。

全国大学生協連が2023年度から開始した「これからの教育と研究～大学生協教員調査(以降、「教員調査」)の調査結果を全国で共有し、教員の実態を的確に把握するとともに、教職員の暮らしの向上と教職員参加による大学生協のガバナンスの向上を図り、大学生協の存在価値を高めていきましょう。具体的には、全国教職員委員会での共有、全国総会企画セッションでの議論、各ブロックの会員代表者会議及び教職員委員会での議論、会員理事会での議論などを深め、魔性。「教員調査」を素材にした議論から、教職員に関わる課題を中心としながら、大学内にある大学生協としての会員レベルの政策課題、ブロックレベルの政策課題、全国レベルの政策課題に関する議論を積み上げていきましょう。

(2) ブロック教職員委員会の活性化と組合員加入推進

～ブロック教職員委員会活動の活性化を支援してゆきます～

下記の3つの目標を達成するために、全国教職員委員会とブロック教職員委員会の連携を深め、ブロック教職員委員会活動の活性化を支援してゆきます。

- 1) 新歓パンフレットなどを用いた教職員の生協加入促進
- 2) 教職員ニーズの把握と交流活動
- 3) 教職員委員の発掘と次世代の担い手づくり

教職員の交流を目的とした活動を、各会員生協・ブロックなどで取り組み、大学生協の意義を広めます。とりわけ、ブロックにおいて、理事長・教職員を対象としたセミナー・交流会などを企画開催します。ブロックの教職員向け各種企画の広がりから、全国セミナーへの参加につながります。

大学生協の再生・発展には教職員の積極的な参加が不可欠です。会員生協における総代・理事における教職員の比率を高めます。「第65回総会呼びかけ」の内容について、会員生協の理事長・教職員理事に継続的に呼びかけるとともに、再生の具体化の議論に加わります。

(3) 学生の生活や学びを支援する活動

～大学生協らしい学生支援の活動を推進してゆきましょう～

大学生協において、学生支援の活動をすすめる意義について、理解を広めるとともに、学生支援活動の実践例のさらなる掘り起こしを行い、共有することで、活動のさらなる広がりを目指します。特にコロナ禍で大きく変化した学生の学びや生活の実態を把握し、実態にあった支援を考えていきます。学生が大学の成果以外での学びも保障できるよう呼びかけます。

読書マラソンの取組を全国教職員委員会、ブロック教職員委員会、ブロック事務局、会員理事会の連携のもとで進めていきましょう。こうした取組のためにも連合会・事業連合・中国四国事業連合の緊密な連携のもとで、事業部門との連携も深めていきます。

大学生協奨学財団についても周知をすすめ、教職員組合員などに対する個人賛助会員への呼びかけを財団と協力しながらすすめます。

(4) プロジェクト活動の目指す方向とセミナーへの取り組み

～教職員の専門性を発揮してプロジェクトの活動をすすめます～

(プロジェクトの設定)

2024年度に引き続き、「学びと成長、読書+α」「食と安全」「平和と民主主義」「協同組合」「環

境と防災」の五つのプロジェクトの活動を推進します。次回の2026全国セミナーの開催準備の議論の中で、効果的なプロジェクト運営のためにプロジェクトの再編を行うことがあります。

(プロジェクト活動)

プロジェクトでは、それぞれのプロジェクトの実情やメンバーの専門性に応じて、工夫を凝らした活動をすすめます。定例の委員会以外にもオンライン開催などでプロジェクト活動を活性化させます。全国委員以外のメンバーにもオブザーバー参加を呼びかけます。また、理事会設置の他の委員会などとも緊密な連携を進めます。プロジェクト活動を全国に発信するために、広報委員会が情報の取り纏めをおこない、連合会ホームページ、SNSを通じて発信します。

各プロジェクト単位で、全国委員会で取り上げるべきテーマ・課題などについても議論します。プロジェクトごとに、活動目標を定め、2026全国セミナー、理事会設置の他の委員会、各ブロック主催のセミナー等と連動した取り組みを進め、教職員委員会の活動を広め、活性化する方策を議論します。全国教職員委員会のプロジェクトが先頭に立ち、全国の関連する活動のネットワークの結節点となるよう努めます。

(5) 2026全国教職員セミナーの成功に向けた取り組み

～大学生協らしい学生支援の活動をすすめ、2026年全国教職員セミナーの成功に向けて準備を進めましょう～

2024年8月30日・31日、全体テーマ「**協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える**」として、「2024全国教職員セミナー」をオンラインで開催されました。2024全国セミナーは、山形大学小白川キャンパスを会場に開催予定でしたが、台風10号による交通混乱を回避するためにオンライン開催としたものです。

全国教職員委員会では、2年に一度全国教職員セミナーを開催してきました。この2年に一度開催する全国セミナーを大学生協の教職員活動活性化のハブとして位置づけ、大学生協運動の推進力にしましょう。2025年度は、2026全国セミナーの開催とその成功に向けて委員会全体で取り組みます。

全国教職員委員会は、2026全国セミナーの全体テーマの早期設定と開催ブロックである東海ブロックにて2026年8月下旬から9月上旬に開催する方向で調整をおこないます。開催校については、ブロック内での調整を待ち、決定後には速やかに全国に知らせます。

原点に立ち返るためにも、2024全国セミナーを機に全国の会員生協の設立趣意書等の資料を集める大学生協資料アーカイブ活動の取り組みを行いました。集約した資料は、2024全国セミナーでは資料集として配布するとともに、全国大学生協連合会ホームページで公開するなど共有を図っています。会員においても設立趣意書を素材に、大学生協の原点に立ち返ってみましょう。富山大学生協の事例のように、総会議案書に設立趣意書を毎回掲載されています。また、名城大学生協では、店舗のバックヤードに設立趣意書を掲出されています。このような取り組みを広げ、原点に立ち返った大学生協づくりを進めましょう。

2026全国教職員セミナー

全体テーマ：未定

開催時期：2026年8月下旬から9月上旬

開催ブロック：東海ブロック

開催校：未定

2026 全国教職員セミナーに全国教職員委員会のプロジェクト活動とブロック教職員委員会の活動の成果など全国の優れた取り組みを結集して成功させなければなりません。

2026 全国セミナーの開催に向けて、全国教職員委員会はブロック教職員委員会と連携しながらセミナー成功に向けた取り組みを行います。

また、ブロック内で大学生協設立準備の動きがある場合は、2026 全国教職員セミナーに設立準備校の関係教職員を招待して協同組合の設立が、大学の福利厚生に留まらない意義があることを実感してもらいましょう。

2026 全国教職員セミナーは、全国委員会のプロジェクト活動とブロック教職員委員会の活動の成果など全国の優れた取り組みを結集して、成功させましょう。

(6) 広報委員会を通じた HP の整備と教職員活動の活性化

広報委員会を通じて全国教職員委員会のホームページの充実を図ります。全国教職員委員会のプロジェクト活動、ブロック教職員委員会の活動、全国の優れた取り組みなどを紹介し、教職員活動の活性化を図ります。ブロック輪番の活動報告、プロジェクト輪番の活動報告を継続します。

2025 年度主要会議予定

会議日程

【2025 年度】

第 1 回全国教職員委員会	2025 年 02 月〇日 (日)	杉並会館
第 2 回全国教職員委員会	2025 年 05 月〇日 (日)	杉並会館
第 3 回全国教職員委員会	2025 年 07 月〇日 (日)	杉並会館
第 4 回全国教職員委員会	2025 年 09 月〇日 (日)	杉並会館
第 5 回全国教職員委員会	2025 年 11 月〇日 (日)	杉並会館

【2026 年度】 ※予定

第 1 回全国教職員委員会 2026 年 02 月〇日 (日) 対面 杉並会館

【全国院生委員会】

全国院生委員会 2024 年度活動総括・2025 年度活動方針

2024 年度全国院生委員長 森岡朋紀

【1】 2024 年度全国院生委員会の位置づけ

全国院生委員会では、全国理事会のもとに設置され意思決定や推進を行う「理事会委員会」としての性質と、大学院生を代表して取り組むべきことを検討する「階層別組織委員会」としての性質を鑑み、全国の大学生協の活動方針を大学院生の目線で具体化することに重きを置いて活動しています。2024 年度の全国院生委員会では、院生の生活実態や日常生活で感じる課題や問題意識を全国持ち寄り、より良い院生生活を目指して、全国・地域・各会員生協で院生に対し事業・活動を広げるための方向性を院生の目線で検討・協議・発信していくことを第 1 回委員会で確認しました。

●全国院生委員会の機能

1. 院生組合員のつながりを通じて、院生の生活向上を目指す。

2022 年に実施しました第 12 回全国院生生活実態調査によると、悩みやストレスが「ある」大学院生は 63.4% となり、研究活動や進路についておよそ「3 人に 2 人」の院生が悩みを抱えている状況にあります。そうした状況下で、大学院生の生活拠点は研究室やゼミなど限られた人間関係に留まることが多く、相談できる相手が少ないことや自身の生活をより良くするための方法に気付く機会が少ないといった課題が挙げられます。

また、研究活動で多忙な院生にとって、一人で生活をよくするために行動することは負担が大きく、他者との協同を通じて生活向上を目指すためにも、院生同士のつながりを生み出していくことが必要となります。

2. 階層を超えたつながりを生み出し、大学コミュニティと大学生協の活動の活性化を目指す。

大学院生は、大学生活を熟知した存在として上級生の視点から大学生協の活動を元気にする力を持っています。長年のキャンパスライフを通じて、大学生活をより良くしていくための視点を持つと同時に、学部生としての経験をもとにしたアドバイスを後輩に伝えることもできる存在です。また、大学院生は日常的に教員からの指導を受け、学部生以上に教員と近い距離で研究生活を行う存在でもあります。幅広い世代・階層とつながり、大学生協の活動を活性化させていくポテンシャルを秘めた存在であると考えます。

特に、2024 年度はコロナ初年度に入学した学部生が大学院に進学する年でもあり、大学内外での生活の在り方が変わった学年です。階層や立場を超えたつながりを生み出し、大学生協の活動を活性化させることで、より豊かなキャンパスライフを実現できるように取り組みます。

3. 院生の存在を社会に広げ、社会と院生をつなぐ。

日本における大学院進学率は文部科学省が実施している令和 5 年度学校基本調査によると、12.5% と少数派であり、他の先進国と比較しても大学院進学率が低いことが特徴です。「大学院」という言葉にイメージが湧く人も決して多いとは言えない中で、大学院や院生に対する認知を広げていくことは重要です。

その中でも、大学進学を目指す受験生に向けて大学院の存在も認識した上で進路選択をしてもらうことや、その保護者に大学院の位置づけについて認識してもらうことは特に重要です。大学院に対する不安やネガティブな認識を払拭し、正確な情報を社会に届けることが、大学院の価値を高め、ひいては学術界に貢献することにもつながると考えます。さらには、大学院生の実態に

ついて社会に認識を広げることで、進路選択の幅が広がる可能性や、社会全体で大学院生を支える制度拡充も期待できると考えます。

【2】 2024 年度の活動方針

2024 年度の全国院生委員会では、「2024 年度全国の大学生協の活動方針(全国総会第 1 議案)」に基づいた全国院生委員会の機能と活動方針を設定し、各グループに分かれて活動しました。



●全国院生委員会の活動方針

方針① 大学院生が参加し協同する場づくり

大学院生が利用・参画し、自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めましょう。
また、大学院生も参加しやすい環境や大学院生だからできることを目指して、職員や学生委員と一緒に取り組みましょう。

大学院生の暮らしを向上させるためには、大学生協の活動や運営への参加・参画を通じて、院生のリアルな実態と要望を伝えることがスタートになります。大学生協が院生にとって参加・参画したい場となるように、全国院生委員会では、大学院生の生活実態を踏まえ、院生の声で作るお店・生協づくりの取り組み提案を進めます。また、お店づくりや総代会の取り組みに関しては、学生委員会と連携した取り組みを進め、院生だけでは難しい規模での活動を実現することで、幅広い参加を目指します。

また、大学生協の組織・仕組みの中に大学院生が参加できる体制を目指します。特に、大学院生が一定数存在する会員生協においては、院生理事・総代を選出できるように提案・支援していきます。また、理事就任後にどのような役割発揮が期待されているかを検討し、院生理事が活動しやすい環境づくりを進めます。

そして、各地・各会員生協において院生が「大学院生だからできること」「院生の強み」を生かした活動に取り組む環境が整うことを目指します。

方針② 大学院生の健康安全

大学院生の暮らしは学部生の頃とは大きく異なることも多くあります。大学院生の生活実態を把握し、大学生協全体で健康で安全な大学生活を支えましょう。

大学院生の生活実態・ライフステージに沿った活動提案を目指します。大学院生が抱える生活上のリスクは、実験やフィールドワークといった研究活動に際したリスクが増えるとともに、インターンシップや就職活動などの場面で他者に危害を加える可能性も増えてきます。一方で、学部生と共通する病気やケガのリスクも存在しており、幅広いリスクに備えるための呼びかけが重要となります。大学院生特有の生活環境とリスクについて、給付事例や院生生活実態調査の分析などを通じて明らかにし、予防活動を進めていきます。さらに、大学院生がストレスや悩みを抱えていることが多いことや、気軽に相談できる人が少ないといった状況を鑑み、院生のメンタル

ヘルスについて実態を把握し、取り組みを検討することが重要です。

また、学部生と比較し大学院生は入学時に保障制度についての説明を受ける機会が少なく、共済・保険への加入率も低いという課題もあります。そうした、情報が届きづらい院生に目を向けてもらえる情報の伝え方を検討していくことも重要です。さらに、卒業生・修了生に向けた「出口支援」の取り組みにおいても、健康安全に関する情報を伝えることは重要です。大学生協の学生総合共済の制度から派生した「CO・OP 学生総合共済 新社会人コース」の提案活動とリンクさせた情報提供を進めていきます。

方針② 大学院生の学びと成長

大学院生の学び方や大学の学修支援について把握し、仲間とともに自己実現・成長する機会をつくりましょう。また、多様な進路選択があることを学部生や社会へ伝えていきましょう。

院生生活実態調査によると、大学院進学を大学3年生の時に決めた院生が37.6%と最も多いことが分かっており、専門的な学びが始まるにあたって大学院進学に対しての興味を持ち始める人が多いです。一方で、大学院の生活について学部生が知る機会が限られており、情報が得られないまま他の進路を選択する人や不安を抱えて院進学を決断する人も多いため、学部生に向けて大学院への進学を支援・情報提供を行う取り組みは重要です。大学院に進学することでどのような研究ができるのか、実際にどのような日常生活を送っているのか、院進学に向けてどのような準備をしてきたのかといった院生に関する情報を収集し、分かりやすく学部生に届けることも重要となります。

また、大学院生が抱える不安の一つとして、「進路選択」が挙げられます。大学院修了後になりたい姿が見つからず悩んでいるケースや、やりたい姿を目指すための行動が分からないといったケースがあると考えられます。一方で、大学のキャリアセンター等や大学生協の学び支援事業等のメインターゲットは学部生であり、大学院生の進路選択やキャリア形成を支えるための情報提供については手薄です。大学院の進路選択は研究室・ゼミのコミュニティで支えるという従来のスタイルから、大学全体で支えるための仕組みを生協が中心となり作っていくことが重要となります。また、書籍事業や公費(校費)利用といった生協の事業を通じて、大学院生の研究活動を支える取り組みも重要となります。

方針④ 社会をつくる

SDGs 達成に向けて、大学院生の興味・関心や専門知識・スキルを出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくりましょう。また、自らの研究と社会のつながりに目を向け、社会とのつながりを感じられるきっかけを作りましょう。

大学院生の強みは、興味や関心を持った一つのテーマに対して、様々な形で探求を続け、考察することができる点であると考えます。また、大学院生は日頃から世の中に対してアンテナを張ることに長けている人が多いことも特徴といえます。このような探求心や考察力を発揮し、大学院生の強みを生かした社会的課題の取り組みを展開していくことが重要となります。昨今では、社会全体でSDGsの達成に向けて機運が高まる中で、大学院生の研究テーマや興味関心を持つテーマは、密接に関連しているものが多いといえます。日頃の研究や学修の成果を活かし、社会に目を向ける活動を進めていくことが重要です。

●3つの重点課題 — 全国院生委員会で目指すこと

全国大学生協連に設置された理事会委員会としての役割を果たすために重点課題を設定します。

重点課題① 大学院生の実態把握

大学院生の生活実態を定量的・定性的に把握する取り組みを展開し、大学生協内外に情報を発信します。

(例：第28回全国院生セミナー「全国院生生活討論会」)

重点課題② 大学院生のつながりづくり・ネットワークづくり

大学院生のつながりづくり・ネットワークづくり 大学生協で活躍する大学院生同士のつながりを構築し、全国レベルでの活動強化を目指します。

(例：第28回全国院生セミナー「全国院生生活討論会」の内容具体化・実施、各ブロックで集まった情報・現状の集約・持ち帰り)

重点課題③ 大学院生について社会に発信

大学院生について社会に発信 大学院生の存在や生活実態を社会に発信し、院生の地位向上や認識拡大を目指します。

(例：大学生協連ホームページの活用、SNSを通じた情報発信、ブロック・全国レベルでの広報誌等)

[3] 2024年度の活動振り返り

●全国の院生活動の振り返り（総論）

24年度の 成果	<ul style="list-style-type: none">大学生協全体においての院生の存在・立場について考えるとともに、院生の活動の在り方について協議を行った。研究活動等で多忙な院生が積極的に活動を行うことは難しい現状の中で、総会・総代会や理事会、学生委員会の企画への参加など、できる範囲での活動への参加を進めた。全国院生委員会を「院生の活動を作る場」から「院生生活の実態が集まる場」へシフトさせ、「院生の実態を知り・知らせる」ことに重きを置いて活動することができた。院生生活討論会を開催し、院生同士が交流することを通じて不安や悩みを解決するきっかけ作りができたと同時に、院生の生活実態・悩みなどの情報を得ることができた。
24年度の 課題	<ul style="list-style-type: none">多忙な院生が研究と院生委員会の活動を両立していくことは困難。実態に合わせた院生が力を入れていくべき活動に特化していくことが必要であると考えられる。院生の活動のノウハウは地域・会員生協によって大きく異なっている。マイノリティな存在である院生が活動を行うためにも、全国組織では引き継ぎノウハウの蓄積と横展開が重要となってくる。全国院生委員会メンバーの選出に苦戦をし、十分な情報集約ができなかった。院生委員会以外の生協組織と情報共有をし合うことができていない。全国学生委員会や全国教職員委員会、全国留学生委員会の他に、全国社会的課題委員会、共済連とも密に連絡を取り合うで、協力できることを模索していくことが重要であろう。院生生活実態調査の中止に伴い、院生の実態について得られる情報が減ったことに対して対応しきれなかった。院生生活の実態を「知らせる」取り組みがまだまだ不十分であった。
25年度の 展望	<ul style="list-style-type: none">持続可能な組織体制を目指して、委員選出の在り方や委員会の仕組みなどについてブラッシュアップを続けていく。全国組織の本来の目的である学び合い・励まし合いを強化していくことで、各会員・各ブロックでの院生活動の強化を目指す。同時に院生が力を入れるべき活動に特化していくことで、より実態に即した活動を模索していく。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生理事・院生総代を増やすとともに、日常的な関り方をブラッシュアップしていくことで大学生協の運営の中に院生の声が反映されるようにしていく。 ● 学生委員会、生協職員などと連携することで、今ある大学生協の取り組みの中に院生の視点を取り入れられるようにしていく。留学生委員会や教職員委員会とも連携し、活動の可能性を広げる。 ● 引き続き院生の実態を発信し、院生の存在について広く社会に認知されるようにしていく。 ● ブロック事務局長とも連携し、各ブロック・各会員生協の院生の現状について広く集約、横展開ができるようにする。
--	--

●方針・課題別での院生活動の振り返り（各論）

各方針・各重点課題に関して、全国院生委員会・地域・各会員生協の取り組みと現状について振り返りました。

方針① 組合員が参加する場づくり	
24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生理事及び院生総代の選出がされ、理事会・総代会に参加する院生が増えている。これまで生協と関わりがなかった層からも選出ができた会員もあった。 ● 新入院生と生協の関わりを作る取り組み（資料送付など）も進められている。 ● 全国院生委員会内では大学生協と院生のつながり作りに関して議論し、院生の声を伝え続けることの重要性について考えた。
24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生に向けての生協加入や所属変更手続きの案内は十分にされていない。学部生と比較して数の少ない院生にも情報を届けていくことが重要。 ● 大学生協と院生の接点が少なく、日常的に院生の声を届けることが難しい。
25年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生と大学生協の接点を増やし、院生理事・院生総代の選出を進めていく。 ● 院生理事・院生総代の数を増やし、日常的な運営に院生が関われるようにする。 ● 長年大学生協を利用してきた視点や院生というマイノリティな立場の声を伝えられる存在として、大学生協の運営において院生の存在感を強めていくことが重要。 ● 全国・各地の院生委員以外にも大学生協と関わりのある院生や関わりを持ちたいと考えている院生がいることに目を向け、より多くの院生が大学生協というフィールドで活躍し、より良い院生生活を送ることを支えられる環境を作っていく必要がある。

方針② 大学院生の暮らし・健康安全	
24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業生に向けて学生総合共済や新社会人コースへの加入案内をすることで途切れのない保障を提案できた会員生協が増えている。生協連からも卒業予定者向けページの雛型が発信され、広く会員生協で活用された。

	<ul style="list-style-type: none"> • COOP 共済連と協同し、25 年新学期に向けた新入院生向けリーフレットの作成などが進んだ。 • 院生の事例に特化した院生の給付ボードを作成し、共済ボードコンテストへの参加や各会員での掲出を進めた。また、全国共済セミナーへ院生委員が参加し、院生の現状や取り組みについて伝えた。 • 全国院生委員会では給付事例学習会を継続的に実施し、健康・安全にまつわる院生の実態を把握することができた。事故や病気、心の病といった様々な視点から見ることで院生特有の悩みが浮き彫りになってきた。
24 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> • 各会員において院生をメインターゲットとした活動は少なかった。 • 研究や将来のことなどに悩みを抱える院生は多いが、メンタルヘルスの取り組みはまだ不十分である。 • 院生に対する学生総合共済の加入促進は数の多い学部生と比較するとまだまだ弱く、院進学時に十分な案内を行うことができていない。 • 全国院生委員会での給付事例学習会から得られた情報を給付ボード以外に効果的に活用できなかった。また、給付ボードの認知度も低く、まだまだ活用されていない。
25 年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> • 各会員生協で院生の給付事例を分析し、健康安全に関わる院生の実態を生協運営に反映させられるようにする。 • 学生委員会や生協職員と協力することで、院生の健康で安全な生活の実現ができるようにする。 • 給付事例学習会での学びの共有・発信や作成物の利用促進などに力を入れていく。

方針③ 大学院生の学びと成長	
24 年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> • 新入生歓迎会や入学準備説明会といった受験生・新入生に向けた企画で院生が登壇し、より長く大学生生活を経験した視点から大学生協や大学生生活、1 年生のうちに取り組むことなどを伝えられている会員があった。 • 全国院生委員会内でも研究や進路選択について交流することで考えを深めることもできた。
24 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> • 院生の進路選択に関して実例やデータは集まってきているが、就職活動に直面している院生自身からどのようなニーズがあるのかは把握しきれていない。 • 大学生協の事業として院生の学び・成長をサポートできている取り組みはまだ少なく、学部生に向けた企画の発展や様々な面での新たな取り組みが期待される。 • 全国院生委員会としての取り組みはまだ弱く「院生到達記」の更新・広報が十分ではなかった。
25 年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> • 大学 4 年間を経験した先輩、研究活動をメインに取り組んでいる存在として、院生の強みを活かした活動を広げていく。 • 院生自身の学びと成長や進路選択に注目した取り組みを行っていくことも重要。

	<ul style="list-style-type: none"> • 学びと成長は院生の力が強く発揮できる分野であり、各会員生協での実践事例を全国的に横展開していく。
--	--

方針④ 社会的をつくる

24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> • 全国院生委員会では委員の知識を生かした社会的課題に関する学習会や社会的課題通信の執筆などに取り組んだ。
24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> • 院生が主体となってできた活動は少ない一方、研究内容が社会的課題につながることも多いため、関心は高い。 • 全国院生委員会での学習会の内容などを発信することができていなかった。また、社会的課題通信も活用には至っていない。
25年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な階層とつながり、院生の強みを発揮していけるようにする。 • 全国院生委員会で発行している「社会的課題通信」を各会員で活用されるようにしていく。

重点課題① 院生の生活実態把握

24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> • 全国院生委員会での議論や院生生活討論会を通じ、大学院生の生活実態の把握や問題の抽出を行うことができた。
24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> • これまでに収集し、積み重ねてきた情報の活用への道筋が不十分であり、全国・地域・会員での活用や社会への発信に向けた活動が必要である。 • 院生生活実態調査を中止したこと(後述)により、コロナ禍で大学に入学し、進学した院生の生活の実態・違いについての情報を得られなかった。
25年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> • 院生生活実態調査の再開に向けて調査の必要性を改めて再確認し、全国理事会・全国院生委員会・各地域・会員がともに議論を進めていく。 • 院生の実態を定性的につかみ、大学生協の運営に取り入れていく動きがみられるようにする。

重点課題② 院生同士のつながり・ネットワークづくり

24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> • 各地で院生委員会が設置・開催され、特に九州ブロックでは委員会の体制づくりが進んだ。 • また、ブロック大会などを通して院進学を考える学生委員などとのつながりを作る動きも見られた。 • 全国院生委員会では東京ブロック院生ミーティングとの交流を行った。東京ブロック院生ミーティングは院生委員会とは異なる組織ですが、大学生協東京ブロックが持つ院生の集まりであり、今後も継続して交流していきたい。
---------	--

24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生同士がつながる場所を定期的に作る取り組みは広がっていない。研究室などの小さなコミュニティで生活している院生自身も積極的につながりを作ろうとしてはいない可能性がある。 ● 「院生生活討論会」の参加目標に対して参加者が集まらなかった。開催についての周知が十分でなかったことやブロック・会員生協とうまく協力できなかったことが考えられる。また告知期間が大学の夏休み期間と重なっており、院生が情報を得る接点が少なかったことも考えられる。
25年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生が自らの生活をよりよくするために他の院生との接点を作る動きが各会員生協で行われるようにしていく。 ● 全国やブロック規模での院生同士がつながる取り組みを定期的に実施し、各会員生協でも参加促進を進めていく。 ● 東京ブロック院生ミーティングをはじめとして院生委員会とは異なる院生組織・集団との交流を通して、院生同士のつながり・ネットワークを広げていく必要がある。 ● 全国院生セミナーの在り方について検討を進め、より院生同士がつながりを持ち、より良い院生生活を目指せる場所を作っていく必要がある。

重点課題③ 大学院生について社会に発信	
24年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要課題①「院生の生活実態把握」を通して社会に知らせたい情報を収集することができた。
24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会に情報を発信していく仕組みづくりが進んでいない。また、私たちが社会に知らせたい情報と、社会が求める大学院生についての情報の区別・分析が進んでいない。
25年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● プレスリリースやメディアとの協同を通じて社会への情報発信の幅を広げていく。 ● 全国やブロック規模での院生同士がつながる取り組みを定期的に実施し、各会員生協でも参加促進を進めていく。

●院生生活実態調査に関する議論

隔年で実施している院生生活実態調査について、2024年度は当初実施の年でしたが延期としました。

過去に全国院生委員会からの要請で学生生活実態調査と同様の調査を開始し、調査項目の設定や分析を全国院生委員会が行っていました。研究活動において情報・データ分析の経験がある院生委員がそのノウハウを生かして分析活動を行ってきたことや得られた分析結果は全国の大学生協にとってとても重要なことです。

その一方で、参加会員数も順調に増えており、膨大なランダムサンプリングの結果を研究活動の傍らで分析することは大きな負担となっていました。この状況は私たち院生委員にとって明らかに健全ではなく、分析活動を継続することは難しいとの判断から、広報調査部と協議し、全国理事会において延期の提案をさせていただきました。

この間の議論において全国院生委員会内・理事会のどちらにおいても、院生生活実態調査が大

学生協グループ全体の事業・活動において重要であることは確認された一方で、全国院生委員会としてはこのままの形での調査継続は困難であることは事実であると考えています。今後、各地域・会員生協からのご意見もいただきながら理事会等での協議を継続し、調査再開を目指し議論を進めていきます。

【4】 2025年度の活動方針(案)

2024年度の活動方針を踏襲し、以下の4つの方針と3つの重点課題を設定します。



●4つの活動方針 — 全国の大学生協で目指すこと

活動方針 1:大学院生が参加し協同する場づくり

大学院生が利用・参画し、自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めましょう。

活動方針 2:大学院生の健康安全

院生組合員の生活実態を把握し、大学生協全体で組合員の健康で安全な大学生活を支えましょう。

活動方針 3:大学院生の学びと成長

大学院生の学び方や大学の学修支援について把握し、仲間とともに自己実現・成長する機会をつくりましょう。

活動方針 4:社会をつくる

SDGs 達成に向けて、大学院生の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくりましょう。

●全国院生委員会が大切にしたい「3つのつながり」

1. 院生組合員同士の「つながり」

院生組合員同士のつながりを通じて、自分たちの生活向上を目指す。

2. 大学コミュニティ内での「つながり」

階層を超えたつながりを生み出し、大学コミュニティと大学生協の活動の活性化を目指す。

3. 社会と大学院生の「つながり」

社会に大学院生の実態を伝え、社会と院生をつなぐことで、院生の地位と生活の向上を目指す。

●3つの重点課題 — 全国院生委員会で目指すこと

重点課題① 大学院生の実態把握

大学院生の生活実態を定量的・定性的に把握する取り組みを展開し、大学生協内外に情報を発信します。

重点課題② 大学院生のつながりづくり・ネットワークづくり

大学生協で活躍する大学院生同士のつながりを構築し、全国レベルでの活動強化を目指します。

重点課題③ 大学院生について社会に発信

大学院生の存在や生活実態を社会に発信し、院生の地位向上や認識拡大を目指します。

【全国留学生委員会】

全国留学生委員会 2024 年度活動の振り返り及び 2025 年度活動方針

全国留学生委員長 サイ・ナラヤナン

全国留学生副委員長 イ ジェヨン

次期全国留学生委員会委員長（候補） 瀬名 瑛真

【2024 年度振り返り】

（1）日本語・英語による会議の進行

留学生委員会は留学生が主軸となって活動しており、日本語が不自由な委員も多くいるため、主な使用言語は英語である。しかし、生協内での議論に参加するには日本語も話せることが求められるという課題がある。全国留学生委員会では昨年に引き続き、日常の委員間のコミュニケーションは英語で、会議は日本語・英語の 2 言語で進行する方針を継続した。日本語での発言があれば英語に、英語での発言があれば日本語に、バイリンガルの委員たちが通訳を行い、言語に関わらず全員が会議に参加できるようにしている。ただし、これは日本語・英語の両方に流暢な委員が複数いることが前提となるため、そうした委員がいない場合は対策を検討する必要がある。

（2）全国留学生委員会の拡張

全国で活動していた 7 つの留学生委員会は、コロナ禍の影響で現在 4 つの大学にまで減少している。このような状況の中、昨年に引き続き各地域で留学生関連の取り組みについてヒアリングを行い、全国留学生委員会への加入を呼びかける取り組みを続けている。今年の国際交流ワークショップには 4 つの大学の他に北海道大学・立命館アジア太平洋大学から参加者が集まっており、来年度の全国留学生委員会に参加する可能性がある。

（3）国際交流ワークショップ 2024

今年度の国際交流ワークショップでは、「留学生委員会の活動ってどんな感じ？」というテーマで、参加者が全国の留学生委員会の活動について理解を深め、そのノウハウを実践的に学ぶ機会を提供する予定である。東京でのフィールドワークを通じて、留学生に役立つ情報を発信する方法を体験的に学ぶ。参加者は各大学の取り組みや方法の違いを学び合い、留学生委員会の設立や活動の拡張に役立つアイデアを得られる機会となることが期待されている。

（4）地方での委員会開催

今年度は、京都や名古屋といった留学生委員会が存在する地域でも委員会を開催し、現地の留学生委員にもオブザーバーとして参加してもらうことで、普段の議論にとどまらず、現地の委員会と直接交流し学び合える機会を増やすことを目指した。京都での委員会は準備が遅れた影響もあり、現地からの参加者が限られたものの、名古屋では事前に計画をしっかりと立てることで多くの現地委員に参加してもらえ、活発な意見交換の場を設けることができた。これにより、委員会全体での連携が強まり、各地域の現状や課題についても共有する貴重な機会となった。

【2025 年度活動方針】

今年度は、対面での会議にて各大学の留学生委員会の活動の共有を積極的に行い、各大学が抱えている課題や疑問などを話し合い、意見交流することによって、各大学の留学生委員会の活動をよりよくしようとした。実際に京都と名古屋で会議を行った際には、その大学の留学生委員会の委員との交流を行うことができ、普段の活動などについて具体的に話を聞くことができたため、とても良い機会だった。来年度も各大学の活動を共有して学び合うことを積極的に続けていきたい。

また今年度は留学生委員会の活動を広めることを基にワークショップの内容を決めて、活動を行ってきた。実際に今年度のワークショップでは現在全国留学生委員会に所属している 4 大学以

外の大学からも参加者を募ることができた。これを第一歩として、来年度も引き続き全国留学生委員会に所属する大学を増やすための活動を積極的に行っていきたい。

来年度に向けた課題点は、会議における言語問題。英語と日本語を同時通訳できる委員がいないといけない、という問題を解決するために、効率よく会議を進行できるための対策を今後練っていきたい。

(2) プロジェクト・政策委員会

- 1) 全国社会的課題委員会
- 2) 事業と新学期活動推進委員会
- 3) 国際活動委員会
- 4) 内部統制課題推進委員会

プロジェクト・政策委員会

全国社会的課題委員会

<2024 年度理事会委員会活動の自己評価>

社会的課題の統合的解決を目指すとともに、SDGs の達成を大学生協として目指すための委員会として「全国社会的課題委員会」を設置しました。2024 年度は、「組合員とともに社会的課題の解決に向けて考え行動すること」、「社会的課題×店舗の取り組みの強化」を目指してきました。

【政策討議】大学生協としての社会的課題に対する向き合い方・姿勢を検討します。

- 大学生協の社会的課題に関する取り組みの振り返り・価値の共有をし合い、国際協同組合年に向けて大学生協全体として、本委員会としてどう動いていくべきか協議できました。
- 一方で理事会委員会として、具体的な中長期の課題を明確に設定し、具体的なアクションプランを全国理事会への提案・提言については不十分でした。

【政策施行】社会的課題の取り組みをより一層広げるため、全国の大学生協に向けた行動提案を検討します。

- Peace Now!、ふくしまスタディーツアーを開催し、社会的課題の取り組みをより広げるため事前/事後の取り組みについて協議することができました。
- 各会員生協の社会的課題の取り組みは増加傾向にあるものの、取り組み状況に差があります。より取り組みを広げるため、各地域・各会員の現状分析を促し方針に沿った行動提案・活動推進が求められます。

<2025 年度設置目的>

【設置目的】理事会設置委員会として全国の大学生協における社会的課題への向き合い方を検討するとともに、社会に発信する大学生協としての姿勢について協議する場であることを主眼とします。委員会で検討した目指す姿を実現するためには、全国の大学生協における社会的課題の向き合い方・姿勢を踏まえ、取り組みを広げるための方法についても持ち寄り、検討します。

- 組合員が広く社会に目を向け、知り・知らせ・考え・話し合い・行動できる機会づくりについて考える。
- 組合員の生活を取り巻く社会的課題について事例や知恵を結集させ、どうよりよくしていけるかを考える。
- 社会的課題の取り組みが、各大学生協でより一層おこなわれるための行動提案・活動推進を検討する。

【主要テーマ(成果目標・ゴールイメージ)】

2025 年度全国の大学生協の活動方針④を具体化し、大学生協全体で実現・実践するための委員会として設定します。

【政策討議】大学生協としての社会的課題に対する向き合い方・姿勢を検討し、社会へ発信します。

【政策執行】社会的課題の取り組みを一層広げるため、全国の大学生協に向けた行動提案について検討します。

2024 年度全国の大学生協の活動方針④を具体化し、大学生協全体で実現・実践するための委員会として設定します。

- ① 【政策討議】大学生協としての社会的課題に対する向き合い方・姿勢を検討し、社会へ発信します。
- ② 【政策執行】社会的課題の取り組みを一層広げるため、全国の大学生協に向けた行動提案について検討します。

<分野・テーマ> 国際協同組合年(IYC)、被爆 80 年、終戦 80 年、阪神淡路大震災 30 年、環境、平和・国際貢献、激甚災害支援・防災、消費者、SDGs、大学生協 2030Goals 等

新学期活動推進委員会

<2024 年度理事会委員会活動の自己評価>

①推進委員会本体（6 回開催）

- ・政策文書で目標設定している 3 分野についてどのように底上げをしていくか、事業部職員や JBR も交えての議論を行った。（加入プランと 110 番／教材 P C／食生活とミールプラン）
- ・学生常勤の取り組みと提起を毎回共有し委員会自体で「事業と活動をごっちゃ」にした議論を継続。
- ・議論状況は「新学期提案事業の取り組み方」として、「執行役員会議」において適宜提起を行った。
- ・4 月 24 日に「中間総括会議」を実施。「事業と新学期政策」に沿った内容で各事業の到達点確認と課題を深め合う事を目的に 120 名ほどの連帯職員が参加。
- ・教材 P C については 30 項目の「取組チェックシート」を作成した。活用運用はまだこれから。
- ・食生活分野については、この議論も踏まえて、3 連合会（全国／事業連合／中四国事業連合）の共催の形で「第 1 回食生活事業とミールプラン全国交流会」を実施した。
- ・人口減に伴う受験生の動向や大学の D X 化の動きに先手対応する事を目的に、「大学定員等緊急アンケート」を実施し（208 の会員生協が提出）、外部講師講演も含めて事業と新学期交流会で共有した。
- ・広報全体計画の共有と Web 広告等の新規施策議論／新入生調査活用議論を行った。

②学び合いの場「第 7 回事業と新学期活動全国交流会」

- ・6 回のタスクを実施し、提案の実演やグループ討議も通して O L でも学びの多い会となるよう構築。
- ・6 月 15 日に交流会を実施し、全体で 988 名の参加（128 生協／学生約 400 名）。
- ・理事会で確認された「2024 年度の新学期活動方針」を始め、以下の提起と学び合いを実施した。
「〇〇大生の生活」×「生協にし化できない事」を深める／人口減に伴う受験生の動きや大学の D X 化に先手を打つ／日常活動と新学期活動を 1 つのものとしてサイクル化していく等。

③早期で広範囲な広報

- ・8 回のタスクを実施し、全国や各地の広報活動の共有、全国保護者セミナーの企画運営を行った。
- ・3 回目となる「保護者のための大学生協入門セミナー」を 7/28 に開催した参加申込は 2300 名で昨年の約 1.8 倍。新施策の Web 広告や、全国／各地で連携した高校へのガイドブック送付等の成果。実来場者は申込者の半数を切るが見逃し配信含めて認知度は申込者数に比例。
- ・フロムページ社が 10 月開催する「夢ナビライブ」（受験生向け大学案内イベント）に大学生協から継続出店（昨年同様申込者は 300 人、実参加者は 150 人想定）。

<2025 年度の主要なテーマ>

1. 事業そのものを中心に据え、「事業と新学期政策」で提起した視点と目標指標が、会員生協（単協）において達成できるための支援を行う。
 - ・25 年度においては特に「学修環境支援事業」「食生活支援事業」について深める。
 - ・単協において大学とのコミュニに役立つような情報の整理やツールの検討を行う。
2. 新学期を基軸とした大学生協全体としての早期で広範囲な広報を強化し推進する。
 - ・「第 4 回保護者のための大学生協入門セミナー」の実施
 - ・全国／各地連帯と単協協働での、高校訪問活動を含む総合的な広報の強化推進を行う。
3. 「第 8 回事業と新学期活動全国交流会」のレベルアップした開催と、各地区の新学期系交流会／分野別セミナー（交流会）の相互連携をさらに図る。
4. 「保護者に聞く新入生調査」の具体化と、学調他各種調査データの活用を推進する。

国際活動委員会

<2023 年度の到達>

- (1) 本年度は委員会を3回(2月・7月・9月)開催しました。
- (2) 対面での交流が再開され、これまでのつながり以外にも多くの海外団体との交流が広がりました。
 - ・ ICA-AP 教育機関委員会 (ICEI) は23年12月にフィリピンで総会を開催し、中森専務に代わり事務局が大学生協連の状況について報告しました。
 - ・ 日韓交流は当初より計画があった学生同士の交流が京都・神戸・大阪で開催され、双方の生協の成り立ち、違い、生協の良さなどについて交流できました。また、韓国からの依頼により、職員間の食堂を中心とした交流を4月(韓国)9月(大阪)に実施しました。
 - ・ ドイツ学生支援協会 (DSW) は、10月に食堂を運営するメンバーを中心に訪日し、大学生協だけではなく、日本の食堂運営を学び、意見交換を行いました。
 - ・ これまでつながりがなかった団体とも交流が始まり、大学生協の事業、学生委員会を中心とした学生の参加、活動の紹介を行ってきました。特に学生委員会の活動は多くの団体から非常に関心を寄せられました。
 - ～ 6月国際学生支援協会 (IASAS) の会長・事務局長他と学生支援について交流
 - ～ 10月香港嶺南大学の協同組合視察・ワークショップ受入れ予定(実施済み)(JCAの依頼)
 - ～ 11月台湾主婦連盟生協 Webinar での中森専務の登壇(実施済み)(日生協の依頼)
- (3) 会員生協のとりくみを世界に向けて発信しました
 - ・ アジア太平洋地域の協同組合の経験や取り組みを紹介する「COOP Dialog」第5版には大学生協連の『コープ共済連と連携した被災地訪問活動』の取り組みを紹介しました。

<2024 年度の主要なテーマ>

- (1) ICA および ICA-AP 教育機関 (ICEI) を軸としたアジアの協同組合との交流・研修
 - ・ 24年11月開催の ICA 総会および ICEI 年次総会にて日本の大学生協について報告し、広く大学生協の活動を広めるとともに、経験交流を行います。
 - ・ 協同組合に関わらず、アジアの学生との交流を意識的に行います。
- (2) 日韓大学生協連関係
 - ・ 再開された日韓交流について、今後の方向性など単発ではなく積み重ねができるものができるよう検討しながら、継続していきます。
- (3) アジア地域以外の協同組合・学生支援機関との交流
 - ・ ドイツ学生支援協会 (DSW) との交流を継続します。25年度は日本側がドイツに訪問予定。国際学生支援機構 (IASAS) とは継続的な交流を予定していますが、詳細は今後です。
- (4) その他
 - ・ 会員生協の取り組みを海外に向けて発信します。
 - ・ ホームページの改修・更新を継続的にすすめます。

内部統制課題推進委員会

<2024 年度の到達>

- ・ 2023年7月に「大学生協連理事会」から【全国の会員生協で、「内部統制の整備」に関する取り組みを開始または継続強化しましょう】と呼びかけをおこない、2022年から休止していた内部統制課題推進委員会を再開しました。
- ・ 各ブロックから委員が参加し、ブロック内で会員の内部統制の呼びかけをおこないました。

- ・「内部統制の整備に関する方針」を理事会決議した会員が、2022年度までに48.6%でしたが、2024年6月までに85.2%となりました。また、「内部統制の整備に関する方針」を事業報告書に掲載した会員は、74.8%となりました。
- ・全国の会員生協で「全国内部牽制チェック・リスト」を活用した点検を実施しました。

<2025年度の主要なテーマ>

会員の内部統制の整備に関する基本方針の決議が進むこと、また、会員の具体的重点課題を決定し、その取り組みが推進できるように、各ブロックから委員が参加する内部統制推進委員会を継続設置します。2025年度は「内部統制推進委員会」という名称とします。

(1) 主要なテーマ

- 1) 「内部統制整備」を会員において推進・実現させることを支援する。
- 2) 内部牽制チェック・リストを活用した点検を推進し、会員と大学生協連の内部統制に関して必要となる事項の検討等をおこないます。
- 3) 会員専務がブロック単位でより身近に「内部統制」について話題にできるようにテーマを提供します。
- 4) 法律の改正に伴う会員への情報の点検をおこないます。

(3) 大学生協奨学制度推進委員会

大学生協奨学制度推進委員会

<2024年度の取り組み概要>

1. 2024年度(2023年10月～2024年9月)のたすけあい奨学制度の実績数値は、次の通りとなりました。()は前年

●応募者 468名(444名) ●給付数 393名(345名)

●給付率 84.0%(77.7%) ●給付金額 4,397万円(3,452万円)

応募・給付数は共に増加しました。給付率が大幅にアップしたことで、給付金額も増加しました。

●寄付金額 2,636万円(10,782万円) ●賛助会費 2,387万円(2,320万円)

●賛助会員数 大学生協 191 会員(184 会員)、特別団体賛助会員 5 会員(6 会員)、個人賛助会員 149 会員(58 会員)

本年度は、昨年度のような大口の寄付がなかったことで、寄付金額は減少しました。

2. 2024年度の奨学制度推進委員会

2020年度から新たに設置された本委員会は、大学生協奨学財団や2020年度1月からスタートした「たすけあい奨学制度」推進の委員として理解を深めるとともに、会員生協や組合員にいかにかこの制度を広めていくか、特に各ブロック、会員の取り組みを持ち寄り、交流することで活動促進を図る計画とし4回開催しました。が、開催回によりばらつきはあるものの、参加者数が厳しい状況となってしまいました。

一方、委員会ではブロック単位や会員での事例共有が活発に行われました。

<2025年度の主要なテーマ>

大学生協で進めてきた勉強援助制度の役割と精神、取り組みを、大学生協奨学財団でのたすけあい奨学制度として一層強化・発展させていくためには、大学生協連とその会員生協が制度を推進し支えていくことが重要です。そのために、大学生協連では、引き続き理事会委員会として「大学生協奨学制度推進委員会」を設置することとします。

【テーマ】

- (1)今年も「たすけあい奨学制度のつどい」を開催し多くの方に制度を知っていただき、制度の発展につなげます。
- (2)大学生協奨学財団での奨学事業を、組合員や大学への紹介活動を進めます。
- (3)会員生協での取り組みを促進するため、各生協での取り組み事例の集約と普及を進めます。
- (4)そのために各ブロックでの大学生協奨学制度推進の検討や学習、取り組み交流を強めます。
- (5)たすけあいでの財源の充実促進。特に卒業生への寄付呼びかけの取り組みを一層強めます。
- (6)大学生協奨学財団に、推進情報や意見・要望を伝え、制度発展のために連携を図っていきます。
- (7)コープ共済連合会様(中でも大学部会)との協力関係を一層強化し、同じく「たすけあい」制度である、学生総合協事業と共に発展することを目指します。

3. ブロック活動報告

○北海道ブロック

○東北ブロック

○東京ブロック

○東海ブロック

○関西北陸ブロック

○中国・四国ブロック

○九州ブロック

○各ブロック運営委員会・常任運営委員会の
2024 年度開催報告

北海道ブロック

2024年度北海道ブロック活動の前進点

●全体テーマ

大学生協の事業と活動を軸に、「組合員の元気」を全道で上げよう

●活動方針

1. 大学生協の事業と活動を通し、組合員の元気を実現できる環境を整えましょう
2. 日常的に大学や組合員と深く関わり、ニーズを把握し取り組みに活かしましょう
3. 組合員が身近に大学生協と関われる取り組みを行いましょ

今年度は「組合員の元気」を各生協やブロックに広げることがテーマに取り組んできました。新学期の活動では先輩学生が送ってきた大学生活や送りたい大学生活を出し合い、その中身を反映した提案を作り、生協職員と先輩学生が一緒になって新入生・保護者へ提案する生協が増えました。キャンパス内でアンケートを実施し、より深く聞き取りをする機会を設ける生協もありました。

連帯での学びを活かし、共済ボードや自転車点検会に初チャレンジする生協が増えました。自転車点検会を継続して実施している生協でも共済の加入点検の実施やキャンパス周辺の危険な箇所マップを参加者と一緒で作る等プラスワンの取り組みが広がりました。また北海道ブロックで所有する『健康パック』を使用し、健康を組合員と一緒に考える取り組みを実践する生協も増えました。

組合員ミーティングの実施、組声ボードの活用促進のための改善、学生委員の企画に取り込み認知度を上げる、など組合員の声をいろんな場面で聞き取る機会を増やしました。聞き取った声から食堂や購買での実践に繋げる生協もありました。また聞き取った声から店舗の営業時間を延ばす生協もありました。

2025年度北海道ブロック活動計画（案）

「組合員の元気」をさらに広げていくために大切にしたいポイント。

- ・ 引き続き送りたい大学生活を出し合い、その中身を事業と活動に繋げていく。
- ・ より多くの組合員の声を聞き取る場の実施と聞き取った声をいろんな場面で実現していく。
- ・ 利用促進や運営参加に結び付くような取り組みの実施。

東北ブロック

2024年度 東北ブロック活動報告（総括）

全体テーマ：対話からつながり、ともに作り上げる大学生協

活動方針1：

対話を通じた事業や組織活動を行い、「わたしたちの大学生協」という実感を広めましょう。

【成果と課題】

- 各生協では理事会の中で学生委員会が活動報告をしっかりと行い、その活動の背景にある生活について語られ、学生生活を元に生協の運営をどのように進めるか話し合いがなされました。特に生協の営業時間の延長について、コロナ明け、学生がキャンパス内に留まらない状況が続いていますが、学生生活の話を中心に試験的な営業時間延長が各生協で行われました。

また、研究生や院生が多い大学生協では夜間営業も開始しています。

○ブロック教職員委員会の場合において「AIを活用した授業」について話し合いがなされ、大学がどのように学びの場を提供しようとしているか、改めて知ることができました。

7月には高P連の出展を大学と生協が共催し取り組むことができました。大学が感じている生協の強みを私たちは認識し、「私たちの大学生協」を様々な視点から考える必要があります。

●生協の加入率が90%台後半の会員と、70%～80%との会員と2極化しています。

90%台に満たない会員では加入率の減少に伴い利用も減少し、生協の運営自体も苦しい状況です。一発逆転的な大きな事業や効率化を考える前に、まずは職員と学生が普段の生活や普段の生協利用について語り合い、あらためて生活協同組合の意味や自分たちの生協の強みを考えることが必要です。

活動方針2：

すべての組合員が自身の成長に目を向け、行動に移せる環境を作りましょう。

【成果と課題】

○昨年行った東北全体での取組、「東北ブロック平和使節団」の灯火を消さぬよう、ブロック運営委員会では、教職員委員会、院生委員会と合同で、階層を超えて平和学習を行いました（パレスチナ問題学習会）。このこともきっかけになり、各生協では組合員に向けた平和活動推進を実施することができました。

○健康安全企画では多くの会員でベジチェックを活用し、組合員に日常の健康を意識してもらう活動が活発に行われました。

●生協組織内において互いの組織を知る機会は増えました。一方、組合員を巻き込む活動や組合員が参画する場作りにはこれからできることがたくさんあります。

活動方針3：

仲間との対話から、一人ひとりが生き活きと活動できる組織づくりをしていきましょう。

【成果と課題】

○例年行っている Summer Up Seminar を24年度は仙台市内で開催し、専務理事や店長といった職員も約30名参加し、ブロック事務局、セミナー実行委員、セミナーGL、そして参加者が共に生協の良さや今後の課題について語りあいました。この流れは「東北版秋の共済セミナー」、そして「新学期実践交流会」にも同様に繋がり、健康安全分野や新学期分野において、これからの生協を職員と一緒にあって議論を重ねることができました。

●上級生の学生委員が三年生で引退し、大学生協の関わりが途絶えてしまうことが課題です。

2025年度 東北ブロック方針（案）

1 組合員の生活実態と実感に基づいた議論を行い、組合員の運営参加、参画を広げます。

- ・組合員の生活実態の分析と要望把握にとりくみ、生協事業の利用の拡大に結び付けます。
- ・ブロックと事業連合が協力して、組合員の店舗利用の促進にとりくみます。
- ・組合員の願っている将来像を支援し、それを元に経営ができるよう、ビジョンとアクションプランが構築できる学習の場を設けます。
- ・各生協は経営的に自立する生協であり続けられるようにします。

2 組合員同士がたすけあう取り組あひ、励まし合いできる場をコミュニティのつながりで実現します。

- ・学生組織委員・職員が総合力を発揮して生協加入者、共済加入者の増加にとりくみます。
- ・学生総合共済の4本柱を意識したとりくみを行っていきます。その中でも「給付」「予防」を重視し、私たちの共済であることが認識できるようにします。

- ・教職員や院生へ向けた生協加入のとりくみを増やしていきます。
- 3 組合員の大学での学び方や学習状況について把握し、組合員が仲間と共に自己実現・成長する機会作りを行います。
- ・入り口支援を学びと成長の場と位置付け、生協一丸となって取り組みます。
 - ・SEQ を使い組合員が自分の成長実感をつかめるようにしていきます。
 - ・ブロックと事業連合が一体となって学びと成長事業にとりくみます。
- 4 持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知る・知らせ・考え・行動するきっかけづくりを行います。
- ・平和について知り、考えるとりくみをブロック主催で開催します。
 - ・消費者課題にとりくみます。
 - ・全国環境セミナー、会津高原森林の楽校への参加促進と間伐材割箸の普及に努めます。
 - ・防災/減災を他人事ではなく自分事、自分の大切な人を守るものと認識し、取り組みを行います。

東京ブロック

【1】東京ブロック 2024 年度の振り返り

1. 「組合員が参画しやすい生協づくりを、すべての階層で進めましょう。(学生、院生、教職員等)」

【成果】

- ・総(代)会の実出席率向上に向け、多くの会員で試食会や分科会など総代が参加しやすくなるような工夫が見られた。
- ・店舗を活用した取り組みを行い、組合員と一緒に生協づくりをすすめることができた。

【課題】

- ・院生や教職員との関わりが薄く、すべての階層で進められた会員がなかった。
- ・一部の会員では生協職員と学生委員会も協力できていないところもあった。

2. 「組合員の現状から健康・安全な大学生活を実現できるようにサポートしましょう。」

【成果】

- ・新たに多くの会員でミールシステムを導入し、組合員に向けて食の大切さを伝え、食生活の面から組合員の健康をサポートできていた。
- ・新学期時期に学生の経験談も上手く混ぜ、新入生に共済加入の提案をすることができていた。

【課題】

- ・共済への知識の差が顕著に表れ、取り組みの背景や実施後まで考えられていない。

3. 「組合員どうしで対話・協同し、組合員の「学びと成長」を支援しましょう。」

【成果】

- ・新学期の取り組みに先輩の経験談を入れ込み、新入生に伝えていくことができた。
- ・読書推進に関する取り組みに挑戦した学生委員会が見られたり、読書マラソン委員会が新たに発足した会員もあった。

【課題】

- ・組合員どうしの対話や協同が難しく情報発信のみで一方的になりがちだった。
- ・会員によって差が大きくあり「学びと成長」に学生が関わって進めることが少なかった。

4. 「大学生協に関わる全ての人が社会に目を向け、社会を意識した行動をとりましょう。」

【成果】

- ・店舗活動とペットボトルキャップ回収を絡めるなど、組合員が身近に感じやすいところから社会に目を向けるきっかけを作ることができた。
- ・新入生歓迎冊子に防災や消費者問題のページを載せることで、新入生に意識してほしいことを伝えることができた。

【課題】

- ・社会に関係した活動をしたり、気にかけてりする会員が少ない。
- ・ペットボトルキャップやり・リパックなどはただの回収だけになり、その取り組みの背景などを組合員にまで伝えられていない。

【2】2025年度 東京ブロック目標(10/30 現在)

1. 東京ブロック目標の位置づけ

- ①2025年東京ブロックに所属する大学生協全体で、「学生と生協職員、教職員など階層を越えて目指していきたいこと」を文章にしたものです。
- ②全国大学生協連通常総会で確認される2025年度全国の大学生協の活動方針を踏まえて、現状をもとに東京ブロックとしてとりわけ強調して目指していきたいことを文章にします。
- ③それぞれの目標は「24年度の成果と課題」「25年度に目指すこと」「行動提案」で構成されており、「行動提案」の項には、ブロック目標をより具体化し、各大学生協に実際に行って欲しい活動を示しています。
- ④東京ブロック事務局では、この目標をもとに、会員の取り組みを集約し、他会員でも活かせる点を広げていき、会員同士の学び合いや取り組みの強化に繋げていきます。

2. 2025年度東京ブロックが目指していく姿

2025年度は、「つながる仲間、ひろがる活動、つむぐ未来～みんなの「わ」～」を目標とします。※本文割愛

3. 東京ブロック会員生協が目指していく事柄

- ①組合員が大学生協を「身近」に感じ、大学生協の「運営」に参加してもらえるような取り組みを行いましょ。
- ②組合員の健康で安全な大学生活の実現のため「継続的」に「寄り添った」サポートを行いましょ。
- ③大学の特色や組合員のニーズを把握し、階層を超えた組合員どうしの学びあいを支援しましょ。
- ④組合員が継続的に社会に目を向けることができるようきっかけを作り、幅広く広めましょ。

東海ブロック

■ 2024年度の特徴、全体総評

コロナ禍が明けて、生協や学生委員会の活動が再興してきました。学生委員会は、会員によって人数の大小はありますが、少しずつ組織再建、人数増加の傾向にあります。それぞれの規模の中で組合員のためにできることを模索しながら各分野の活動に取り組んでいます。ほとんどの生協で対面中心の総代会が再開し、総代会に合わせて、組合員・総代が参加できる体験企画やディ

スカッションの場面が設けられるようになりました。会員理事会では、学生理事や教職員理事が自会員生協の課題を自分事として捉え、活発な意見交換ができる理事会運営が求められています。学生委員会のセミナーも対面での開催を基本とし、多くの参加者が集い、生協や各分野への学びを深め、学生委員会同士の横のつながりを作ってきています。店舗でも生協祭りや生協フェスタ、井IGPなど、職員と学生が協力しながら、組合員を巻き込み盛り上げる企画を実施しています。新学期活動も、早期の保護者向けセミナーをスタートのきっかけとして、職員と学生が連携して新入生の不安を解消しながら、新生活のスタートを支援する活動を進めてきました。また、通常時の活動が新学期活動につながるという認識が深まってきています。新学期提案は、組合員への調査活動を元に提案を作り、新学期に提案した商品やサービス、約束をきちんと日常の組織運営や店舗に反映させていくことが大切です。健康安全の分野の活動は会員でも取り組み、実施しているところが多いですが、社会課題活動に取り組んでいる会員が少なく課題です。東海地区では、オキナワの旅を実施していますが、参加者が少ないことや、参加した人が学びを持ち帰ってもそれを広げる場面が持てないことも課題となっています。

25年度以降も引き続き、学生・教職員、生協職員が連携しながら、組合員のより良い生活のため、を支軸とした事業・活動を広げていきます。

■ 2024年度ブロック方針に基づく総括

活動方針① 組合員が参画する場づくり(組織運営)

<成果>

- ・東海ブロック全体の学生委員数は前年度比で24%増加しました。(昨年度と比較が可能な20会員中、15会員で学生委員数の増加が見られました。)
- ・大学本部や地域生協、保健センターなど様々な組織と協力して事業・活動を行う会員が広く見られました。
- ・総代会チェックシートより、「総会・総代会後に総代と関わりを持っている会員」は20%、計画している会員は20%でした。実際に、総代ミーティングを始めて実施するなどの成果を得た会員が見られました。(活動方針③と重複するため後述。)
- ・組合員からの声を集めるだけでなく、声を受けて様々な形で店舗に反映させる活動が行われている会員がありました。
- ・総代会チェックシートより、「総会・総代会後に総代と関わりを持っている会員」は20%、計画している会員は20%でした。実際に、総代ミーティングを始めて実施するなどの成果を得た会員が見られました。
- ・ブロックとしては、ブロック学生委員会や総代学習会を通じて、組織委員の総代理解を深めました。(総代会チェックシートより、「学生委員会内で総代学習の機会があった」と回答した会員は昨年度に比べて約13%増加しました。)
- ・学生生活の実態を取り上げ、学生理事が発言しやすい理事会を行った会員が見られました。
- ・学生の生活実態や学生委員会活動を紹介し、教職員理事が発言しやすい理事会を行った会員が見られました。

<課題>

- ・店舗活動では“大学生協や学生委員が立案した企画に組合員が参加する”事例が中心となっています。”組合員の現状や声を基に企画を考える”という前提を持った活動を増やす必要があります。
- ・会員によって、総代進捗に差が生じています。上記事例のように学生委員会内で総代活動の意義を伝える会員もあれば、来年に向けて「まずは学習する機会を作る」という目標を掲げている会員もありました。

- ・また、新型コロナウイルス感染拡大に伴って総代活動のノウハウが引き継がれなかった会員（特に学生委員会）もあります。年間を通した総代活動への再挑戦が増加している中で、上記の理由から「年間を通した総代活動のスケジュールリング」や「総代活動の取り組み方」に苦戦している会員が見られました。
- ・（ブロック主体や各会員での学習の機会、セミナーの持ち帰り学習会を参考に）
“理念的な意味合い”における大学生協と学生委員会の関係性は浸透してきておりますが、「理事会で承認されることによって学生委員会が成り立つ」などの組織構造における関係性が浸透している会員は少ないです。

<2025年度に向けて>

- ・総代や総代会に関する学習が、全ての会員で行われるようにしましょう。また、職員・学生委員会・総代など大学生協に関わる全ての人々が上記の意義を理解できるようにしていきましょう。
- ・今年度に総代活動を行うことができた会員は、来年度も継続して「年間を通した総代活動」に挑戦しましょう。また、総代活動を通して「大学生協が伝えたい生協の魅力を伝える」「組合員の声を聞き取る」という双方向のコミュニケーションを意識した総代活動を実施しましょう。
- ・各会員の学生委員が「組織構造的な学生委員の存在意義」「理念的な学生委員の存在意義」どちらも理解できるようにしましょう。また、上記を理解した上で、理事会を意識した学生委員会活動を行えるようにしていきましょう。

活動方針② 健康・安全

<成果>

活動方針① 組合員自身が健康で安全な大学生活を過ごせるよう、健康や安全を意識できるきっかけを作りましょう。

- ・多くの会員生協で健康や安全への取組が実施されました。
代表的な例として、名古屋大学生協や名古屋市立大学生協では自転車点検を実施し、岐阜大学生協では泥酔ゴーグルでスイカ割といったように、安全に関心をもたれ危険について周知されました。
日本福祉大学では健康チェック、名古屋市立大学では献血企画も実施されました。

活動方針② 共済の4本柱を意識した活動を行い、広く組合員に共済の良さを知らせていきましょう。

- ・4本柱を意識して行った活動では、特に、加入と給付、予防の取組を意識した活動ができました。

活動方針③ 大学生協が提案する制度について会員での学びの機会を作りましょう。

- ・全国共済セミナー前後において、共済基礎学習会や給付事例学習会が実施されていた。全共セミをきっかけとし、大学生協が提案する制度について学ぶ機会が設けられた。

<課題>

健康・安全への取組が行えていない会員生協もありました。また健康パオのグッズ貸し出しについて知らないといった会員生協もあり、活動に差が出てしまっています。今後こういったことを周知してしていくことも課題の一つです。

4本柱に該当している取組はたくさん実施されてきていますが、計画の段階から意識はされていない印象があります。4本柱について、広めていくことが大切です。

給付事例学習会や全共セミの振り返りはほとんどの大学生協で実施されていた一方で、共済以外の大学生協の制度(たすけあい奨学制度や学生生活110番)に触れられている会員生協はあまりありませんでした。

<2025年度に向けて>

- ・健康・安全への取組が行われていない会員生協については、身近で関心の持ちやすいものから提案をしていく必要があります。また、健康パオ等の貸出が可能な事等についても周知する必

要があります。

4本柱についての理解を広められるように、周知するとともに、計画の段階から4本柱を意識できるように取り組みましょう。

共済以外の大学生協の制度についても普及していきましょう。

活動方針③ これからの学びと成長

<成果>

活動方針① 組合員間の知識を共有し、互いに学び合うサイクルを作りましょう。

- ・多くの会員で組合員間の知識を先輩から新入生へ共有し、互いに学び合うサイクルが作られていました。

講座のような事例でなくとも、履修相談会を開催し、先輩の経験も交えつつ、新入生にとってより良い履修登録、講義の選択につながることを行いました。生協学生委員会が置かれ、活動をしている会員の殆どで取り組みが行われました。

活動方針② 読書推進を通して、組合員が学び、成長し続けられるきっかけづくりをしましょう。

- ・これまで読書推進活動をしてきた会員は継続することができました。
- ・ブロック事務局がみぎあしFest. 春の陣2024のテーマセッションで実施した読書推進活動の普及、学びと成長分野の学習などを通して、学生委員に大学生協としてできる読書推進活動について考えてもらう機会を設けました。

活動方針③ 学生生活実態調査や各種アンケートを活用し、学生と職員が協力して各大学での学修スタイルを把握しましょう。

- ・各会員でICTアンケートを実施し、組合員の現状を把握することができました。
- ・アンケートの分析からパソコン講座の中身、講座の提案などを考える会員が見られました。

活動方針④ 入学から卒業までの組合員の現状を見つめ、それに合わせた自己実現、成長の場を提供しましょう。

- ・自ら講座を運営している会員生協では、受講者である新入生が入学から卒業までを見据えられるような講座を実施することができました
- ・スタートアップ講座だけでなく、新学期に留学、テーマのある旅、公務員試験対策講座の紹介など新入生のこれからの挑戦を応援し、サポートするための商品を伝えることができました

<課題>

活動方針① 組合員間の知識を共有し、互いに学び合うサイクルを作りましょう。

- ・組合員同士の学び合いについて、何を学び合うか、何を先輩から新入生へ伝えるのかを先輩の生活背景を基に考えることが課題です。

活動方針② 読書推進を通して、組合員が学び、成長し続けられるきっかけづくりをしましょう。

- ・会員によって読書推進活動の実施の有無に差が発生しています。
- ・読書推進活動と聞いて何をすればよいのか分からない会員があります。

活動方針③ 学生生活実態調査や各種アンケートを活用し、学生と職員が協力して各大学での学修スタイルを把握しましょう。

- ・学生生活実態調査や各種アンケートの結果を学生と職員で確認する機会が十分に確保されていないようです。

活動方針④ 入学から卒業までの組合員の現状を見つめ、それに合わせた自己実現、成長の場を提供しましょう。

- ・生協職員が中心となっている会員が多いという現状があります。
- ・生協学生委員会の主体が2,3年生ということもあり、就職活動の経験や卒業した人の声などが分からないという現状があります。そのために、生協学生委員会では新入生に卒業までを見据えた話をするのが困難であるということも課題です。

<2025 年度に向けて>

- ・新学期を中心に行われる新入生歓迎企画や履修相談会、各種講座をはじめとする「先輩から新入生への組合員間の学び合い」では、先輩の生活背景を基に新入生に伝えたいことを考えましょう。
- ・生協学生委員会と生協職員が協力して、組合員へ向けた読書推進活動を広めて行きましょう。
- ・生協学生委員会を中心に組合員の読書に対する意識や関心など、現状把握を行いましょ。
- ・各会員生協で実施する講座、新学期に提案する商品をはじめ、日常的に組合員の生活実態について、特に学修スタイルについて、学生と職員が互いに深め合い、共通の認識とすることを実施しましょう
- ・学生と職員が協力して〇〇大学生協の組合員(学生)の 4,6 年間でどのようなものかを考え、共通認識としましょう
- ・学生と職員が共に考えて見えてくることから、新入生に入学時に何をどのように伝えると良いか、生協の事業をどのように提案すると効果的かを共に考え合いましょ

活動方針④社会をつくる

<成果>

活動方針① 昨年に引き続き、世界の貧困問題について知り・考え・行動しましょう

- ・ユニセフ推進委員会内の協議を通して、学生と職員が一緒になり大学生協としてできることを考えることができました。
- ・みぎあし Fest. 春の陣において、設置されたユニセフのブースやテーマセッションでのユニセフ協会の方からのお話を聞くことで、ユニセフへの理解を深め自分たちにできることを考えることができました。
- ・ユニセフ募金に取り組む会員が見られました。また、ブロック事務局から愛知県ユニセフ協会の募金に参加をしました。

活動方針② 東日本大震災や伊勢湾台風などの過去の災害を教訓にし、組合員が過去の災害について知り、今後発生が予想される災害を自分事に捉え、備える機会を作りましょう。

- ・能登半島地震に対する取り組みとして、めった汁で応援！という教訓的な取り組みや店舗や食堂での募金活動が行われ、組合員の防災への興味の向上や行動の援助に一定の価値がありました。
- ・ブロック事務局では、ブロック学生委員会において
- ・「ふくしま」スタディツアーに 4 会員 8 名が参加し、自分の目で過去の災害や被災地の現状を学び、防災意識を高めることができました。
- ・その後、学生委員に向けた報告や理事会での報告などを行い、学びを拡げることもできました。
- ・2 会員では大学祭で防災ブースを出展、2 会員では 12 月に防災の企画を実施予定であり、学生が主体となった組合員に向けた防災の取り組みが少しずつ増加しています。

活動方針③ 過去や現在の戦争・紛争について知り・考え・行動しましょう。

- ・ブロック事務局では、みぎあし Fest. 春の陣で大学生協が「より良き大学生活と平和」を目指していることを周知することができました。
- ・また、ブロック事務局ではブロック学生委員会やちょこっとぴーすたでいを開催することで、大学生協で行っている取り組みを周知したり、過去の戦争について学んだりする場を提供することができました。
- ・12 会員 29 名がオキナワの旅に、4 会員 8 名が PeaceNow! に参加し、過去や現在の戦争・紛争について知り・考えることができました。
- ・オキナワの旅や PeaceNow! に参加後、学生委員に向けた報告や理事会での報告などを行い、学びを拡げることもできました。

- ・ブロック事務局では、ブロック運営委員会にて職員と学生が平和について語る時間を設け、大学生協全体で平和推進に取り組む意識を再確認することができました。

活動方針④ 新学期活動などの場を活用して、組合員が消費者トラブルについて知るきっかけをつくりましょう

- ・岐阜大学や金城学院大学など、新学期に合わせて消費者問題に関する企画を行った会員が見られました。
- ・大々的に企画として取り扱うことはなかったが、三重大学や愛知県立大学など、新学期に「ダメされないチカラ養成 HandBook」を配布することで消費者問題に取り組む会員が見られました。

<課題>

活動方針① 昨年に引き続き、世界の貧困問題について知り・考え・行動しましょう

- ・貧困問題について、学生委員会内での取り組みや組合員を巻き込んだ取り組みが少ない現状にあります。

活動方針② 東日本大震災や伊勢湾台風などの過去の災害を教訓にし、組合員が過去の災害について知り、今後発生が予想される災害を自分事に捉え、備える機会を作りましょう。

- ・防災の取り組みを実施する会員、「ふくしま」スタディツアーに参加する会員が限られているという現状があります。そのため、会員間で学びを拡げる取り組みを行う必要があります。
- ・新学期に新入生に向けた防災の取り組みを行う会員がほとんど見られない現状があります。そのため、新学期活動に防災の取り組みを取り入れる必要があります。
- ・非常食や非常用持ち出し袋の販売等、店舗と協力した取り組みや職員と学生が協力した取り組みがほとんど見られない現状があります。そのため、今後、学生委員と職員が協力し、東海ブロック全体で防災への取り組みの普及に向けて動く必要があります。

活動方針③ 過去や現在の戦争・紛争について知り・考え・行動しましょう。

- ・学生や職員が主体となって組合員まで学びを拡げる取り組みがほとんど見られません。そのため、今後、組合員まで学びを届けたり、一緒に平和について考える企画を実施したりする必要があります。
- ・オキナワの旅やPeaceNow！に参加する会員が限られているという現状があります。そのため、会員間で学びを拡げる取り組みを行う必要があります。

活動方針④ 新学期活動などの場を活用して、組合員が消費者トラブルについて知るきっかけをつくりましょう

- ・新入生に向けた取り組みを行った会員は見られましたが、上級生に向けた消費者問題の取り組みを行った会員は見られませんでした。
- ・新学期での取り組みはまだ一部の会員でしか実施していない現状があります。消費者問題の取り組みは特に新生活を迎える新入生に知ってもらいたい社会問題となっています。新学期での取り組みをもっと広めていく必要があります。

<2025年度に向けて>

- ・まずは貧困問題について知る機会に積極的に参加したり、学生委員会内での学習の機会を設けましょう。
- ・さらに、組合員に広めていくには何ができるかを考え、小さな取り組みからでも実行し、形にしていきましょう。
- ・会員間で「ふくしま」スタディツアーでの学びや防災の取り組みの教訓点を伝え合いましょう。
- ・新学期だからこそ、新入生の防災意識を高めるような取り組みを行いましょう。
- ・学生と職員が協力し、生協全体で防災意識を高めていきましょう。
- ・組合員にまで学びを拡げ、平和について考える機会を設けましょう。
- ・会員間でオキナワの旅やPeaceNow！での学びや平和推進の取り組みの教訓点を伝え合いましょう。

- ・新学期だけではなく、年間を通して消費者問題に取り組み、新入生だけではなく上級生にも消費者問題を周知していきましょう。
- ・新学期×消費者問題の取り組みを広めていき、新入生の消費者問題に関する不安を解消しましょう。

活動方針⑤新学期

<成果>

活動方針① 新学期の取り組みに関わる全ての人が新学期活動の「背景」や「意義」を考え、目的をもって活動・企画ができることを目指しましょう。

- ・新学期セミナーに、16 会員＋事業部合わせて 173 名が参加し、新学期活動を行う意義などを語り合いました。※昨年度実績は、14 会員 132 名。
- ・新学期期間に向けて、夏の間から職員・学生で話し合う事例が複数報告されました。本格的に動き出す前に職員と学生で意見をすり合わせる事ができている会員が増えていたことはよい点です。
- ・保護者セミナーには 17 会員が参加。うち 13 会員では先輩学生が登場した。学生と職員が協力し、新入生とその保護者に分科会を行いました。

活動方針② 新たな仲間がよりよい大学生活を送れるようにするために、過去最高の生協加入率、共済加入率を目指しましょう。

入学準備説明会を学生と職員が一体となって取り組み、新入生・保護者の不安を解消した会員が増えました。

- ・事務局が新学期セミナーにて、数値を見ることの大切さ、コトモノ提案の必要性について触れ、認知度を上げました。
- ・食堂パス、PC、iPad の利用者は増加しています。PC サポートの利用も昨年と比べ上昇しました。
1 (6,847 人/7,713 人)

活動方針③ 大学生協組織内における学生や職員の強みを把握し、連携しあうことで新入生の悩みや不安を解消できるようにしましょう。

- ・一人暮らしにフォーカスを当てる、就職活動について語るなど、先輩学生の”今”を伝える活動が少なくとも 10 会員で見られました。

活動方針④ 入学時期だけでなく卒業後をイメージした継続的なサポートをしましょう。

- ・卒業生アンケートを活用し、新入生に大学生活のよさを伝えると共に、大学後を見据えた行動をとってもらえるよう促している会員が見受けられました。

<課題>

活動方針① 新学期の取り組みに関わる全ての人が新学期活動の「背景」や「意義」を考え、目的をもって活動・企画ができることを目指しましょう。

- ・昨年度と比べ、新学期セミナーの参加者も増え、「背景」「意義」を考えながら活動を始めている会員が増しましたが、すべての会員で行っていたわけではありません。今年度できたところは来年度も、今年度できなかったところは来年度は、職員と学生で認識を揃えて新学期を戦い抜いていけるとよいと思います。

活動方針② 新たな仲間がよりよい大学生活を送れるようにするために、過去最高の生協加入率、共済加入率を目指しましょう。

- ・食堂パス、PC、iPad 利用者が増加した一方で、共済の加入率は東海全体として 23 年度を下回りました。(23 年度付帯率 64.6%, 24 年度付帯率 63.3%)。加入率が増加した会員は 4 会員にとどまりました。

活動方針③ 大学生協組織内における学生や職員の強みを把握し、連携しあうことで新入生の悩みや不安を解消できるようにしましょう。

- ・先輩学生の強みを活かした活動が多く見られた一方で、「職員の強み・連携し」というところを実践できた会員は少なかったです。

活動方針④ 入学時期だけでなく卒業後をイメージした継続的なサポートをしましょう。

- ・新社会人コースについて詳しく取り扱っている会員があまり見受けられませんでした。
- ・卒業生アンケートの配布のみで終わってしまい、分析して会員の今後の方向性を決められていない会員がありました。

<2025年度に向けて>

- ・「背景」「意義」を考えることは、今年できていたからはい、終わり、ではなく、継続していくことが必要です。何を目的に新学期活動をするのか、新入生にどうなってほしいのかを考えることを習慣化していきましょう。
- ・今年度行ってきたことの成果が本当に発揮されるのは、ここからの新学期です。努力をしたタイミングと結果が分かるタイミングが異なるのが新学期分野の辛いところですが、継続して数値について学生と職員で考えることは大切にして欲しいです。
- ・職員単体・学生単体、それぞれの強みを活かしながら活動できている会員は多くあります。うまく連携しながら企画を盛り上げていきましょう。
- ・新社会人コースについて学生も一緒に取り組んでみましょう。
- ・卒業生アンケートを活用し、自大学の未来に続けましょう

関西北陸ブロック

■2024年度関西北陸ブロック活動報告

1. 大学などと協力し、組合員が利用・参加し、自分や自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めました

- (1) 大学・地域・他団体と協力した取り組みが増え、ブロックとして地域内に発信していききました。
- (2) 大学（関係部署）との懇談会や報告など、生協と大学との関係構築を図る取り組みも増えてきました。
- (3) 組合員向けの季節や行事に合わせた店舗企画がコロナ前と比較しさらに増えてきました。学生委員をはじめとした積極的な組合員が企画作りの段階から関わる事例も見られました。
- (4) 一言カードなどを用いて組合員の意見を聞き、店舗運営につなげる会員生協も増えてきています。
- (5) 総代会では対面企画の実施により、組合員同士が直接交流できる機会の提供にこだわる会員生協も増えてきました。
- (6) ブロック内で連帯による交流企画や学びあいを通して、良い意味でま「まねる」が進み、良い事例や企画を生かした自会員生協の企画が取り組まれるようになっていきます。
- (7) 総会・総代会時期だけでなく年間を通して総代・組合員とのつながりを築こうとしている取り組みも増えました。そこでは、総代（組合員）の生活に目を向けるだけでなく、「大学生協と何か」と理解を深める場にもなっています。

2. 組合員の生活実態を把握し、大学生協全体で組合員の健康で安全な学生生活を支える活動が増えました

- (1) 大学の保健管理センターや大学との懇談会で、共済の給付事例を報告する会員生協が増えてきました。また報告だけでなく、協力して健康安全企画を行う会員生協もありました。
- (2) 対面の健康安全企画はさらに増えてきました。自転車点検会・食生活相談会（ベジチェック）などを取り組む会員も増え、組合員の健康・安全な学生生活を支える機会が広まりました。
- (3) 新学期の保護者説明会などで、大学と協力して、新入生や保護者に健康・安全な大学生生活を提案する取り組みも進みました
- (4) 食堂で食べ合わせ提案など、店舗や食堂など身近な場所を使い、組合員の健康・安全をサポートする取り組みが多くの会員生協で実施されました。
- (5) 共済推進委員会を設置し、大学の枠をこえた、関西北陸ブロック全体でのコミュニティを形成できました。また、推進委員には多くの会員から選出したことで取り組みを広げることができました。
- (6) 全国共済セミナーや地域版共済セミナーを通して、新学期に向けてセミナー報告会や共済学習会・給付事例学習会を職員・学生と実施し、「〇〇大生にとってのおすすめの加入プラン」をみんなで決める会員生協も見られました。
- (7) 理事会において、共済の給付件数や事例を共有する場を設定している会員生協が見られたほか、SNS などを用いて健康・安全に関する意見を集めたり発信したりしている会員生協も増えてきました。
- (8) 新社会人コースや「お金にまつわるセミナー」の実施も関西北陸地区内で広がっています。

3. 組合員の学び方や大学の学習支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会をつくりました

- (1) 新入生への説明会では大学・学部・学科の特徴を反映させた取り組みや、開催形態工夫し、組合員の多様な不安の解消に努める会員が増えました。
- (2) 新入生だけでなく受験生相談会やオープンキャンパスでの取り組みも進み、受験生（将来の組合員）に対しての受験や入学への不安の解消や、早期からの生協とのつながりづくりを進める会員が増えました。
- (3) 関西北陸ブロックの保護者セミナーを通して、新入生・保護者が入学時に抱える課題を払拭するための提案を行うことができました。一方、関西北陸地区の大学数を考えると参加者数は少ないと思われ、各大学生協や大学・高校などの動きに合わせた情報宣伝の実施や、内容も全国セミナーとの連携も視野に「関西北陸版」の位置づけを再検討する必要があります。また、セミナーでできた保護者とのつながりを各会員生協へのつながりにすぐに結び付く仕掛けづくりも必要です。
- (4) 新学期のパソコン提案や講座を通し、新入生の学びを支える取り組みが昨年引き続き多かったです。

4. SDGs 達成に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくりました。

- (1) 大学や他団体と交流・協力し、社会的課題に関する取り組みを進めた会員が増えてきました。ただし、全体を通して社会的課題に関わる取り組みを知っていたり実施したりできている会員生協は他の分野と比較して少ない状況です。
- (2) リ・リパックについては、ブロック学生委員会の場で各会員生協の学生委員と一緒に学習会を実施し、取り組みの必要性や現状、回収していく意味を確認することで、その後、周知に関する取り組みを実施する会員生協がありました。しかし、周知の取り組みに留まり、継続して回収していく取り組みまでには至っていません。そのことも受け

て、生協職員の店長会議で学生・職員が問題認識を共有することも行いました。

- (3) 能登半島地震・能登半島豪雨への取り組みも多くの会員生協で行われました。関西北陸地区とし11月にブロック代表が能登半島地震・豪雨災害視察を行いました。それらを踏まえて、今後も能登復興のために何ができるかについて、ブロック・会員生協全体で考えていきます。

■2025 年度関西北陸ブロック活動方針（案）

【2025年度 関西北陸ブロックで大切にしたいポイント】

- ① 組合員同士のつながり・交流
- ② 生協（店舗・食堂含む）の運営に参加する・継続的な利用につなげる
- ③ 組合員の声を聴く・参画する（総代会や店舗活動への組合員参加）
- ④ ささえあい、たすけあう
- ⑤ 大学や地域と連携する
- ⑥ 大学生の事業や活動の意義の再認識

- これらのポイントを支えていくため、ブロックとしても会員支援をさらに重視し、各会員の取り組みの意義づけや会員間のつながり・学びあいの場を積極的に意識して取り組みます。

中国・四国ブロック

■中四国ブロックのスローガンと目指すこと

スローガン「自立した個性輝く連帯」「楽しくなければ続かない。まじめでなければ広がらない」
2024 年度目指すこと（重点方針）

大学生協の想いや存在意義を見つめ直し、求められる大学生協に向けて再出発しましょう。

■ 2024 年度活動報告（活動方針をもとに）

- ① 組合員の参画する場づくり
組合員と日常的につながる機会を広げ、組合員が利用・参加したくなるような大学生協づくりを行いましょ。
 - ◆ 全国学生事務局会議等で総会・総代会に関する支援において何を大切にするのかを学び、そのことを基に総代会チェックシートを用いた集約・総代会訪問を行いました。今年も多くの会員で総代会を対面形式で開催でき、意見交流などで参加者が発言しやすい雰囲気作りを行っており、総代との新しいつながりづくりが行われていました。
 - ◆ 4月のブロック運営委員会・学生委員長会議において総会・総代会の位置づけや役割を理解し、総代と年間を通してつながり続けるという意識を高め、よりよい総代会について考えを深める機会をつくることができました。
 - ◆ 2月の組合員活動研修セミナーで学んだことを持ち帰り、未参加者まで学びを届ける工夫を行うことができたことにより、多くの学生委員に大学生協の価値や組合員活動の進め方について理解を深めることができました。
 - ◆ 6月に開催した春のセミナー2024では、学生委員会の役割や組合員活動の視点や、大学生協の想いについて伝えることができ、会員の活動では、ひとことカードなどで集めた組合

員の声を基にした店舗づくりや、年間を通じて組合員とつながり続けるための工夫や取り組みが広がりつつあります。

② 健康安全

組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしがたすけあう取り組みを通じて、健康で安全な大学生活を実現しましょう。

- ◆ 4月学生委員長会議や春のセミナー2024で、貸し出し備品を各会員で活用できるように周知を行った共済ブースの設置、たすけあい奨学制度のポスター掲示など行い知らせたことで、各会員で組合員に向けたベジチェックを使った健康促進企画を実施したり、学生委員会の中で運動をして身体づくりをする時間を作ったりすることなど予防や報告の活動が推進できました。
- ◆ 会員の多くで新入生・保護者の集合型説明会やサポートセンター、新入生歓迎企画などで共済加入の説明が各会員で行われ、大学生にとって生活に必要でかつ重要な共済であることを伝えることができた。その結果、21,232人に対して共済加入13,689人（加入率64.5%）の 新規加入がみられた。
- ◆ ブロックでも給付事例学習会に参加し、共済のたすけあいの想いを実感や、共済の魅力や必要性を再確認しました。そして学んだことを会員訪問や会議やセミナーを通じて中四の仲間に広げることができました。想いを伝えることを大切にしたら結果、多くの会員で給付ボード更新やSNS発信など継続的な発信・報告ができ、またたすけあい奨学制度の紹介を前年に引き続き総代会で行うことができました。

③ これからの学びと成長

組合員の学び方や大学の学習支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長するための礎を大切にしましょう

- ◆ 入学時の学びの提案のみに終わらず、卒業後、社会人になっても困ることのないようにしたいということに目を向けたお金のセミナーを実施し、給与明細の見方、社会保険の内容、休暇取得や、保険のことなど新たな生活に向けて必要な知識を得られる機会を広げることができました。
- ◆ 先輩学生自らがPC講座や、まなたび講座のスタッフとして学びの計画を立て教えることで、自身の成長の機会にすることが今年も多く会員で行われました。そして会員での事例を、7月に中四事業連合と合同開催したパワーアップ交流会で共有もしました。またコロナ後活発になってきた海外研修もシドニーツアーやシンガポールツアーの参加が昨年並みとなり、引き続き組合員のキャリア支援形成活動を行うことができました。
- ◆ 6月開催のブロック運営委員会や学生委員長会議で、学生生活実態調査について扱い、大学生活の現状について調査結果から考える場を設けることができたことで、各会員の特徴に応じた組合員の学修支援や成長支援などが考えることが広がりました。
- ◆ 九州ブロック主催の「MANAVI Café × Qトーク」に参加し、ブロックの垣根を越えて学びを共有することができました。また12月学生委員長会議ではディベートを通して学びについて考える機会を設けたことで、学びと成長分野としてできることの幅を広げることができました。

④ 社会をつくる

SDGsの達成に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動する きっかけづくりを行いましょ。

- ◆ 多くの会員生協でリリパックの説明のポスター掲示や動画発信、実際に体験してもらうことで新入生に、大学生協の環境配慮や想いを周知することができました。また新入生向けの取り組みの際に、新生活で直面するゴミ分別の問題なども意識づけが進みました。ま

た、かんきょ〜ずミーティングを通じて、参加された会員学生委員に大学生協における環境活動について考えてもらうことができました。

- ◆ ブロック学生事務局会議にて「社会を覗く時間」を行い、メンバー内で大学や大学生協と社会的課題の繋がりについて考えることができました。そしてブロック運営委員会でもおこなったことで、参加された教職員、専務、学生のすべての階層から社会的課題を話し合うことの大切を学んでいただきました。
- ◆ 実行委員会会議やセミナー開催時に、避難経路の確認や災害時の対応の確認をして、防災への意識向上を伝え続けたことで、会員の新生歓迎企画の始めに、新生へ災害時の安全確保について呼びかけるなど防災意識を高めることができました。またユニセフ募金や能登半島地震の募金活動に取り組むとともにSNSでの防災に関する情報発信に努めました。
- ◆ 全国社会的課題委員会に参加し、学生事務局内で各地の地域報告を共有することで、事務局内での大学生協における社会的課題への取り組みについて考えることができました。持ち帰ったことをきっかけに、4月学生委員長会議にて5月の消費者月間に際した呼びかけを行い、会員に大学生に関わる消費者問題について意識づけすることができ、またPeace Now! Hiroshimaなどの準備、実施を通して、平和の大切さ、現在世界の現状など多くの学びができました。

■ 2025 年度計画

全国の2025年度活動テーマは「仲間と拓げる元気とパワー！」～想いや願いを一步先へ。未来の組合員はすぐそこに～と掲げました。大学生協に関わる全ての人が、私たちの仲間となる新生を温かく迎え入れるための活動と日々の大学生生活をさらによりよくしていく活動の中で、新生だけでなく私たち自身も大学生協の価値に改めて気が付き、大学生協をもっと好きになってほしいという想いの下でこのテーマを設定しました。

生協から始まる出会いをきっかけに、新生も在校生も仲間どうしの元気やパワーを感じられ、より良い大学生活のスタートにしたい、そのためにも学生委員、サポーター・アドバイザー、職員みんなが知り合い、そして事業と活動を「ごっちゃ」にし、年間通じて、話し合い、協同し合いながら みんなで大学生協をもっと好きになってほしいと考えます。

下記3つの重点ポイントを軸に中四ブロックらしい活動を進めていきます。

2025年度新学期の重点ポイント

- ① 多様化するニーズをつかみ、全ての新生を大学生協の仲間の輪に加えましょう。
- ② ○○大生協にしかできないことをもっと追求し「生協がスキ」を拓げ、深めましょう。
- ③ 事業と活動を「ごっちゃ」にして、組合員の思い描く「よりよい大学生活」を深化させましょう。

九州ブロック

I 2024年度活動報告

1. 組合員が大学生協に参画する場面をつくり、組合員、大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりを進めるよう努めました。
 - (1) 理事会、総会、総代会などの場で再生計画を活発に議論し、具体化できた会員生協が多くありました。
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、総会、総代会をはじめ、事業、活動を対面で行う会員生協が増え、組合員との交流が活発になりました。

- (3) 日常的な場での組合員とのつながりを大切にし、大学コミュニティづくりに貢献するための活動や組合員の参画を促すための活動を行う会員生協が多くありました。
- 2. 組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしがたすけあう取り組みを通じて健康で安全な大学生活を実現するよう努めました。
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、健康企画、自転車点検企画など、組合員の健康と安全を守るための活動を対面で行う会員生協が多くありました。
 - (2) 昨今の物価高の影響を受け、経済的に困窮している組合員が多くなか、大学と連携し、100円朝食企画など、組合員の生活を守るための活動を行う会員生協が多くありました。
- 3. 変化する組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現、成長する機会づくりを行うよう努めました。
 - (1) 「〇〇大生の」あるいは「〇〇大の〇〇学部生の」など、組合員の生活実態をより深く知るための活動を行う会員生協が多くありました。
 - (2) 大学と連携し、「〇〇大生」に最適なパソコンを提案できた会員生協が多くありました。
 - (3) 大学と連携し、パソコンサポートを行う会員生協が多くありました。
 - (4) 大学と連携し、電子教材導入の検討を進める会員生協が多くありました。
- 4. 持続可能な社会の実現に向けて、組合員の趣味、関心を出発点に、知り、知らせ、考え、話し合い、行動するきっかけづくりを行うよう努めました。
 - (1) リ・リパック回収や樹恩割り箸使用など、組合員の環境に対する意識を高めるための活動を行う会員生協が多くありました。
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、平和、環境など、体験型の活動を行いました。

II 2025年度活動方針

- 1. 組合員が利用、参画し、自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めます。
- 2. 組合員の生活実態を把握し、組合員の健康で安全な大学生活を支えます。
- 3. 組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現、成長する機会をつくります。
- 4. SDGs達成に向けて、組合員の興味、関心を出発点に、知り、知らせ、考え、話し合い、行動するきっかけをつくります。

各ブロック運営委員会・常任運営委員会の2023年度開催報告

【北海道ブロック】

■ ブロック運営委員会

第6回運営委員会

日時 2023年10月21日（土） 10:00～13:00

会場 Web会議（Zoom開催） 出席27名

- 主な議題
- ・ブロック運営委員交代の件
 - ・23年度決算・24年度予算の件
 - ・全国総会・実践事例交流会の件
 - ・ブロック大会運営計画の件
 - ・報告事項：各組織委員会、全国会議関連報
 - ・グループ討論
- 2024年新学期活動方針
「柱その2～未来の組合員・保護者との接点強化に向けて」
各会員生協から早期接点作りの準備、23年度からの変更点などについて班交流

第1回運営委員会

日時 2023年12月2日（土） 12:40～12:50

会場 北海道自治労会館（札幌市北区北6条西7丁目5-3） 出席20名

- 主な議題
- ・2024年度ブロック学生事務局任命の件
 - ・ブロック運営員交代の件
 - ・2024年度ブロック常任運営員互選の件
 - ・2024年度全国組織委員推薦の件
 - ・報告事項：ブロック企画研修／主要会議日程の件

第2回運営委員会

日時 2024年2月3日（土） 10:00～13:00

会場 Web会議（Zoom開催） 出席17名

- 主な議題
- ・ブロック運営委員交代の件
 - ・2024年度北海道共済推進委員・運営計画の件
 - ・2024年度ブロック特別会費徴収の件
 - ・2024年度ブロック方針の件
 - ・2024年度ブロックセミナー・年間予定・執行体制の件
 - ・2023年度北海道ブロック大会振返りの件
 - ・24総代会運営に向けた準備の件
 - ・報告事項：会員報告1～2月総代会に向けた準備
ブロック共済保険分野活動報告/各組織委員会報告/全国・全道関連報告/
その他

第3回運営委員会

日時 2024年4月13日（土） 10:00～13:55

会場 Web会議（Zoom開催） 出席19名

- 主な議題
- ・ブロック運営委員交代の件
 - ・2024年度生協スクール開催要項 確認の件
 - ・3～7月実施セミナー運営体制の件

- ・2024年度新学期総括 総括（案）確認の件
- ・報告事項：学生委員会報告/教職員委員会報告/院生委員会報告/分野別活動報告/社会的課題/ブロック共済・保険分野活動報告

第4回運営委員会

- 日時 2024年7月6日（土）10：00～12：20
- 会場 Web会議（Zoom開催） 出席19名
- 主な議題
- ・ブロック運営員交代の件
 - ・24年度セミナー等 運営計画の件
 - ・PeaceNow!代表派遣の件
 - ・24年度新学期総括（案）・25年度新学期方針（案）決定の件
 - ・報告事項：学生事務局交代の件/全国学生委員会参加報告/全国教職員委員会参加報告/ブロック共済保険分野活動/大学生協 会員経営支援金申請について/臨時運営委員会開催の件/10月ブロック運営員会&議案検討会議

第5回（臨時）運営委員会

- 日時 2024年8月8日（土）18：00～20：00
- 会場 Web会議（Zoom開催） 出席17名
- 主な議案
- ・北海道大学生協 全国大学生協連合会 経営支援金 申請の件
 - ・経営不振生協再生に向けた支援・指導制度 第一次案

第6回運営委員会

- 日時 2024年10月26日（土）10：00～13：00
- 会場 Web会議（Zoom開催） 出席21名
- 主な議題
- ・24年度決算・25予算の件（2025年度北海道ブロック会員特別会費徴収の件）
 - ・全国総会（関連）・パワーアップ交流会の件
 - ・25年度ブロック区分役員推薦検討の件/ブロック大会2025運営計画の件
 - ・24年度新学期総括（案）・25年度新学期方針（案）の件
 - ・報告事項：ブロック活動報告/学生委員会報告/院生委員会報告/教職員委員会参加報告/分野別活動報告/共済。保険分野活動報告/北大生協・連合会経営支援金承認の件

■ ブロック常任運営委員会

第4回常任運営委員会

- 日時 2023年10月10日（月）
- 会場 北大生協会館3階会議室（札幌市北区北8西7-7）およびZoom開催 出席8名
- 主な協議
- ・第6回ブロック運営委員会運営計画確認の件
 - ・23年度決算、24年度予算・策定の件
 - ・全国総会・実践事例交流会開催の件
 - ・ブロック大会運営計画の件
 - ・報告事項：各組織委員会報告（学生・院生・教職員）/ブロック共済・保険分野活動報告/全国会議報告/その他

第1回常任運営委員会

- 日時 2024年1月22日（月）16：30～18：00
- 会場 Web会議（Zoom開催） 出席9名
- 主な協議
- ・第2回ブロック運営員会運営計画確認の件
 - ・2024年度ブロック会員へ特別会費徴収の件
 - ・2024年度北海道共済推進委員、運営計画の件

- ・2024年度年間予定・セミナー執行体制の件
- ・2024年度方針の件/2023年度北海道ブロック振返りの件
- ・報告事項：会員報告/ブロック日誌/各組織委員報告/
ブロック共済・保険分野活動報告/全国報告/
「令和6年能登半島地震緊急募金活動/2024新学期関連報告/マネーセミナー報告

第2回常任運営委員会

日 時 2024年4月1日(月) 17:00~18:00

会 場 Wen会議 (Zoom開催) 出席9名

- 主な協議
- ・生協スクール開催要項の件
 - ・3~7月実施セミナー運営体制・内容の件
 - ・2024年度総括ポイント(案)の件
 - ・第3回ブロック運営委員会 運営の件
 - ・報告事項：各組織委員会報告/ブロック共済・保険分野活動報告/全国会議報告/
「第4回Hokkaido海のクリーンアップ大作戦!」開催案内

第3回常任運営委員会

日 時 2024年6月24日(月) 17:00~18:30

会 場 Web会議 (Zoom開催) 出席8名

- 主な協議
- ・24年度新学期総括・25年度新学期方針(案)の件
 - ・第4回運営委員会開催日程の件
 - ・2024年度8~10実施セミナー等の件
 - ・PeaceNow!2024代表派遣の件
 - ・大学生協連 経営支援金申請の件
 - ・報告事項：全国教職員セミナー 8月29-30日(金) / 「田植え体験」報告

第4回常任運営委員会

日 時 2024年10月11日(金) 18:00~19:30

会 場 Web会議 (Zoom開催) 出席8名

- 主な協議
- ・10/26第6回ブロック運営委員会運営計画の件
 - ・24年度決算・25年度予算計画の件
 - ・24年年度総括・25年度方針の件
 - ・全国総会・議案検討委員会・パワーアップ交流会について
 - ・ブロック大会2025運営計画の件
 - ・25年度ブロック区分役員推薦検討・推薦者選出の件

【東北ブロック】

■ ブロック運営委員会

第4回 2023年10月21日(土) 15:45~17:30 ZoomによるWEB開催 WEB出席30名/38名
2024年度東北ブロック新学期方針 / 防災推進について / 東北ブロックフェスティバル
について / サマセミ・秋共振返りと来年度に向けて / 階層別委員会・推進課題・全国
会議報告

第5回 2023年12月19日(土) 10:00~12:35 ZoomによるWEB開催 WEB出席
29名/38名

23年度東北ブロック年間総括の件 / 総代に関する取組について / 24年度ブロック常任
運営委員体制の件 / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第1回 2024年2月3日(土) 10:00~13:00 ZoomによるWEB開催 WEB出席29名/38名
2024年度東北ブロック方針の件(分野推進計画含む) / 2024年度東北ブロックスケジュール
について / 2023年度平和使節団・2024年平和活動について / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第2回 2024年4月20日(土) 13:00~17:00 対面開催 出席28名/38名
パレスチナ問題学習かい / SummerUpSeminar2024方向性について / 春の共済セミナーについて / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第3回 2024年8月3日(土) 13:30~16:30 ZoomによるWEB開催 WEB出席29名/38名
24年全体方針及び分野推進計画の上半期総括 / 経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度 / 東北ブロックフェスティバル2024について / 東北ブロック体制の件 / 25年度東北ブロック学生事務局選出の件 / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

■ ブロック常任運営委員会

第5回 2023年11月17日(金) 18:00~20:00 TeamsによるWEB開催 出席9名
・第5回ブロック運営委員会議題について

第1回 2024年1月29日(金) 18:00~20:00 TeamsによるWEB開催 出席12名
・第1回ブロック運営委員会議題について

第2回 2024年4月5日(金) 18:00~20:00 TeamsによるWEB開催 出席12名
・第2回ブロック運営委員会議題について

第3回 2024年7月18日(金) 18:00~20:00 TeamsによるWEB開催 出席9名
・第3回ブロック運営委員会議題について

第4回 2024年9月26日(金) 18:00~20:00 ZoomによるWEB開催 出席12名
・第4回ブロック運営委員会議題について

【東京ブロック】

■ ブロック運営委員会

<2023年度 第4回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時: 10月29日(土) 13:00~16:44

議題: セミナー報告、インカレ報告

食事業推進、考えよう防災と食品ロス削減、会員実践報告

東京ブロック予算、ブロック特別会費について

24年度学生事務局・ブロック運営委員就任の件

23年度共済推進委員総括・24年度共済推進委員の件

インターカレッジコープとの業務委託契約更新

<2024年度 第1回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時: 1月27日(土) 13:00~16:33

議題: ブロック運営委員会と委員の役割について

24年度ブロック運営委員の承認、学生事務局の承認、新学期準備状況、新学期準備状況

ブロック推進計画、東京ブロック学生委員会について、共済推進委員会について

ブロック NEWS24 年度計画について、生協スクール 2024 について

<2024 年度第 2 回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：4 月 13 日（土）13：00～17：00

議題：共済推進委員の追加選出について、ミールシステム、全国読書コミュニティの刷新、
新学期状況交流、総代会準備状況交流、5 月以降のセミナーについて

<2024 年度第 3 回 運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：7 月 27 日（土）13：00～16：17

議題：共済健康安全推進方針、24 新学期総括と 25 新学期方針、総代会の取組みについて
ブロック上半期総括・上半期連帯の振り返り
24 年度ブロック大会、8 月以降のセミナー・連帯企画開催について

■ ブロック経営（常任）運営委員会

<10 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：10 月 30 日（月）

議題：エリア報告、事務局報告

2023 年度総括・見込、2024 年度計画・予算編成の進め方

東京ブロック 2023 年度決算ならびに 2024 年度予算

2024 年度 東京ブロック特別会費、2024 年度ブロック区分役員推薦者の件

2024 年度 東京インカレとの広報活動に関する契約書更新の件

<11 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：11 月 27 日（月）

議題：エリア報告、事務局報告、2024 年度特別会費会員別算出、
2024 年度主要スケジュール

<12 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 併用

開催日時：12 月 22 日（金）

議題：エリア報告、事務局報告

日社大生協臨時総会「解散議決」の報告

<1 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 併用

開催日時：1 月 29 日（月）

議題：エリア報告、事務局報告

会員の 23 総括・24 計画予算協議の報告、会員生協の経営実践の報告

<2 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 併用

開催日時：2 月 26 日（月）

議題：エリア報告、事務局報告、加入共済の到達点分析と課題・東北ミール導入の教訓
会員新学期事業のとりくみ、2024 年度教育研修互助規定について

<3 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 併用

開催日時：3 月 27 日（水）

議題：エリア報告、事務局報告

<5 月常任運営委員会> 杉並会館 Web 併用

開催日時：5 月 13 日（月）

議題：エリア報告、事務局報告

会員報告 正規 0 人区化への取り組み、医科歯科大学生協の所属エリア変更の件

< 6月常任運営委員会 > 杉並会館 Web 併用

開催日時：6月21日（金）

議題：エリア報告、事務局報告

東京における経営改善に向けた提起

< 7月常任運営委員会 > 杉並会館 Web 併用

開催日時：7月18日（木）

議題：エリア報告、事務局報告、「経営改善の施策」の具体化、トップマネジメント講座

< 8月常任運営委員会 > 杉並会館 Web 併用

開催日時：8月27日（火）

議題：エリア報告、事務局報告、トップマネジメント講座

JBR 学生 110 番報告

連合会会員支援の仕組み整備 経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度」第一次案

< 9月常任運営委員会 > 杉並会館 Web 併用

開催日時：9月27日（金）

議題：エリア報告、事務局報告、トップマネジメント講座

東京ブロック 2025 年度 予算案

「経営不振生協の再生に向けた支援・指導制度（案）設計

「全国共同仕入事業」の再構築

【東海ブロック】

■ ブロック運営委員会

第4回ブロック運営委員会（全国総会議案検討会を含む）

日時 23年10月21日（土）10:00-12:00

場所 東海会館地下会議室

成立 40名中27名の出席で成立

議題 ブロック定例報告/「オキナワの旅」開催報告/「オキナワの旅」2024に向けて/24年度東海ブロック学生事務局について/2023年度ブロック総括・2024年度ブロック方針について/東海ブロックフェスティバル2023について/豊橋創造大学生協設立/ブロック予算について/広報調査委員会のまとめと今後に向けて/ブロック委員の変更/おにぎりアクションの推進について

第1回ブロック運営委員会

日時 24年2月3日（土）9:30-11:00

場所 大学生協東海会館地下会議室

成立 40名中24名の出席で成立

議題 ブロック定例報告/2024年度大学生協連関係委員の報告/設立支援業務に関する業務委託契約の締結について/地域共済推進委員会 2024年度方針/2024年度年間スケジュール/2024オキタビ代表者派遣について/2024年度東海ブロック方針/東海ブロック2024年度分野推進計画/みぎあし Fest. 春の陣開催案内/【文書報告】分野活動報告

第2回ブロック運営委員会

日時 24年5月11日（土）10:00-11:30

場所 大学生協東海会館地下会議室

成立 40名中31名の出席で成立

議題 ブロック定例報告/みぎあしFest. 春の陣進捗報告/専務・委員長合宿の開催について/
味噌蔵見学について/東海新学期セミナーの開催について/みぎあしFest. 夏の陣（夏セ
ミナー）の開催について/第一回地域共済推進委員会報告/ブロック常任運営委員の追加
選任について/東海版保護者セミナーについて/ブロック活動報告【文書報告】

第3回ブロック運営委員会

日時 24年7月13日（土） 14:00-16:30

場所 ロワジュールホテル豊橋

成立 39名中35名の出席で成立

議題 ブロック定例報告/みぎあしFest. 春の陣2024総括/東海ブロックフェスティバル(TBF)
について/東海版保護者向け大学生生活入門セミナーの進捗について/卒業生向けアンケー
トのまとめについて/上半期総括について/井1 グランプリの提案/
けんこうあんぜんセミナーについて/地域共済推進委員会/新学期セミナー開催報告/
みぎあしFest. 夏の陣2024について/セミナー費用等参加費用補助支給基準設定の件

■ ブロック常任運営委員会

第5回ブロック常任運営委員会

日時 23年11月17日（金） 17:30-19:00

場所：オンライン

成立 9名中9名の出席で成立

議題 2023年度東海ブロック年間総括/2024年度東海ブロック方針/理事会改革五カ年計画/
東海ブロックフェスティバル 2023/設立支援業務に関する業務委託契約の締結について
/オキナワの旅2024について/ブロック企画開催報告

第1回ブロック常任運営委員会

日時 24年1月19日（金） 17:00-19:00

場所：東海会館 地下第1会議室、Zoom 併用

成立 9名中9名の出席で成立

議題 春セミの進捗報告/24年度東海ブロック方針について/分野推進計画/24年度東海
ブロック年間スケジュールについて/地域共済推進委員会 2024年度方針提案/2024 オキ
タビ 代表者派遣について/分野推進活動報告

第2回ブロック常任運営委員会

日時 24年3月12日（火） 17:00-18:20

場所：東海会館 地下第1会議室、Zoom

成立 9名中9名の出席で成立

議題 オキナワの旅2024について/地域共済推進委員会について/第1回ブロック学生
委員会開催報告/みぎあしFest. 春の陣進捗報告/新学期セミナー進捗報告/社会をつくる
内局活動報告

第3回ブロック常任運営委員会

日時 24年6月11日（火） 17:00-18:45

場所：東海会館 地下第1会議室、Zoom

成立 9名中9名の出席で成立

議題 みぎあしFest. 春の陣2024開催報告/専務理事・学生委員長会議2024進捗
報告/オキナワの旅2024 代表者派遣選出について/TBF2024開催について/東海
新学期セミナー2024について/夏のセミナーについて/分野活動報告 社会をつくる
分野第4回ブロック常任運営委員会

第4回ブロック常任運営委員会

日時 24年9月11日(水) 17:00-19:10

場所: 東海会館 地下第1会議室、Zoom

成立 9名中8名の出席で成立

議題 25年度ブロック予算の承認について/25年度ブロック方針作成スケジュール案/TBF2024進捗報告/地域共済推進委員会#3 及びけんこうあんぜんセミナーについて/2024年度オープンキャンパスにおける会員生協の取り組みについて/24年度の総代会の総括と来年度に向けて/専務理事・学生委員長会議 2024の総括と来年度の開催に向けて/ユニセフ推進委員会の名称及び活動目的変更の提案/25オキタビの開催に向けての事前協議

【関西北陸ブロック】

1. 9月30日土曜日 10:00~11:55 場所: ZOOM

(1) 【ブロック常任運営委員会】

- ① 全国役員ブロック区分推薦決定の件

(2) 【ブロック運営委員会】

- ① 全教職員委員 委員参加について
- ② ブロック関係会議について
- ③ 24年度新学期ロードマップ・工程表について
- ④ 24年度共済重点支援会員生協の取組報告
- ⑤ 24年度学生事務局紹介
- ⑥ ブロック共済推進委員会報告
- ⑦ みんなの共済 2023 について
- ⑧ 新学期わくわくセミナー総括
- ⑨ 全会員面談について
- ⑩ ブロック大会会場とテーマについて
- ⑪ 総代会学習会について
- ⑫ 各種報告

2. 11月11日土曜日 10:00~11:00 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① ブロック各種委員交代について
- ② ブロック予算確定報告
- ③ SEQ活用学生支援企画総括について
- ④ 関西北陸版保護者ガイド(保護者セミナー)実施報告
- ⑤ 関西北陸ブロック 教職員委員会 教職員フィールドワーク開催要項
- ⑥ ブロック共済推進委員会について
- ⑦ ブロック大会基本運営計画について
- ⑧ 各種報告

3. 12月2日土曜日 10:00~12:00 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① 全国教職員委員会 参加について
- ② 2024年度新学期に向けた共済推進の状況報告

- ③ ブロック院生委員会 報告
- ④ ブロック教職員委員会 報告
- ⑤ 2023 年度関西北陸ブロック年間総括
- ⑥ 2024 年度関西北陸ブロック方針
- ⑦ 2024 年度学生事務局行動指針について
- ⑧ 2024 年度ブロック共済推進委員会の体制について
- ⑨ 各種報告

4. 12 月 23 日土曜日 10 : 00 ~ 11 : 30 場所 : ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① ブロック運営委員会 2024 年度年間スケジュール
- ② 各種運営委員長交代について
- ③ 2024 年度新学期に向けた共済推進状況
- ④ 関西北陸地区新学期セミナー開催について
- ⑤ ブロック教職員委員会 報告
- ⑥ ブロック共済推進委員会報告
- ⑦ 2024 年度年間主家ジュール (学生事務局関係)
- ⑧ 2024 年度ブロック共済推進委員会について
- ⑨ 各種報告

5. 2 月 3 日土曜日 10 : 00 ~ 11 : 40 場所 : ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① 2024 年度新学期に向けた共済推進状況
- ② スチューデント EQ 活用学生支援企画総括
- ③ 連合会経営支援中間報告会 報告 (富山大生協)
- ④ ブロック教職員委員会 報告
- ⑤ 2024 年度社会的課題推進委員会設置に関して
- ⑥ 新学期わくわくセミナー設置趣旨に関して
- ⑦ 春セミナー開催趣旨・獲得目標
- ⑧ 各種報告

6. 4 月 20 日土曜日 11:00 ~ 12 : 50 場所 : 新大阪丸ビル別館 5-1・ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① 連合会経営支援生協の状況について
- ② 保護者のための大学生生活準備入門セミナー関西北陸版の実施について
- ③ 2024 年度新学期状況について
- ④ 2024 年度新学期共済推進状況
- ⑤ 2 月ブロック学生委員会開催報告
- ⑥ 5 月ブロック学生委員会開催形態について
- ⑦ 大山訪問研修について
- ⑧ 2025 年度学生事務局選出打診について
- ⑨ 社会的課題推進委員会メンバーについて
- ⑩ 春セミナー2024 GL 募集について
- ⑪ 春セミナー2024 開催要項
- ⑫ 教職員委員会報告
- ⑬ 各種報告

7. 5月13日土曜日 10:00～11:30 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① 2024年度新学期の総括に向けて
- ② 2024年度新学期生協・共済加入振り返り(案)について
- ③ 全国教職員セミナー費用補助の件
- ④ 関西北陸ブロック院生委員会報告
- ⑤ 2024年度上半期総括
- ⑥ 225年度学生事務局選出代診について
- ⑦ 社会的課題推進委員会 開催報告
- ⑧ 新学期2025スタートダッシュセミナー開催概要
- ⑨ 各種報告

8. 6月10日土曜日 10:00～12:40 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① ブロック常任運営委員交代及びブロック運営委員交代の件
- ② 京都学生祭典協賛金の件
- ③ 2024年新学期 生協・共済加入振り返り(案)について
- ④ 2025年度共済ロードマップ・工程表 作成と活用について
- ⑤ 全戸共済セミナーの件
- ⑥ 特別報告「能登半島地震のボランティア報告」
- ⑦ 関西北陸ブロック院生委員会報告
- ⑧ 社会的課題推進委員会 開催報告
- ⑨ みんなの共済2024実行委員会決定報告
- ⑩ 新学期2025スタートダッシュセミナー現状報告
- ⑪ 2025年度学生事務局選出状況について
- ⑫ 5月ブロック学生委員会開催報告
- ⑬ 2025年度新学期テーマについて
- ⑭ 上半期総括作成に向けて
- ⑮ 理事監事学習会について
- ⑯ 各種報告

9. 7月13日土曜日 10:00～12:00 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① ブロック運営委員会 開催日程変更の件
- ② 2024年度新学期加入推進の振り返りと2025年度新学期 生協・共済加入推進方針(案)
- ③ 2025年度新学期に向けた共済重点支援会員について
- ④ 全国教職員セミナーの件
- ⑤ 2025年度学生事務局選出状況
- ⑥ 春セミナー2024について
- ⑦ 社会的課題推進委員会 開催報告
- ⑧ 新学期2025スタートダッシュセミナー開催報告
- ⑨ 2024年度上半期総括
- ⑩ 理事監事学習会について
- ⑪ 大山訪問研修2024について
- ⑫ 各種報告

10. 8月3日土曜日 10:00～11:17 場所: ZOOM

(1) 【ブロック運営委員会】

- ① 2025年度共済加入冊子ブロックひな形作成について
- ② 2025年度アプリリーフレットについて
- ③ 富山大学生協 経営支援金申請の件
- ④ 学生生活実態調査費用補助の件
- ⑥ 全国教職員セミナーの件
- ⑦ 2025年度学生事務局選出状況
- ⑧ 社会的課題推進委員会 開催報告
- ⑨ みんなの共済2024 開催要項
- ⑩ みんなの共済2024 GL 募集について
- ⑪ 各種報告

【中国・四国ブロック】

■ ブロック運営委員会

第4回運営委員会

日 時	2023年10月14日(土) 13:00～16:20
会 場	Web会議 (Zoom会議)
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・2024年度ブロック区分役員の選出について・2024年度ブロック地域共済委員会正副委員長の選出について・2023年度決算と2024年度予算について・UNIV-TALK (大学生協連合会 議案検討会議) 開催

第5回運営委員会

日 時	2023年12月9日(土) 13:00～16:35
会 場	Web会議 (Zoom会議)
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・2024年度役員・地域共済委員他 事務局長一任事項について・2024年度中四ブロック学生事務局の委嘱について (追加)・2023年度ブロック総括と2024年度新学期上半期総括について・2023年度ブロック大会

第1回運営委員会

日 時	2024年1月27日(土) 13:00～16:28
会 場	ハイブリッド会議 (Zoom会議+岡山第一セントラルビル1号館9階大ホール)
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・2024年度中四ブロック各種委員会の委嘱について・2024年度ブロック運営委員会等の開催スケジュールについて・院生委員の委嘱について (追加)・2023年度ブロック総括と2024年度新学期上半期総括について・2024年度ブロック活動方針について・2023年度ブロック学生事務局の卒業セレモニー

第2回運営委員会

日 時	2024年4月20日(土) 13:00～15:47
会 場	Web会議 (Zoom会議)

- 主な議題
- ・機関会議に伴う費用負担区分と請求方法について
 - ・運営参加の場を作ろう ～総会・総代会どうやるんダイ！～
 - ・新学期の元気を通常期へ ～私たちも参加したいんダイ！～

第3回運営委員会

- 日時 2024年6月29日(土) 13:00～16:15
- 会場 Web会議 (Zoom会議)
- 主な議題
- ・中国・四国ブロックの役員選出の所属変更について
 - ・中国・四国ブロック運営委員の選出について
 - ・2024年度スケジュールの追加修正について
 - ・2024年度中四ブロック上半期総括について
 - ・2025年新学期方針について
 - ・社会を覗く時間
 - ・学生生活実態調査の分析について

■ ブロック常任運営委員会

第5回常任運営委員会

- 日時 2023年10月6日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 第4回ブロック運営委員会の議題内容確認、役員推薦委員会の開催

第6回常任運営委員会

- 日時 2023年12月1日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 第5回ブロック運営委員会の議題内容確認

第1回常任運営委員会

- 日時 2024年1月19日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 第1回ブロック運営委員会の議題内容確認

第2回常任運営委員会

- 日時 2024年4月12日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 第2回ブロック運営委員会の議題内容確認

第3回常任運営委員会

- 日時 2024年6月21日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 役員推薦委員会の開催：ブロック常任運営委員の所属変更の件
第3回ブロック運営委員会の議題内容確認

第4回常任運営委員会

- 日時 2024年8月22日(木)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 2024年度決算見通しと2025年度予算案の件、8月ブロック専務理事会議の議案検討
(内部統制推進、経営支援・指導について、教職員委員会の今後の運営についてなど)

■ 理事長会議(理事長懇談会)

第1回理事長会議(理事長懇談会)

日時 2024年5月25日(土) 14:00~16:00

会場 岡山県岡山市第一セントラルビル3号館4階ローズマリー 対面開催

参加 会員理事長(教職員委員長含む)9名、会員専務理事7名、
中四国事業連合理事長・専務理事、常務理事、ブロック職員3名、合計22名

議案 ・協議:①会員の24年度活動・事業報告(状況報告と意見交換)

②教職員の「生協への参加」について意見交換

(会員での現状とブロックや事業連合の役割について)

③中四事業連合の現状と今後の課題について報告と意見交換

④意見交換の時間(事前アンケートでの意見・要望を中心に)

■ 専務理事会議

日時 2024年8月29日(木) 13:00~15:30

会場 大阪府大阪市中四事業連合大会議室+ZOOM会議 ハイブリッド開催

参加 会員専務理事13名・中四事業連合専務理事、常務理事、ブロック職員3名、合計22名

議案 ・協議:①教職員の連帯参加にむけて(教職員委員会の今後の運営について等、意見交換)

②内部統制推進について(状況報告と意見交換)

③連合会の経営支援・指導の一次案について(状況報告と意見交換)

④共済推進、災害時の生協活動、会員の保険加入について情報提供

【九州ブロック】

■ ブロック運営委員会

1. 2023年度第3回九州ブロック運営委員会

(1) 日時 2023年10月21日(土) 11:00~12:40

(2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB

(3) 出席 46人中29人

(4) 内容

1) 会員生協理事会の件

2) 2024年度九州ブロック学生事務局および担当会員生協の件

3) 2024年度九州ブロック予算の件

4) 2024年度九州ブロック区分役員候補推薦者の件

2. 2023年度第4回九州ブロック運営委員会

(1) 日時 2023年12月2日(土) 11:00~12:30

(2) 場所 パピヨン24ビル会議室およびWEB

(3) 出席 46人中26人

(4) 内容

1) 2023年度活動総括の件

2) 2024年度九州ブロック学生事務局の担当会員生協および担当推進課題の件

3) 2024年度九州ブロック執行体制の件

4) 2024年度全国大学生協連合会理事会委員会委員などの件

3. 2024年度第1回九州ブロック運営委員会

(1) 日時 2024年1月27日(土) 13:30~16:30

(2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB

(3) 出席 46人中27人

(4) 内容

- 1) 2024 年度九州ブロック活動方針および推進課題の件
- 2) 2024 年度九州ブロック目標達成に向けての件
- 3) 2024 年度年間スケジュールの件

4. 2024 年度第 2 回九州ブロック運営委員会

- (1) 日時 2024 年 7 月 27 日(土) 11:00～13:00
- (2) 場所 パピヨン 24 ビル会議室および WEB
- (3) 出席 46 人中 30 人
- (4) 内容
 - 1) 2024 年度上期活動総括の件
 - 2) 2024 年度総会・総代会の件
 - 3) 九州ブロック院生委員会設置の件
 - 4) 新入生キャリア講座の件
 - 5) 2024 年度九州ブロック執行体制の件
 - 6) 2024 年度九州ブロック決算見込みの件

■ ブロック常任運営委員会

1. 2023 年度第 10 回九州ブロック常任運営委員会

- (1) 日時 2023 年 10 月 13 日(金) 10:00～13:00
- (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室および WEB
- (3) 出席 10 人中 9 人
- (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

2. 2023 年度第 11 回九州ブロック常任運営委員会

- (1) 日時 2023 年 11 月 10 日(金) 14:00～17:50
- (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室および WEB
- (3) 出席 10 人中 8 人
- (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

3. 2023 年度第 12 回九州ブロック常任運営委員会

- (1) 日時 2023 年 12 月 8 日(金) 10:00～13:00
- (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室および WEB
- (3) 出席 10 人中 8 人
- (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

4. 2024 年度第 1 回九州ブロック常任運営委員会

- (1) 日時 2024 年 1 月 12 日(金) 14:00～17:50
- (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室および WEB
- (3) 出席 10 人中 8 人
- (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

5. 2024 年度第 2 回九州ブロック常任運営委員会

- (1) 日時 2024 年 2 月 9 日(金) 14:00～17:45
- (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室および WEB
- (3) 出席 10 人中 8 人
- (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

6. 2024年度第3回九州ブロック常任運営委員会
 - (1) 日時 2024年3月15日(金) 14:00～17:40
 - (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB
 - (3) 出席 10人中8人
 - (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件
7. 2024年度第4回九州ブロック常任運営委員会
 - (1) 日時 2024年4月30日(火) 14:00～18:00
 - (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB
 - (3) 出席 10人中9人
 - (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件
8. 2024年度第5回九州ブロック常任運営委員会
 - (1) 日時 2024年6月11日(火) 13:30～18:00
 - (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB
 - (3) 出席 10人中9人
 - (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件
9. 2024年度第6回九州ブロック常任運営委員会
 - (1) 日時 2024年7月5日(金) 14:00～17:30
 - (2) 場所 長崎大学文教キャンパス会議室およびWEB
 - (3) 出席 10人中9人
 - (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件
10. 2024年度第7回九州ブロック常任運営委員会
 - (1) 日時 2024年8月7日(水) 14:00～17:50
 - (2) 場所 大学生協事業連合九州地区会議室およびWEB
 - (3) 出席 10人中8人
 - (4) 内容 経営、内部統制、組織活動などの件

4. 大学生協設立支援金の運用状況報告

2024 年度 大学生協設立支援金の運用状況報告

「大学生協設立支援積立金活用規則」により 2024 年度の運用状況を次のとおり報告する。
2023 年 10 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までの間の理事会に報告したものは以下の通り。

1. 2023 年 11 月 25 日 第 7 回理事会

(1) 豊橋創造大学

申請期間：2023 年 9 月

支援額：9,420 円

主な支援項目：支援者の訪問交通費

2. 2024 年 2 月 17 日 第 2 回理事会

(1) 豊橋創造大学

申請期間：2023 年 10 月

支援額：655,545 円

主な支援項目：支援者の訪問交通費・保護者説明会関連費用・創立総会関連費用

申請期間：2024 年 1 月

支援額：70,820 円

主な支援項目：創立総会書面議決書郵送費用・創立総会祝賀パーティー

支援額：3,300,000 円

主な支援項目：「設立支援業務に関する業務委託契約」締結による業務委託料

(2) 岐阜県立看護大学

申請期間：2024 年 1 月

支援額：2,030 円

主な支援項目：支援者訪問交通費

3. 2024 年 5 月 18 日 第 3 回理事会

申請期間：2024 年 2 月～4 月

支援額：0 円（申請なし）

4. 2024 年 7 月 20 日 第 4 回理事会

申請期間：2024 年 5 月～6 月

支援額：0 円（申請なし）

5. 2024 年 9 月 21 日 第 5 回理事会

申請期間：2024 年 7 月～8 月

支援額：0 円（申請なし）

4. 2025 年度 会費一覽

大学生協連2025年度会費について

●定款第8条および会員規約の定めにより、2025年度の会費を別紙の通りとします。

213 会員 / 687,071,250 円となります。（前年差 12,227 千円）

[定款]（会費）

第8条 会員は、この会の事業に必要な経費にあてるため、別に定める会員規約による会費を負担しなければならない。

○会費の算定方法（会員規約より）

(1) 会費の積算方法は、次の通常会費Ⅰ+通常会費Ⅱの合計です。

通常会費Ⅰ・・・ 会員の組合員数および供給高に規約に定める係数を各々乗じた合計

通常会費Ⅱ・・・ 会員の組合員数に規約に定める係数を乗じた合計 と

会員の供給高に規模に応じて規約の定める係数を乗じた額の合計

新規加入会員には、加入年度およびその翌年度には、会費の軽減措置があります。

(2) 2025 年度の算定基礎数値

会員の組合員数…… 「会員基本調査」により2024年9月末日現在で報告のあった数

会員の供給高…… 2023年12月31日を含む事業年度末の決算書類より(RGデータ)

(3) 特記事項

- ・ 滋賀大学彦根地区生協と滋賀大学大津地区生協は、2024年3月1日付けで合併し、滋賀大学生協生活協同組合となりました。
- ・ 東京工業大学生協は、大学合併に伴い、2024年10月1日付けで名称を変更。東京科学大学つばめ生活協同組合となりました。
- ・ 東京医科歯科大学生協は、大学合併に伴い、2024年10月1日付けで名称を変更。東京科学大学お茶ノ水生活協同組合となりました。
- ・ 豊橋創造大学生協生活協同組合は、2023年11月加入のため、大学生協連2025年度は「会員規約」第6条4項を適用し、“当年計画供給高の2分の1を基準として算出”します。

○会費の納付時期

納付月	会費種別	該当月	金額
2025年 1月末	通常会費Ⅰ	2024年10月～2025年2月分	5.0ヶ月分
2025年 3月末	通常会費Ⅰ	2025年3月～2025年6月分	4.5ヶ月分
2025年 6月末	通常会費Ⅱ	2025年度	年間一括
2025年 7月末	通常会費Ⅰ	2025年7月～2025年9月分	3.0ヶ月分

○会員規約(1992年施行/2016年一部改正) 抜粋

(通常会費Ⅰの算定基準)

第7条 通常会費Ⅰは、第8条に定める基礎数値をもとに、別表Ⅰによって算定した額の合計を年額、年額を12.5で割った額を月額と呼び、会員は3月分として月額に1.5を掛けた額を、それ以外の各月の分として月額を支払うものとする。

2 通常会費Ⅰの月額に50円以上の端数がある場合500円に切りあげる。

3 通常会費Ⅰの月額の最低額は500円とする。

4 新規加入会員の当該年度の通常会費Ⅰは月額500円とし、翌年度の会費のうち別表Ⅰ第1号については当年計画供給高の2分の1を基準として算出する。

5 定款第6条第2号及び第3号の会員の通常会費Ⅰの月額は次に定める額とする。

(1) 事業連合500円

(2) 前号以外の会員 理事会で定めた額

(第7条の通常会費Ⅰに関する別表Ⅰ)

次の(1)と(2)との合計に、12分の12.5を掛けた額

(1) 会員の組合員数に5円を掛けた額

(2) 会員の供給高に、1000分の1.50を掛けた額

(通常会費Ⅱの算定基準)

第7条の2 通常会費Ⅱは、次条に定める基礎数値をもとに、別表Ⅱによって算定した額の合計とする。

2 前条第2項、第3項及び第4項の定めは、通常会費Ⅱにおいて準用する。

3 定款第6条第2号及び第3号の会員には、通常会費Ⅱを課さないものとする。

(第7条の2の通常会費Ⅱに関する別表Ⅱ)

(1) 会員の組合員数に85円を掛けた額

(2) 会員の供給高に、その供給高の区分に応じた次の数を掛けた額

ア 2億円未満の会員 1000分の0.65

イ 2億円以上10億円未満の会員 1000分の0.85

ウ 10億円以上20億円未満の会員 1000分の0.90

エ 20億円以上40億円未満の会員 1000分の0.85

オ 40億円以上の会員 1000分の0.70

(会費算定基礎数値の報告)

第8条 会員は、会費算定に必要な資料として、毎月10月31日までに当該年9月30日現在の組合員数及び前年12月31日を含む事業年度末日現在の事業報告書及び決算関係書類並びにこれらの附属明細書を、会長理事に提出しなければならない。ただし、会長理事が認めたときは、会員基本調査票及び経営概況調査票を援用することができる。

2 事業年度変更時の会費算定の供給高は、その年度の基点から12ヶ月分の供給高とする。

(通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの決定及び通知)

第9条 会長理事は、毎年11月(これと異なる月に算定すべき事情が生じたときはその月)に、通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの額を算定し、通常総会の議案書に掲載して会員に通知する。

(通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの納付方法)

第10条 会員は通常会費Ⅰを年3回に分けて納付するものとし、その支払期限等は次のとおりとする。

(通常会費Ⅰの3分割と納付月についての説明・・・略)

2 会員は通常会費Ⅱを年1回納付するものとし、6月上旬に会より請求し、支払期限は6月末日とする。

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会員名	基礎データ			年額は月額12.5ヶ月分		分割納付の明細				合計年額 2025年度 (円)
			24組合員数 (人)	23純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	
						2025年度	2025年度	会費Ⅰ×5.0ヶ月	会費Ⅰ×4.5ヶ月	年額	会費Ⅰ×3.0ヶ月	
						月額(円)	年額(円)	納付1月末	納付3月末	納付6月末	納付7月末	
1000	北海道大学生生活協同組合	26,003	2,925,774	2,925,774	377,000	4,697,500	1,885,000	1,696,500	4,697,500	1,131,000	9,410,000	
1001	北海学園生活協同組合	9,220	666,164	666,164	87,500	1,350,000	437,500	393,750	1,350,000	262,500	2,443,750	
1002	北星学園生活協同組合	5,625	432,736	432,736	56,500	846,000	282,500	254,250	846,000	169,500	1,552,250	
1003	北海道教育大学生生活協同組合	5,333	421,391	421,391	55,000	811,500	275,000	247,500	811,500	165,000	1,499,000	
1004	札幌大学生生活協同組合	3,702	198,196	198,196	26,500	443,500	132,500	119,250	443,500	79,500	774,750	
1030	酪農学園生活協同組合	4,975	453,450	453,450	59,000	808,500	295,000	265,500	808,500	177,000	1,546,000	
1031	札幌学院大学生生活協同組合	3,497	285,471	285,471	37,500	540,000	187,500	168,750	540,000	112,500	1,008,750	
1032	小樽商科大学生活協同組合	2,466	205,942	205,942	27,000	385,000	135,000	121,500	385,000	81,000	722,500	
1033	室蘭工業大学生生活協同組合	8,060	547,250	547,250	72,000	1,150,500	360,000	324,000	1,150,500	216,000	2,050,500	
1040	帯広畜産大学生生活協同組合	2,256	282,006	282,006	36,500	431,500	182,500	164,250	431,500	109,500	887,750	
1041	北見工業大学生生活協同組合	2,447	346,071	346,071	44,500	502,500	222,500	200,250	502,500	133,500	1,058,750	
1041	釧路公立大学生生活協同組合	1,549	153,603	153,603	20,000	231,500	100,000	90,000	231,500	60,000	481,500	
1051	公立はこだて未来大学生生活協同組合	1,283	185,335	185,335	24,000	229,500	120,000	108,000	229,500	72,000	529,500	
1060	旭川市立大学生生活協同組合	1,029	91,622	91,622	12,000	147,000	60,000	54,000	147,000	36,000	297,000	
2000	弘前大学生生活協同組合	8,730	1,738,577	1,738,577	221,000	2,307,000	1,105,000	994,500	2,307,000	663,000	5,069,500	
2001	弘前学院生活協同組合	656	64,080	64,080	8,500	97,500	42,500	38,250	97,500	25,500	203,750	
2010	岩手大学生生活協同組合	6,948	946,922	946,922	121,500	1,395,500	607,500	546,750	1,395,500	364,500	2,914,250	
2011	盛岡大学生生活協同組合	2,677	169,669	169,669	22,500	338,000	112,500	101,250	338,000	67,500	619,250	
2012	岩手県立大学生生活協同組合	3,399	346,374	346,374	45,000	583,500	225,000	202,500	583,500	135,000	1,146,000	
2020	秋田大学生生活協同組合	6,058	986,499	986,499	126,000	1,353,500	630,000	567,000	1,353,500	378,000	2,928,500	
2030	山形大学生生活協同組合	10,792	1,302,118	1,302,118	167,500	2,089,500	837,500	753,750	2,089,500	502,500	4,183,250	
2040	大学生協みやぎインターカレッジユープ	4,062	339,527	339,527	44,500	634,000	222,500	200,250	634,000	133,500	1,190,250	
2041	東北大学生生活協同組合	24,428	3,884,861	3,884,861	496,000	5,378,500	2,480,000	2,232,000	5,378,500	1,488,000	11,578,500	
2042	東北学院大学生生活協同組合	11,205	711,862	711,862	94,000	1,557,500	470,000	423,000	1,557,500	282,000	2,732,500	
2043	東北工業大学生生活協同組合	2,301	246,041	246,041	32,000	405,000	160,000	144,000	405,000	96,000	805,000	
2044	宮城大学生生活協同組合	2,108	220,411	220,411	28,500	366,500	142,500	128,250	366,500	85,500	722,750	
2045	宮城教育大学生生活協同組合	1,582	195,015	195,015	25,000	261,500	125,000	112,500	261,500	75,000	574,000	
2046	宮城学院生活協同組合	3,434	398,533	398,533	51,500	631,000	257,500	231,750	631,000	154,500	1,274,750	
2060	尚綱学院大学生生活協同組合	1,693	159,261	159,261	21,000	247,500	105,000	94,500	247,500	63,000	510,000	
2070	福島大学生生活協同組合	6,117	751,662	751,662	96,500	1,159,000	482,500	434,250	1,159,000	289,500	2,365,250	
3100	慶應義塾生活協同組合	33,965	3,343,925	3,343,925	432,500	5,729,500	2,162,500	1,946,250	5,729,500	1,297,500	11,135,750	
3101	東京海洋大学生生活協同組合	2,737	243,758	243,758	32,000	440,000	160,000	144,000	440,000	96,000	840,000	
3102	東京農業大学生生活協同組合	13,362	1,153,702	1,153,702	150,000	2,174,500	750,000	675,000	2,174,500	450,000	4,049,500	
3103	東京科学大学つばめ生活協同組合	11,421	1,159,838	1,159,838	150,000	2,015,000	750,000	675,000	2,015,000	450,000	3,890,000	
3104	明治学院消費生活協同組合	11,064	631,142	631,142	83,500	1,477,000	417,500	375,750	1,477,000	250,500	2,520,750	
3105	東京都立大学生生活協同組合	12,212	899,916	899,916	118,000	1,803,000	590,000	531,000	1,803,000	354,000	3,278,000	
3106	和光学園生活協同組合	3,227	189,251	189,251	25,000	397,500	125,000	112,500	397,500	75,000	710,000	
3107	桜美林学園消費生活協同組合	5,643	265,926	265,926	36,000	706,000	180,000	162,000	706,000	108,000	1,156,000	

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費 I		通常会費 II		分割納付の明細				合計年額 2025年度 (円)
			24組合員数 (人)	23純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	2025年度	2025年度	10-2月分	3-6月分	通常会費 II	7-9月分			
						月額(円)	年額(円)	会費 I × 5.0ヶ月 納付1月末	会費 I × 4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費 I × 3.0ヶ月 納付7月末			
3108	麻布大学生生活協同組合	2,579	192,649	192,649	25,500	344,500	127,500	114,750	344,500	76,500	663,250			
3109	宇宙科学研究所生活協同組合	327	213,509	213,509	27,000	209,500	135,000	121,500	209,500	81,000	547,000			
3110	横浜国立大学生生活協同組合	10,510	881,766	881,766	115,000	1,643,000	575,000	517,500	1,643,000	345,000	3,080,500			
3111	横浜国立大学生生活協同組合	7,066	524,796	524,796	68,500	1,047,000	342,500	308,250	1,047,000	205,500	1,903,250			
3112	星薬科大学生生活協同組合	1,929	161,931	161,931	21,000	269,500	105,000	94,500	269,500	63,000	532,000			
3113	東京工芸大学生生活協同組合	4,270	390,054	390,054	50,500	694,500	252,500	227,250	694,500	151,500	1,325,750			
3114	芝浦工業大学消費生活協同組合	8,215	903,611	903,611	116,500	1,466,500	582,500	524,250	1,466,500	349,500	2,922,750			
3115	日本赤十字看護大学生生活協同組合	1,175	95,492	95,492	12,500	162,000	62,500	56,250	162,000	37,500	318,250			
3116	神奈川大学生生活協同組合	18,838	1,338,938	1,338,938	175,500	2,806,500	877,500	789,750	2,806,500	526,500	5,000,250			
3117	昭和大学生生活協同組合	4,565	322,041	322,041	42,500	662,000	212,500	191,250	662,000	127,500	1,193,250			
3200	東京大学消費生活協同組合	49,938	5,897,369	5,897,369	758,000	8,373,000	3,790,000	3,411,000	8,373,000	2,274,000	17,848,000			
3201	東京理科大学消費生活協同組合	19,754	987,135	987,135	132,000	2,518,500	660,000	594,000	2,518,500	396,000	4,168,500			
3202	東京電機大学生生活協同組合	7,079	540,275	540,275	70,500	1,061,000	352,500	317,250	1,061,000	211,500	1,942,250			
3203	千葉商科大学生活協同組合	5,351	189,820	189,820	26,000	578,500	130,000	117,000	578,500	78,000	903,500			
3204	千葉大学生生活協同組合	13,064	1,325,764	1,325,764	171,500	2,304,000	857,500	771,750	2,304,000	514,500	4,447,750			
3205	東邦大学消費生活協同組合	3,900	306,342	306,342	40,000	592,000	200,000	180,000	592,000	120,000	1,092,000			
3206	お茶の水女子大学消費生活協同組合	3,166	322,354	322,354	42,000	543,500	210,000	189,000	543,500	126,000	1,068,500			
3207	東京科学大学御茶ノ水生活協同組合	7,101	410,522	410,522	54,500	952,500	272,500	245,250	952,500	163,500	1,633,750			
3208	武蔵学園生活協同組合	6,040	195,048	195,048	27,000	640,500	135,000	121,500	640,500	81,000	978,000			
3209	日本女子大学生生活協同組合	6,339	434,727	434,727	57,000	908,500	285,000	256,500	908,500	171,000	1,621,000			
3210	東洋大学生生活協同組合	29,102	1,301,902	1,301,902	175,000	3,645,500	875,000	787,500	3,645,500	525,000	5,833,000			
3211	東京芸術大学生生活協同組合	2,828	89,636	89,636	12,500	299,000	62,500	56,250	299,000	37,500	455,250			
3212	大東文化学園生活協同組合	8,947	426,911	426,911	57,500	1,123,500	287,500	258,750	1,123,500	172,500	1,842,250			
3213	埼玉大学生生活協同組合	9,225	711,719	711,719	93,000	1,389,500	465,000	418,500	1,389,500	279,000	2,552,000			
3214	跡見学園女子大学生生活協同組合	3,717	161,244	161,244	22,000	421,000	110,000	99,000	421,000	66,000	696,000			
3215	十文字学園生活協同組合	2,413	103,609	103,609	14,000	272,500	70,000	63,000	272,500	42,000	447,500			
3216	淑徳大学みずほ台生活協同組合	840	67,568	67,568	9,000	115,500	45,000	40,500	115,500	27,000	228,000			
3300	早稲田大学生生活協同組合	49,539	3,892,014	3,892,014	507,500	7,519,000	2,537,500	2,283,750	7,519,000	1,522,500	13,862,750			
3301	東京インターカレッジオーブ	13,166	402,880	402,880	56,000	1,462,000	280,000	252,000	1,462,000	168,000	2,162,000			
3302	法政大学生生活協同組合	30,040	1,463,960	1,463,960	195,500	3,871,000	977,500	879,750	3,871,000	586,500	6,314,750			
3303	工学院大学学園生活協同組合	7,471	651,804	651,804	85,000	1,189,500	425,000	382,500	1,189,500	255,000	2,252,000			
3304	東京外国語大学生生活協同組合	4,369	342,690	342,690	45,000	663,000	225,000	202,500	663,000	135,000	1,225,500			
3305	東京工業高等専門学校生活協同組合	1,204	71,358	71,358	9,500	149,000	47,500	42,750	149,000	28,500	267,750			
3306	東京経済大学生生活協同組合	5,952	397,571	397,571	52,500	844,000	262,500	236,250	844,000	157,500	1,500,250			
3307	一橋大学消費生活協同組合	6,731	484,005	484,005	63,500	983,500	317,500	285,750	983,500	190,500	1,777,250			
3308	東京学芸大学生生活協同組合	5,062	509,637	509,637	66,000	863,500	330,000	297,000	863,500	198,000	1,688,500			
3309	電気通信大学生生活協同組合	4,874	373,951	373,951	49,000	732,500	245,000	220,500	732,500	147,000	1,345,000			
3310	東京農工大学消費生活協同組合	6,684	551,762	551,762	72,000	1,037,500	360,000	324,000	1,037,500	216,000	1,937,500			

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費 I		通常会費 II		分割納付の明細				合計年額 2025年度 (円)
			24組合員数 (人)	23純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	2025年度	2025年度	10-2月分	3-6月分	通常会費 II	7-9月分			
						月額(円)	年額(円)	会費 I × 5.0ヶ月 納付1月末	会費 I × 4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費 I × 3.0ヶ月 納付7月末			
3311		津田塾大学生生活協同組合	3,107	271,155	271,155	35,500	495,000	177,500	159,750	495,000	106,500	938,750		
3312		東京薬科大学生活協同組合	4,065	595,935	595,935	76,500	852,500	382,500	344,250	852,500	229,500	1,808,750		
3313		白梅学園生活協同組合	1,466	90,648	90,648	12,000	183,500	60,000	54,000	183,500	36,000	333,500		
3315		日本獣医生命科学大学生生活協同組合	1,769	141,456	141,456	18,500	242,500	92,500	83,250	242,500	55,500	473,750		
3316		明治薬科大学生活協同組合	2,516	258,623	258,623	33,500	434,000	167,500	150,750	434,000	100,500	852,750		
3400		前橋工科大学生活協同組合	1,456	136,613	136,613	18,000	213,000	90,000	81,000	213,000	54,000	438,000		
3401		清泉女学院生活協同組合	793	65,730	65,730	8,500	110,500	42,500	38,250	110,500	25,500	216,750		
3402		山梨県立大学生生活協同組合	1,162	89,165	89,165	12,000	157,000	60,000	54,000	157,000	36,000	307,000		
3403		新潟青陵大学・短期大学生生活協同組合	1,959	194,865	194,865	25,500	293,500	127,500	114,750	293,500	76,500	612,250		
3404		長野県立大学生生活協同組合	1,092	108,387	108,387	14,000	163,500	70,000	63,000	163,500	42,000	338,500		
3405		新潟大学生生活協同組合	14,188	1,320,248	1,320,248	171,000	2,394,500	855,000	769,500	2,394,500	513,000	4,532,000		
3406		信州大学生生活協同組合	15,208	1,660,322	1,660,322	214,000	2,787,000	1,070,000	963,000	2,787,000	642,000	5,462,000		
3407		長野大学生生活協同組合	1,437	125,253	125,253	16,500	204,000	82,500	74,250	204,000	49,500	410,250		
3408		山梨大学生生活協同組合	5,098	332,322	332,322	44,000	716,000	220,000	198,000	716,000	132,000	1,266,000		
3409		群馬大学生生活協同組合	9,470	692,054	692,054	90,500	1,393,500	452,500	407,250	1,393,500	271,500	2,524,750		
3410		足利大学生生活協同組合	1,345	95,918	95,918	13,000	177,000	65,000	58,500	177,000	39,000	339,500		
3411		宇都宮大学消費生活協同組合	6,178	571,958	571,958	74,500	1,011,500	372,500	335,250	1,011,500	223,500	1,942,750		
3412		茨城大学生生活協同組合	8,455	733,185	733,185	95,500	1,342,000	477,500	429,750	1,342,000	286,500	2,535,750		
3413		高崎経済大学生生活協同組合	4,220	389,883	389,883	50,500	690,500	252,500	227,250	690,500	151,500	1,321,750		
3414		茨城キリスト教学園生活協同組合	2,476	238,169	238,169	31,000	413,000	155,000	139,500	413,000	93,000	800,500		
3415		松本大学生生活協同組合	2,483	139,061	139,061	18,500	301,500	92,500	83,250	301,500	55,500	532,750		
3416		新潟県立大学生生活協同組合	1,750	138,808	138,808	18,500	239,000	92,500	83,250	239,000	55,500	470,250		
3417		長野県看護大学生生活協同組合	476	83,475	83,475	11,000	95,000	55,000	49,500	95,000	33,000	232,500		
3418		太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合	1,895	103,848	103,848	14,000	229,000	70,000	63,000	229,000	42,000	404,000		
4000		生活協同組合インターカレッジコープ愛知	4,830	315,223	315,223	41,500	678,500	207,500	186,750	678,500	124,500	1,197,250		
4001		名古屋大学消費生活協同組合	25,943	3,360,688	3,360,688	431,000	5,062,000	2,155,000	1,939,500	5,062,000	1,293,000	10,449,500		
4002		名古屋工業大学生生活協同組合	6,755	823,244	823,244	106,000	1,274,000	530,000	477,000	1,274,000	318,000	2,599,000		
4003		名古屋市立大学生生活協同組合	6,548	871,393	871,393	112,000	1,297,500	560,000	504,000	1,297,500	336,000	2,697,500		
4004		愛知県公立大学生生活協同組合	4,819	502,959	502,959	65,000	837,500	325,000	292,500	837,500	195,000	1,650,000		
4005		中京大学生生活協同組合	13,627	716,288	716,288	95,500	1,767,500	477,500	429,750	1,767,500	286,500	2,961,250		
4006		名城大学生生活協同組合	12,350	889,508	889,508	116,500	1,806,000	582,500	524,250	1,806,000	349,500	3,262,250		
4007		金城学院大学生生活協同組合	5,060	462,996	462,996	60,000	824,000	300,000	270,000	824,000	180,000	1,574,000		
4020		愛知大学生生活協同組合	9,075	652,571	652,571	85,500	1,326,500	427,500	384,750	1,326,500	256,500	2,395,250		
4021		愛知教育大学生生活協同組合	5,005	657,203	657,203	84,500	984,000	422,500	380,250	984,000	253,500	2,040,250		
4022		日本福祉大学生生活協同組合	6,017	466,624	466,624	61,000	908,500	305,000	274,500	908,500	183,000	1,671,000		
4023		自然科学研究機構岡崎生活協同組合	395	151,203	151,203	19,500	132,000	97,500	87,750	132,000	58,500	375,750		
4024	*	豊橋創造大学生生活協同組合	747	93,565	46,783	6,500	94,000	32,500	29,250	94,000	19,500	175,250		
4025		日本赤十字豊田看護大学生生活協同組合	613	68,009	68,009	9,000	96,500	45,000	40,500	96,500	27,000	209,000		

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費 I		通常会費 II		分割納付の明細				合計年額 2025年度
			24組合員数	23純供給高	(加入2年目)	2025年度	2025年度	10-2月分	3-6月分	通常会費 II	7-9月分			
						月額(円)	年額(円)	会費 I × 5.0ヶ月	会費 I × 4.5ヶ月	年額	会費 I × 3.0ヶ月			
			(人)	(千円)	× 0.5			納付1月末	納付3月末	納付6月末	納付7月末	(円)		
4050		静岡大学生生活協同組合	12,887	1,536,789	1,536,789	197,500	2,478,500	987,500	888,750	2,478,500	592,500	4,947,250		
4051		静岡文化芸術大学生生活協同組合	1,686	150,628	150,628	19,500	241,500	97,500	87,750	241,500	58,500	485,250		
4060		岐阜大学消費生活協同組合	9,911	1,156,485	1,156,485	149,000	1,883,500	745,000	670,500	1,883,500	447,000	3,746,000		
4061		岐阜市立女子短期大学生生活協同組合	376	59,235	59,235	8,000	70,500	40,000	36,000	70,500	24,000	170,500		
4070		三重大学生生活協同組合	8,777	1,070,238	1,070,238	137,500	1,709,500	687,500	618,750	1,709,500	412,500	3,428,250		
4071		三重短期大学生生活協同組合	615	77,453	77,453	10,000	103,000	50,000	45,000	103,000	30,000	228,000		
4072		三重県立看護大学生生活協同組合	502	77,472	77,472	10,000	93,000	50,000	45,000	93,000	30,000	218,000		
5100		富山大学生生活協同組合	9,992	1,275,134	1,275,134	164,000	1,997,000	820,000	738,000	1,997,000	492,000	4,047,000		
5101		富山県立大学生生活協同組合	2,651	354,824	354,824	45,500	527,000	227,500	204,750	527,000	136,500	1,095,750		
5102		富山高等専門学校生活協同組合	1,479	185,842	185,842	24,000	246,500	120,000	108,000	246,500	72,000	546,500		
5110		金沢大学生生活協同組合	11,435	1,051,786	1,051,786	136,500	1,919,000	682,500	614,250	1,919,000	409,500	3,625,250		
5111		石川工業高等専門学校生活協同組合	1,195	115,870	115,870	15,000	177,000	75,000	67,500	177,000	45,000	364,500		
5120		福井大学生生活協同組合	5,593	583,854	583,854	75,500	972,000	377,500	339,750	972,000	226,500	1,915,750		
5200		京都大学生生活協同組合	36,076	4,612,120	4,612,120	591,500	6,295,000	2,957,500	2,661,750	6,295,000	1,774,500	13,688,750		
5201		同志社生活協同組合	40,877	3,388,188	3,388,188	441,000	6,354,500	2,205,000	1,984,500	6,354,500	1,323,000	11,867,000		
5202		立命館生活協同組合	57,431	4,725,258	4,725,258	615,000	8,189,500	3,075,000	2,767,500	8,189,500	1,845,000	15,877,000		
5203		京都府立医科大学府立大学生生活協同組合	6,313	601,615	601,615	78,000	1,048,000	390,000	351,000	1,048,000	234,000	2,023,000		
5204		龍谷大学生生活協同組合	24,783	1,753,113	1,753,113	229,500	3,684,500	1,147,500	1,032,750	3,684,500	688,500	6,553,250		
5205		京都教育大学生生活協同組合	1,633	169,389	169,389	22,000	249,000	110,000	99,000	249,000	66,000	524,000		
5206		京都工芸繊維大学生生活協同組合	3,826	423,582	423,582	54,500	685,500	272,500	245,250	685,500	163,500	1,366,750		
5207		京都橘学園生活協同組合	8,971	572,271	572,271	75,500	1,249,000	377,500	339,750	1,249,000	226,500	2,192,750		
5209		京都経済短期大学生生活協同組合	455	38,032	38,032	5,000	63,500	25,000	22,500	63,500	15,000	126,000		
5240		奈良女子大学生生活協同組合	3,745	353,158	353,158	46,000	618,500	230,000	207,000	618,500	138,000	1,193,500		
5241		奈良教育大学生生活協同組合	1,267	118,564	118,564	15,500	185,000	77,500	69,750	185,000	46,500	378,750		
5242		奈良県立大学生生活協同組合	670	42,918	42,918	6,000	85,000	30,000	27,000	85,000	18,000	160,000		
5243		奈良工業高等専門学校生活協同組合	1,211	97,418	97,418	13,000	166,500	65,000	58,500	166,500	39,000	329,000		
5250		滋賀県立大学生生活協同組合	3,161	399,950	399,950	51,500	609,000	257,500	231,750	609,000	154,500	1,252,750		
5251		滋賀大学生生活協同組合	4,128	333,055	333,055	43,500	634,000	217,500	195,750	634,000	130,500	1,177,750		
5253		滋賀医科大学生活協同組合	1,843	186,361	186,361	24,500	278,000	122,500	110,250	278,000	73,500	584,250		
5300		大阪インターカレッジオーブ	2,718	75,780	75,780	11,000	280,500	55,000	49,500	280,500	33,000	418,000		
5301		大阪経済大学生生活協同組合	7,124	217,836	217,836	30,500	791,000	152,500	137,250	791,000	91,500	1,172,250		
5302		大阪教育大学生生活協同組合	4,761	456,327	456,327	59,000	793,000	295,000	265,500	793,000	177,000	1,530,500		
5303		大阪公立大学生生活協同組合	18,768	1,474,513	1,474,513	192,500	2,922,500	962,500	866,250	2,922,500	577,500	5,328,750		
5320		近畿大学生生活協同組合	27,968	1,362,817	1,362,817	182,000	3,604,000	910,000	819,000	3,604,000	546,000	5,879,000		
5322		阪南大学生生活協同組合	4,179	215,178	215,178	29,000	538,500	145,000	130,500	538,500	87,000	901,000		
5323		大阪大学生生活協同組合	37,571	3,357,703	3,357,703	435,500	6,048,000	2,177,500	1,959,750	6,048,000	1,306,500	11,491,750		
5324		大阪電気通信大学生生活協同組合	5,272	403,632	403,632	53,000	791,500	265,000	238,500	791,500	159,000	1,454,000		
5325		大阪千代田短期大学生生活協同組合	265	21,407	21,407	3,000	36,500	15,000	13,500	36,500	9,000	74,000		

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費 I		通常会費 II		分割納付の明細				合計年額 2025年度
			24組合員数	23純供給高	(加入2年目)	2025年度	2025年度	10-2月分	3-6月分	通常会費 II	7-9月分	年額	年額	
						月額(円)	年額(円)	会費 I × 5.0ヶ月	会費 I × 4.5ヶ月	年額	会費 I × 3.0ヶ月			
						(人)	(千円)	× 0.5	納付1月末	納付3月末	納付6月末			
5326	千里金蘭大学生生活協同組合	2,040	76,416	76,416	10,500	223,500	52,500	47,250	223,500	31,500	354,750			
5327	大阪樟蔭女子大学生生活協同組合	1,968	138,748	138,748	18,500	257,500	92,500	83,250	257,500	55,500	488,750			
5340	和歌山大学消費生活協同組合	4,052	407,179	407,179	53,000	690,500	265,000	238,500	690,500	159,000	1,353,000			
5341	和歌山県立医科大学生活協同組合	1,682	211,998	211,998	27,500	323,500	137,500	123,750	323,500	82,500	667,250			
5350	神戸大学生生活協同組合	20,832	2,059,635	2,059,635	266,500	3,521,500	1,332,500	1,199,250	3,521,500	799,500	6,852,750			
5351	神戸市外国語大学消費生活協同組合	3,041	269,682	269,682	35,000	488,000	175,000	157,500	488,000	105,000	925,500			
5352	甲南大学生生活協同組合	10,013	860,251	860,251	112,000	1,582,500	560,000	504,000	1,582,500	336,000	2,982,500			
5353	神戸薬科大学生活協同組合	1,925	215,939	215,939	28,000	347,500	140,000	126,000	347,500	84,000	697,500			
5354	神戸親和大学生生活協同組合	1,201	68,392	68,392	9,000	146,500	45,000	40,500	146,500	27,000	259,000			
5355	甲南女子大学生生活協同組合	3,839	190,889	190,889	25,500	450,500	127,500	114,750	450,500	76,500	769,250			
5356	神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	1,285	126,066	126,066	16,500	191,500	82,500	74,250	191,500	49,500	397,750			
5370	関西学院大学生生活協同組合	33,954	2,613,660	2,613,660	341,000	5,108,000	1,705,000	1,534,500	5,108,000	1,023,000	9,370,500			
5371	兵庫県立大学生生活協同組合	7,515	746,741	746,741	96,500	1,273,500	482,500	434,250	1,273,500	289,500	2,479,750			
5372	大手前大学生生活協同組合	2,656	105,252	105,252	14,500	294,500	72,500	65,250	294,500	43,500	475,750			
5373	園田学園女子大学生生活協同組合	2,320	146,154	146,154	19,500	292,500	97,500	87,750	292,500	58,500	536,250			
6000	岡山大学生生活協同組合	14,657	1,849,049	1,849,049	237,500	2,910,000	1,187,500	1,068,750	2,910,000	712,500	5,878,750			
6001	就実生活協同組合	2,208	170,164	170,164	22,500	298,500	112,500	101,250	298,500	67,500	579,750			
6010	広島大学消費生活協同組合	17,427	2,756,203	2,756,203	352,000	3,824,500	1,760,000	1,584,000	3,824,500	1,056,000	8,224,500			
6011	広島修道大学生生活協同組合	6,589	469,748	469,748	61,500	959,500	307,500	276,750	959,500	184,500	1,728,250			
6012	福山市立大学生生活協同組合	1,053	93,943	93,943	12,500	151,000	62,500	56,250	151,000	37,500	307,250			
6020	下関市立大学生生活協同組合	2,811	354,446	354,446	45,500	540,500	227,500	204,750	540,500	136,500	1,109,250			
6021	山口大学生生活協同組合	11,467	1,404,550	1,404,550	180,500	2,239,000	902,500	812,250	2,239,000	541,500	4,495,250			
6022	水産大学校生活協同組合	1,002	102,586	102,586	13,500	152,000	67,500	60,750	152,000	40,500	320,750			
6023	梅光学院大学生生活協同組合	1,465	134,017	134,017	17,500	212,000	87,500	78,750	212,000	52,500	430,750			
6024	山口県立大学生生活協同組合	1,368	114,617	114,617	15,000	191,000	75,000	67,500	191,000	45,000	378,500			
6030	鳥取大学生生活協同組合	6,613	963,737	963,737	123,500	1,381,500	617,500	555,750	1,381,500	370,500	2,925,250			
6040	島根大学生生活協同組合	7,136	883,620	883,620	113,500	1,358,000	567,500	510,750	1,358,000	340,500	2,776,750			
6050	香川大学生生活協同組合	7,048	1,006,607	1,006,607	129,000	1,505,000	645,000	580,500	1,505,000	387,000	3,117,500			
6051	四国学院生活協同組合	1,022	54,769	54,769	7,500	122,500	37,500	33,750	122,500	22,500	216,250			
6060	松山大学生生活協同組合	6,336	934,202	934,202	119,500	1,333,000	597,500	537,750	1,333,000	358,500	2,826,750			
6061	愛媛大学生生活協同組合	10,520	1,800,881	1,800,881	229,500	2,515,000	1,147,500	1,032,750	2,515,000	688,500	5,383,750			
6062	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学生	793	59,563	59,563	8,000	106,500	40,000	36,000	106,500	24,000	206,500			
6070	徳島大学生生活協同組合	9,878	1,125,653	1,125,653	145,000	1,853,000	725,000	652,500	1,853,000	435,000	3,665,500			
6080	高知大学生生活協同組合	6,609	714,490	714,490	92,500	1,169,500	462,500	416,250	1,169,500	277,500	2,325,750			
6081	高知県公立大学生生活協同組合	4,257	378,688	378,688	49,500	684,000	247,500	222,750	684,000	148,500	1,302,750			
7001	福岡教育大学生生活協同組合	2,844	303,222	303,222	39,500	499,500	197,500	177,750	499,500	118,500	993,250			
7002	九州工業大学生生活協同組合	6,539	820,094	820,094	105,500	1,253,000	527,500	474,750	1,253,000	316,500	2,571,750			
7003	北九州市立大学生生活協同組合	8,155	794,950	794,950	103,000	1,369,000	515,000	463,500	1,369,000	309,000	2,656,500			

6. 2025 年度 連合会への出資金増資要請、および減資

(会員別出資金一覧表 2024 年度 9 月 30 日現在出資額)

2025 年度 大学生協連への出資金増資要請

- 出資は、「定款」「会員規約」および「出資要請基準」(2005年改定)の定めによります。
- 第49回総会(2005年)で決定した「全国大学生協連の会員生協への出資(増資)要請基準」に基づき、要請未達残額の増資を要請します。

2025 年度の出資要請は、 16 会員、 合計 2,575 千円です。

○出資要請額の算定方法

- (1)「出資要請額」と、要請基準の“経過措置”に基づく「年度の出資要請額」があります。

①「出資要請額」

基準による算定額(基準額)と現在の出資額との差額を増資要請する

②経過措置に基づく「年度の出資要請額」

①の基準額×50%まで増資を要請する当年度の出資要請額

(2) 基準額の算定方法と経過措置

- ・会員の事業高(供給高)・会員の組合員出資金額・会員の組合員数の各々に、基準の定める係数を乗じた額の合計が基準額となります。
- ・新基準に対し現行の出資金額が50%以下の会員生協は、新基準の50%に達するまで差額を増資することを毎年度要請しています。
- ・新規加入会員には、2か年度基準額を下げています。

(3) 2025 年度の出資算定基礎数値

会員の供給高……… 2023年12月31日を含む事業年度末の決算書類より(RGデータ)

会員の組合員出資金額…… 同上

会員の組合員数……… 「会員基本調査」により2024年9月末日現在で報告のあった数

大学生協連への出資金残額……2024年9月末日時点の連合会出資金額

(4) 軽減適用

- ・新規加入から2か年度以内で基準額を減免する会員は、以下の2会員です。
豊橋創大学生協同組合(2023年10月25日創立総会、11月加入)

(5) 特記事項

・2024年11月理事会において、2025年度の出資要請について以下の決定を行いました。

①「出資金基準」に定められた算出と運用を行います。

②2025年度は減資は行わないことにします。(2021年度に実施)

③2025年度の出資要請額は、基準に定められた経過措置を適用します。

○全国大学生協連「定款」より出資関連条文

第7条 この会の会員になろうとする者は、この会の定める加入申込書に引き受けようとする出資口数に相当する出資金額及び次の書類を添付してこの会に提出しなければならない。(以下略)

(出資1口の金額及びその払込み方法)

第14条 会員は、出資1口以上を有しなければならない。

2 1会員の有することのできる出資口数の限度は、会員の総出資口数の4分の1とする。

3 会員は、出資金額の払込みについて、相殺をもってこの会に対抗することができない。

4 会員の責任は、その出資金額を限度とする。

(出資1口の金額及びその払込み方法)

第15条 出資1口の金額は、金千円とし、全額一時払込みとする。

(出資口数の増加)

第16条 会員は、その出資口数を増加することができる。

2 出資口数を増加しようとする会員は、この会の定める出資口数増加申込書に、増加しようとする出資口数に相当する出資金額を添え、これをこの会に提出しなければならない。

(出資口数の減少)

第17条 会員は、やむを得ない理由があるときは、事業年度の末日の90日前までに減少しようとする出資口数をこの会に予告し、当該事業年度の終りにおいて出資口数を減少することができる。

2 会員は、その出資口数が会員の総出資口数の4分の1を超えたときは4分の1以下に達するまで、その出資口数を減少しなければならない。

3 出資口数を減少した会員は、減少した出資口数に応ずる払込済出資額の払戻しをこの会に請求することができる。

4 第13条第3項の規定は、出資口数を減少する場合について準用する。

○会員規約より

第5条 会員は、総会が定めた出資要請基準による出資金額を満たすよう努力しなければならない。

2 会員は、総会が特別事業のための特別出資要請を行ったときは、その要請を満たすよう努めるものとする。

○第49回総会(2005年)で決定した「全国大学生協連の会員生協への出資(増資)要請基準」

(第29回総会:1986年で決定した連合会出資基準を改定しました。)

1)既存会員

連合会への出資金総額=A+B+C

A=基準年度会員事業高×0.15%

B=基準年度組合員出資金全国平均額×組合員数×0.75%

C=基準年度会員生協組合員出資金×2.5%

(注) 1)基準年度会員事業高は会員の事業年度事業高

2)基準年度組合員出資金は会員の事業年度末残高

3)基準年度組合員出資金全国平均額は、基準年度末組合員出資金÷大学生協連
当事業年度末会員生協組合員数

2)新規加入会員の出資金要請基準

新規加入会員の出資金基準は、加入時の加入出資金を1口1,000円とし、

1年度は出資基準の3分の1、2年度は出資基準の2分の1、3年度は出資基準の全額に達するまで増資をする。係数に乗ずる各数値はそれぞれの前年度の額を対象とする。

2. 出資金の改訂にともなう経過措置

(1)新基準に対し現行の出資金額が上回っている会員生協は、差額を減資する。

(2)新基準に対し現行の出資金額が50%以下の会員生協は、新基準の50%に達するまでの差額を増資する。

(3)経過措置にかかる減資および増資要請の取扱いは理事会で決定する。

3. 出資(増資)要請基準の今後の取扱いについて

(1)会員間の連合会出資金の格差是正のために、今後は5年毎に基準の見直しを行い、格差が減少するよう調整をはかる。

全国大学生協同組合連合会 2025年度 出資金増資要請額 算出明細

要請会員のみ

出資金要請基準額100%との差額↓

出資金要請基準額50%との差額↓

		組合員出資金全国平均B1		16,814						100超 減資対象数		基準不足対象数		要請会員数				
連合会 C/D	加入年翌年度=1、その次年度=2、次々年度=3 加入経過年度	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額 (円)	軽加入 経過 率	出資金要請 基準額 (円)	連合会出資金 残高 2024/9/末 E	充足 率 E/基準	基準額と 残高の差額 (円)	基準不足額 (円)	経過措置 基準額×50% (円)	左記基準額と 残高との差額 (円)	2025年度 増資要請額 (円)	
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C											
		2023年度	(円)	2024年9月	(円)	2023年度末	(円)											
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											
1060	旭川市立大学生協同組合	3	91,622	137,433	1,029	129,759	13,700,000	342,500	609,692	1.00	609,692	124,000	20.3%	-485,692	486,000	304,846	-180,846	181,000
3404	長野県立大学生協同組合		108,387	162,581	1,092	137,703	14,320,000	358,000	658,284		658,284	287,000	44%	-371,284	372,000	329,142	-42,142	43,000
3416	新潟県立大学生協同組合		138,808	208,213	1,750	220,678	24,565,000	614,125	1,043,016		1,043,016	517,000	50%	-526,016	527,000	521,508	-4,508	5,000
4051	静岡文化芸術大学生協同組合		150,628	225,943	1,686	212,608	33,850,000	846,250	1,284,801		1,284,801	571,000	44%	-713,801	714,000	642,401	-71,401	72,000
4026	豊橋創造大学生協同組合	2	93,565	140,348	747	94,198	6,255,000	156,375	390,921	0.50	195,461	1,000	1%	-389,921	390,000	97,731	-96,731	97,000
5101	富山県立大学生協同組合		354,824	532,236	2,651	334,296	48,390,000	1,209,750	2,076,282		2,076,282	877,000	42%	-1,199,282	1,200,000	1,038,141	-161,141	162,000
5207	京都橘学園生活協同組合		572,271	858,407	8,971	1,131,258	100,459,000	2,511,475	4,501,140		4,501,140	2,126,000	47%	-2,375,140	2,376,000	2,250,570	-124,570	125,000
5250	滋賀県立大学生協同組合		399,950	599,925	3,161	398,608	64,089,000	1,602,225	2,600,758		2,600,758	1,266,000	49%	-1,334,758	1,335,000	1,300,379	-34,379	35,000
5320	近畿大学生協同組合		1,362,817	2,044,225	27,968	3,526,810	605,305,000	15,132,625	20,703,660		20,703,660	9,161,000	44%	-11,542,660	11,543,000	10,351,830	-1,190,830	1,191,000
5324	大阪電気通信大学生協同組合		403,632	605,449	5,272	664,808	170,806,000	4,270,150	5,540,407		5,540,407	2,670,000	48%	-2,870,407	2,871,000	2,770,204	-100,204	101,000
5340	和歌山大学消費生活協同組合		407,179	610,769	4,052	510,964	85,651,000	2,141,275	3,263,008		3,263,008	1,617,000	50%	-1,646,008	1,647,000	1,631,504	-14,504	15,000
5341	和歌山県立医科大学生活協同組合		211,998	317,997	1,682	212,103	34,635,000	865,875	1,395,975		1,395,975	652,000	47%	-743,975	744,000	697,988	-45,988	46,000
6024	山口県立大学生協同組合	3	114,617	171,926	1,368	172,508	22,770,000	569,250	913,684	1.00	913,684	181,000	20%	-732,684	733,000	456,842	-275,842	276,000
6040	島根大学生協同組合		883,620	1,325,431	7,136	899,862	121,257,000	3,031,425	5,256,718		5,256,718	2,479,000	47%	-2,777,718	2,778,000	2,628,359	-149,359	150,000
7004	福岡女子大学生協同組合		87,335	131,003	964	121,562	19,654,000	491,350	743,915		743,915	358,000	48%	-385,915	386,000	371,958	-13,958	14,000
7031	長崎県立大学佐世保校生活協同組合		281,073	421,610	2,593	326,982	43,577,000	1,089,425	1,838,017		1,838,017	858,000	47%	-980,017	981,000	919,009	-61,009	62,000
合計			5,323,509	7,985,269	68,251	8,606,567	1,356,698,000	33,917,450	50,509,286		50,313,826	22,817,000	45%	-27,692,286	27,698,000	25,156,913	-2,339,913	2,575,000

4026 豊橋創造大学生協には、大学生協連加入翌年度の軽減措置(出資金基準額の2分の1)が適用されます。

全国大学生協同組合連合会 2025年度 出資金要請額 算出明細

出資金要請基準額100%との差額 ↓

出資金要請基準額50%との差額 ↓

100超 減資対象数 基準不足対象数
50%以下 85 125

要請会員数 16

		組合員出資金全国平均B1		16,814															
加入 連合会 C/D	加入 経過 年度 1=、その次年度=2、次々年度=3→	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽加入 率経過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充足 率	基準額と 残高の差額	基準不足額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2025年度 増資要請額		
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C												
		2023年度	(円)	2024年9月	(円)	2023年度末	(円)												
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率
1000	北海道大学生協同組合	2,925,774	4,388,662	26,003	3,279,021	392,986,301	9,824,658	17,492,341		17,492,341	24,351,000	139%	6,858,659	0	8,746,171	15,604,830	0		
1001	北海学園生活協同組合	666,164	999,247	9,220	1,162,657	133,335,400	3,333,385	5,495,289		5,495,289	5,962,000	108%	466,711	0	2,747,645	3,214,356	0		
1002	酪農学園生活協同組合	453,450	680,176	4,975	627,356	75,344,000	1,883,600	3,191,132		3,191,132	3,849,000	121%	657,868	0	1,595,566	2,253,434	0		
1003	札幌学院大学生生活協同組合	285,471	428,207	3,497	440,978	63,354,000	1,583,850	2,453,035		2,453,035	4,233,000	173%	1,779,965	0	1,226,518	3,006,483	0		
1004	北星学園生活協同組合	432,736	649,105	5,625	709,322	65,153,000	1,628,825	2,987,252		2,987,252	2,944,000	99%	-43,252	44,000	1,493,626	1,450,374	0		
1030	北海道教育大学生生活協同組合	421,391	632,087	5,333	672,500	100,211,000	2,505,275	3,809,862		3,809,862	4,271,000	112%	461,138	0	1,904,931	2,366,069	0		
1031	小樽商科大学生活協同組合	205,942	308,914	2,466	310,967	45,444,500	1,136,113	1,755,994		1,755,994	1,544,000	88%	-211,994	212,000	877,997	666,003	0		
1032	札幌大学生生活協同組合	198,196	297,295	3,702	466,829	66,161,650	1,654,042	2,418,166		2,418,166	1,657,000	69%	-761,166	762,000	1,209,083	447,917	0		
1033	室蘭工業大学生生活協同組合	547,250	820,876	8,060	1,016,379	124,495,519	3,112,388	4,949,643		4,949,643	5,157,000	104%	207,357	0	2,474,822	2,682,179	0		
1040	帯広畜産大学生生活協同組合	282,006	423,009	2,256	284,486	31,798,000	794,950	1,502,445		1,502,445	1,608,000	107%	105,555	0	751,223	856,778	0		
1041	北見工業大学生生活協同組合	346,071	519,107	2,447	308,571	39,854,000	996,350	1,824,028		1,824,028	1,818,000	100%	-6,028	7,000	912,014	905,986	0		
1042	釧路公立大学生生活協同組合	153,603	230,405	1,549	195,332	29,260,000	731,500	1,157,237		1,157,237	701,000	61%	-456,237	457,000	578,619	122,382	0		
1051	公立はこだて未来大学生生活協同組合	185,335	278,004	1,283	161,789	23,605,000	590,125	1,029,918		1,029,918	899,000	87%	-130,918	131,000	514,959	384,041	0		
1060	旭川市立大学生生活協同組合	91,622	137,433	1,029	129,759	13,700,000	342,500	609,692		609,692	124,000	20.3%	-485,692	486,000	304,846	-180,846	181,000		
2000	弘前大学生生活協同組合	1,738,577	2,607,866	8,730	1,100,868	255,599,500	6,389,988	10,098,722		10,098,722	8,306,000	82%	-1,792,722	1,793,000	5,049,361	3,256,639	0		
2001	弘前学院生活協同組合	64,080	96,120	656	82,723	9,370,000	234,250	413,093		413,093	474,000	115%	60,907	0	206,547	267,454	0		
2010	岩手大学生生活協同組合	946,922	1,420,383	6,948	876,154	121,176,500	3,029,413	5,325,950		5,325,950	5,679,000	107%	353,050	0	2,662,975	3,016,025	0		
2011	盛岡大学生生活協同組合	169,669	254,504	2,677	337,575	22,950,000	573,750	1,165,829		1,165,829	1,135,000	97%	-30,829	31,000	582,915	552,086	0		
2012	岩手県立大学生生活協同組合	346,374	519,562	3,399	428,620	32,595,000	814,875	1,763,057		1,763,057	1,324,000	75%	-439,057	440,000	881,529	442,472	0		
2020	秋田大学生生活協同組合	986,499	1,479,749	6,058	763,924	155,151,500	3,878,788	6,122,461		6,122,461	5,043,000	82%	-1,079,461	1,080,000	3,061,231	1,981,770	0		
2030	山形大学生生活協同組合	1,302,118	1,953,177	10,792	1,360,889	223,648,200	5,591,205	8,905,271		8,905,271	9,899,000	111%	993,729	0	4,452,636	5,446,365	0		
2040	みやぎインターカレッジコープ	339,527	509,291	4,062	512,225	40,440,000	1,011,000	2,032,516		2,032,516	2,170,000	107%	137,484	0	1,016,258	1,153,742	0		
2041	東北大学生生活協同組合	3,884,861	5,827,292	24,428	3,080,411	560,006,800	14,000,170	22,907,873		22,907,873	24,938,000	109%	2,030,127	0	11,453,937	13,484,064	0		
2042	東北学院大学生生活協同組合	711,862	1,067,793	11,205	1,412,969	204,686,000	5,117,150	7,597,912		7,597,912	8,858,000	117%	1,260,088	0	3,798,956	5,059,044	0		
2043	東北工業大学生生活協同組合	246,041	369,062	2,301	290,160	51,102,000	1,277,550	1,936,772		1,936,772	2,493,000	129%	556,228	0	968,386	1,524,614	0		
2044	宮城教育大学生生活協同組合	195,015	292,523	1,582	199,493	38,579,500	964,488	1,456,504		1,456,504	1,356,000	93%	-100,504	101,000	728,252	627,748	0		
2045	宮城大学生生活協同組合	220,411	330,616	2,108	265,823	20,995,000	524,875	1,121,314		1,121,314	1,207,000	108%	85,686	0	560,657	646,343	0		
2046	宮城学院生活協同組合	398,533	597,799	3,434	433,033	31,005,000	775,125	1,805,957		1,805,957	2,232,000	124%	426,043	0	902,979	1,329,022	0		
2060	尚綱学院大学生生活協同組合	159,261	238,992	1,693	213,491	31,630,000	790,750	1,243,133		1,243,133	1,208,000	97%	-35,133	36,000	621,567	586,434	0		
2070	福島大学生生活協同組合	751,662	1,127,494	6,117	771,364	140,896,400	3,522,410	5,421,268		5,421,268	5,154,000	95%	-267,268	268,000	2,710,634	2,443,366	0		
3100	慶應義塾生活協同組合	3,343,925	5,015,888	33,965	4,283,042	664,211,000	16,605,275	25,904,205		25,904,205	25,120,000	97%	-784,205	785,000	12,952,103	12,167,898	0		
3101	東京海洋大学生生活協同組合	243,758	365,637	2,737	345,141	42,108,500	1,052,713	1,763,491		1,763,491	1,448,000	82%	-315,491	316,000	881,746	566,255	0		
3102	東京農業大学生生活協同組合	1,153,702	1,730,553	13,362	1,684,970	226,120,000	5,653,000	9,068,523		9,068,523	8,430,000	93%	-638,523	639,000	4,534,262	3,895,739	0		
3103	東京科学大学つばめ生活協同組合	1,159,838	1,739,758	11,421	1,440,207	148,860,000	3,721,500	6,901,465		6,901,465	8,488,000	123%	1,586,535	0	3,450,733	5,037,268	0		
3104	明治学院消費生活協同組合	631,142	946,714	11,064	1,395,189	198,528,800	4,963,220	7,305,123		7,305,123	8,159,000	112%	853,877	0	3,652,562	4,506,439	0		
3105	東京都立大学生生活協同組合	899,916	1,349,874	12,212	1,539,953	137,911,500	3,447,788	6,337,615		6,337,615	6,149,000	97%	-188,615	189,000	3,168,808	2,980,193	0		
3106	和光学園生活協同組合	189,251	283,877	3,227	406,930	70,558,800	1,763,970	2,454,777		2,454,777	2,887,000	118%	432,223	0	1,227,389	1,659,612	0		
3107	桜美林学園消費生活協同組合	265,926	398,889	5,643	711,592	109,587,000	2,739,675	3,850,156		3,850,156	3,348,000	87%	-502,156	503,000	1,925,078	1,422,922	0		
3108	麻布大学生生活協同組合	192,649	288,974	2,579	325,217	47,171,000	1,179,275	1,793,466		1,793,466	1,617,000	90%	-176,466	177,000	896,733	720,267	0		
3109	宇宙科学研究所生活協同組合	213,509	320,264	327	41,236	3,115,000	77,875	439,375		439,375	510,000	116%	70,625	0	219,688	290,313	0		
3110	横浜国立大学生生活協同組合	881,766	1,322,649	10,510	1,325,328	134,066,700	3,351,668	5,999,645		5,999,645	7,944,000	132%	1,944,355	0	2,999,823	4,944,178	0		

全国大学生協同組合連合会 2025年度 出資金要請額 算出明細

出資金要請基準額100%との差額 ↓

出資金要請基準額50%との差額 ↓

		組合員出資金全国平均B1 16,814						100超 減資対象数 基準不足対象数		50%以下 85 125		要請会員数 16				
加入年 連合会 C D	加入年 経過年度 1=、その次年度=2、次々年度=3→	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額 (円)	軽加入 率経過 率 E/[A]+[B]+[C] × 軽減率	連合会出資金 残高 2024/9/末 E	充足 率 E/基準	基準額と 残高の差額 (円)	基準不足額 (円)	経過措置 基準額 × 50% (円)	左記基準額と 残高との差額 (円)	2025年度 増資要請額 (円)
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C									
		2023年度	(円)	2024年9月	(円)	2023年度末	(円)									
		A (千円)	A × 0.15%	B2(人)	B1 × B2 × 0.75%	C (円)	C × 2.5%									
		[A]+[B]+[C]		[A]+[B]+[C]		[A]+[B]+[C]		E		E/基準		[A]+[B]+[C] - E		千円単位切上げ		
3111	横浜市立大学生協同組合	524,796	787,194	7,066	891,034	158,436,800	3,960,920	5,639,148	5,639,148	3,644,000	65%	-1,995,148	1,996,000	2,819,574	824,426	0
3112	星薬科大学生協同組合	161,931	242,897	1,929	243,251	28,375,000	709,375	1,195,523	1,195,523	848,000	71%	-347,523	348,000	597,762	250,239	0
3113	東京工芸大学生協同組合	390,054	585,081	4,270	538,454	78,235,000	1,955,875	3,079,410	3,079,410	2,950,000	96%	-129,410	130,000	1,539,705	1,410,295	0
3114	芝浦工業大学消費生活協同組合	903,611	1,355,417	8,215	1,035,925	250,162,000	6,254,050	8,645,392	8,645,392	6,488,000	75%	-2,157,392	2,158,000	4,322,696	2,165,304	0
3115	日本赤十字看護大学生協同組合	95,492	143,238	1,175	148,170	19,250,000	481,250	772,658	772,658	512,000	66%	-260,658	261,000	386,329	125,671	0
3116	神奈川大学生協同組合	1,338,938	2,008,407	18,838	2,375,503	249,378,000	6,234,450	10,618,360	10,618,360	7,123,000	67%	-3,495,360	3,496,000	5,309,180	1,813,820	0
3117	昭和大学生協同組合	322,041	483,062	4,565	575,654	49,678,000	1,241,950	2,300,666	2,300,666	2,341,000	102%	40,334	0	1,150,333	1,190,667	0
3200	東京大学消費生活協同組合	5,897,369	8,846,054	49,938	6,297,263	846,894,800	21,172,370	36,315,687	36,315,687	37,470,000	103%	1,154,313	0	18,157,844	19,312,157	0
3201	東京理科大学消費生活協同組合	987,135	1,480,704	19,754	2,491,012	185,395,400	4,634,885	8,606,601	8,606,601	10,336,000	120%	1,729,399	0	4,303,301	6,032,700	0
3202	東京電機大学生協同組合	540,275	810,414	7,079	892,674	133,027,000	3,325,675	5,028,763	5,028,763	4,740,000	94%	-288,763	289,000	2,514,382	2,225,619	0
3203	千葉商科大学生活協同組合	189,820	284,731	5,351	674,770	95,433,000	2,385,825	3,345,326	3,345,326	3,470,000	104%	124,674	0	1,672,663	1,797,337	0
3204	千葉大学生協同組合	1,325,764	1,988,646	13,064	1,647,392	170,736,000	4,268,400	7,904,438	7,904,438	9,300,000	118%	1,395,562	0	3,952,219	5,347,781	0
3205	東邦大学消費生活協同組合	306,342	459,514	3,900	491,797	56,540,000	1,413,500	2,364,811	2,364,811	2,179,000	92%	-185,811	186,000	1,182,406	996,595	0
3206	お茶の水女子大学消費生活協同組合	322,354	483,532	3,166	399,238	32,538,000	813,450	1,696,220	1,696,220	2,369,000	140%	672,780	0	848,110	1,520,890	0
3207	東京科学大学御茶ノ水生活協同組合	410,522	615,784	7,101	895,448	89,124,500	2,228,113	3,739,345	3,739,345	2,496,000	67%	-1,243,345	1,244,000	1,869,673	626,328	0
3208	武蔵学園生活協同組合	195,048	292,573	6,040	761,654	60,679,800	1,516,995	2,571,222	2,571,222	2,711,000	105%	139,778	0	1,285,611	1,425,389	0
3209	日本女子大学生協同組合	434,727	652,090	6,339	799,359	86,126,000	2,153,150	3,604,599	3,604,599	4,450,000	123%	845,401	0	1,802,300	2,647,701	0
3210	東洋大学生協同組合	1,301,902	1,952,853	29,102	3,669,810	262,473,000	6,561,825	12,184,488	12,184,488	8,207,000	67%	-3,977,488	3,978,000	6,092,244	2,114,756	0
3211	東京芸術大学生協同組合	89,636	134,454	2,828	356,616	30,771,000	769,275	1,260,345	1,260,345	1,688,000	134%	427,655	0	630,173	1,057,828	0
3212	大東文化学園生活協同組合	426,911	640,368	8,947	1,128,232	116,058,000	2,901,450	4,670,050	4,670,050	3,115,000	67%	-1,555,050	1,556,000	2,335,025	779,975	0
3213	埼玉大学生協同組合	711,719	1,067,579	9,225	1,163,288	119,960,000	2,999,000	5,229,867	5,229,867	7,779,000	149%	2,549,133	0	2,614,934	5,164,067	0
3214	跡見学園女子大学生協同組合	161,244	241,867	3,717	468,720	40,208,000	1,005,200	1,715,787	1,715,787	1,619,000	94%	-96,787	97,000	857,894	761,107	0
3215	十文字学園生活協同組合	103,609	155,414	2,413	304,284	39,750,000	993,750	1,453,448	1,453,448	1,265,000	87%	-188,448	189,000	726,724	538,276	0
3216	淑徳大学みずほ台生活協同組合	67,568	101,352	840	105,926	18,825,000	470,625	677,903	677,903	1,466,000	216%	788,097	0	338,952	1,127,049	0
3300	早稲田大学生協同組合	3,892,014	5,838,022	49,539	6,246,948	952,366,200	23,809,155	35,894,125	35,894,125	35,899,000	100%	4,875	0	17,947,063	17,951,938	0
3301	東京インターカレッジコープ	402,880	604,321	13,166	1,660,254	66,630,000	1,665,750	3,930,325	3,930,325	4,908,000	125%	977,675	0	1,965,163	2,942,838	0
3302	法政大学生協同組合	1,463,960	2,195,941	30,040	3,788,093	560,269,400	14,006,735	19,990,769	19,990,769	16,621,000	83%	-3,369,769	3,370,000	9,995,385	6,625,616	0
3303	工学院大学学園生活協同組合	651,804	977,707	7,471	942,106	195,439,800	4,885,995	6,805,808	6,805,808	4,911,000	72%	-1,894,808	1,895,000	3,402,904	1,508,096	0
3304	東京外国語大学生協同組合	342,690	514,035	4,369	550,938	57,235,600	1,430,890	2,495,863	2,495,863	2,946,000	118%	450,137	0	1,247,932	1,698,069	0
3305	東京工業高等専門学校生活協同組合	71,358	107,038	1,204	151,827	12,485,000	312,125	570,990	570,990	508,000	89%	-62,990	63,000	285,495	222,505	0
3306	東京経済大学生協同組合	397,571	596,357	5,952	750,557	80,922,600	2,023,065	3,369,979	3,369,979	5,037,000	149%	1,667,021	0	1,684,990	3,352,011	0
3307	一橋大学消費生活協同組合	484,005	726,008	6,731	848,790	73,647,500	1,841,188	3,415,986	3,415,986	3,762,000	110%	346,014	0	1,707,993	2,054,007	0
3308	東京学芸大学生協同組合	509,637	764,456	5,062	638,327	75,035,100	1,875,878	3,278,661	3,278,661	4,558,000	139%	1,279,339	0	1,639,331	2,918,670	0
3309	電気通信大学生協同組合	373,951	560,927	4,874	614,620	66,838,800	1,670,970	2,846,517	2,846,517	4,335,000	152%	1,488,483	0	1,423,259	2,911,742	0
3310	東京農工大学消費生活協同組合	551,762	827,643	6,684	842,864	96,932,000	2,423,300	4,093,807	4,093,807	3,966,000	97%	-127,807	128,000	2,046,904	1,919,097	0
3311	津田塾大学生協同組合	271,155	406,734	3,107	391,798	41,489,000	1,037,225	1,835,757	1,835,757	1,991,000	108%	155,243	0	917,879	1,073,122	0
3312	東京薬科大学生協同組合	595,935	893,903	4,065	512,604	61,646,000	1,541,150	2,947,657	2,947,657	3,046,000	103%	98,343	0	1,473,829	1,572,172	0
3313	白梅学園生活協同組合	90,648	135,973	1,466	184,865	17,540,000	438,500	759,338	759,338	919,000	121%	159,662	0	379,669	539,331	0
3315	日本獣医生命科学大学生協同組合	141,456	212,184	1,769	223,074	24,015,000	600,375	1,035,633	1,035,633	911,000	88%	-124,633	125,000	517,817	393,184	0
3316	明治薬科大学生協同組合	258,623	387,936	2,516	317,272	37,455,000	936,375	1,641,583	1,641,583	1,566,000	95%	-75,583	76,000	820,792	745,209	0
3400	前橋工科大学生活協同組合	136,613	204,920	1,456	183,604	26,285,000	657,125	1,045,649	1,045,649	775,000	74%	-270,649	271,000	522,825	252,176	0

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 出資金要請額 算出明細

出資金要請基準額100%との差額 ↓

出資金要請基準額50%との差額 ↓

100超 減資対象数 基準不足対象数
50%以下 85 125

要請会員数
16

		組合員出資金全国平均B1		16,814																	
加入年度 C D	組合員名	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽加入 率経過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充足 率	基準額と 残高の差額	基準不足額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2025年度 増資要請額				
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C											2023年度	2024年9月	2023年度末	(円)
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準
5102	富山高専生活協同組合	185,842	278,764	1,479	186,505	13,180,000	329,500	794,769		794,769	535,000	67%	-259,769	260,000	397,385	137,616	0				
5110	金沢大学生生活協同組合	1,051,786	1,577,680	11,435	1,441,972	208,412,000	5,210,300	8,229,952		8,229,952	9,749,000	118%	1,519,048	0	4,114,976	5,634,024	0				
5111	石川工業高専生活協同組合	115,870	173,805	1,195	150,692	12,375,000	309,375	633,872		633,872	567,000	89%	-66,872	67,000	316,936	250,064	0				
5120	福井大学生生活協同組合	583,854	875,782	5,593	705,287	105,170,800	2,629,270	4,210,339		4,210,339	2,766,000	66%	-1,444,339	1,445,000	2,105,170	660,831	0				
5200	京都大学生生活協同組合	4,612,120	6,918,180	36,076	4,549,242	591,279,200	14,781,980	26,249,402		26,249,402	24,243,000	92%	-2,006,402	2,007,000	13,124,701	11,118,299	0				
5201	同志社生活協同組合	3,388,188	5,082,283	40,877	5,154,656	908,368,800	22,709,220	32,946,159		32,946,159	19,336,000	59%	-13,610,159	13,611,000	16,473,080	2,862,921	0				
5202	立命館生活協同組合	4,725,258	7,087,888	57,431	7,242,142	884,626,000	22,115,650	36,445,680		36,445,680	22,090,000	61%	-14,355,680	14,356,000	18,222,840	3,867,160	0				
5203	京都府立医科大学生生活協同組合	601,615	902,423	6,313	796,800	96,671,000	2,416,775	4,115,278		4,115,278	4,694,000	114%	578,722	0	2,057,639	2,636,361	0				
5204	龍谷大学生生活協同組合	1,753,113	2,629,669	24,783	3,125,177	253,685,000	6,342,125	12,096,971		12,096,971	7,354,000	61%	-4,742,971	4,743,000	6,048,486	1,305,515	0				
5205	京都教育大学生生活協同組合	169,389	254,084	1,633	205,924	33,099,600	827,490	1,287,498		1,287,498	1,424,000	111%	136,502	0	643,749	780,251	0				
5206	京都工芸繊維大学生生活協同組合	423,582	635,373	3,826	482,465	77,289,500	1,932,238	3,050,076		3,050,076	3,138,000	103%	87,924	0	1,525,038	1,612,962	0				
5207	京都橘学園生活協同組合	572,271	858,407	8,971	1,131,258	100,459,000	2,511,475	4,501,140		4,501,140	2,126,000	47%	-2,375,140	2,376,000	2,250,570	-124,570	125,000				
5209	京都経済短期大学生生活協同組合	38,032	57,049	455	57,377	9,728,000	243,200	357,626		357,626	207,000	58%	-150,626	151,000	178,813	28,187	0				
5240	奈良女子大学生生活協同組合	353,158	529,737	3,745	472,251	37,551,200	938,780	1,940,768		1,940,768	1,543,000	80%	-397,768	398,000	970,384	572,616	0				
5241	奈良教育大学生生活協同組合	118,564	177,847	1,267	159,771	18,775,500	469,388	807,006		807,006	943,000	117%	135,994	0	403,503	539,497	0				
5242	奈良県立大学生生活協同組合	42,918	64,378	670	84,489	6,625,000	165,625	314,492		314,492	265,000	84%	-49,492	50,000	157,246	107,754	0				
5243	奈良工業高専生活協同組合	97,418	146,127	1,211	152,710	10,668,000	266,700	565,537		565,537	597,000	106%	31,463	0	282,769	314,232	0				
5250	滋賀県立大学生生活協同組合	399,950	599,925	3,161	398,608	64,089,000	1,602,225	2,600,758		2,600,758	1,266,000	49%	-1,334,758	1,335,000	1,300,379	-34,379	35,000				
5252	滋賀大学生生活協同組合	333,055	499,583	4,128	520,548	55,352,000	1,383,800	2,403,931		2,403,931	2,422,000	101%	18,069	0	1,201,966	1,220,035	0				
5253	滋賀医科大学生生活協同組合	186,361	279,543	1,843	232,406	21,915,000	547,875	1,059,824		1,059,824	752,000	71%	-307,824	308,000	529,912	222,088	0				
5300	大阪インターカレッジコープ	75,780	113,670	2,718	342,745	13,125,000	328,125	784,540		784,540	434,000	55%	-350,540	351,000	392,270	41,730	0				
5301	大阪経済大学生生活協同組合	217,836	326,755	7,124	898,348	149,029,000	3,725,725	4,950,828		4,950,828	4,438,000	90%	-512,828	513,000	2,475,414	1,962,586	0				
5302	大阪教育大学生生活協同組合	456,327	684,491	4,761	600,370	122,828,000	3,070,700	4,355,561		4,355,561	2,726,000	63%	-1,629,561	1,630,000	2,177,781	548,220	0				
5303	大阪公立大学生生活協同組合	1,474,513	2,211,771	18,768	2,366,675	485,952,400	12,148,810	16,727,256		16,727,256	11,305,000	68%	-5,422,256	5,423,000	8,363,628	2,941,372	0				
5320	近畿大学生生活協同組合	1,362,817	2,044,225	27,968	3,526,810	605,305,000	15,132,625	20,703,660		20,703,660	9,161,000	44%	-11,542,660	11,543,000	10,351,830	-1,190,830	1,191,000				
5322	阪南大学生生活協同組合	215,178	322,767	4,179	526,979	96,562,000	2,414,050	3,263,796		3,263,796	2,335,000	72%	-928,796	929,000	1,631,898	703,102	0				
5323	大阪大学生生活協同組合	3,357,703	5,036,555	37,571	4,737,764	596,596,800	14,914,920	24,689,239		24,689,239	18,996,000	77%	-5,693,239	5,694,000	12,344,620	6,651,381	0				
5324	大阪電気通信大学生生活協同組合	403,632	605,449	5,272	664,808	170,806,000	4,270,150	5,540,407		5,540,407	2,670,000	48%	-2,870,407	2,871,000	2,770,204	-100,204	101,000				
5325	大阪千代田短期大学生生活協同組合	21,407	32,110	265	33,417	3,140,000	78,500	144,027		144,027	307,000	213%	162,973	0	72,014	234,987	0				
5326	千里金蘭大学生生活協同組合	76,416	114,624	2,040	257,248	25,105,000	627,625	999,497		999,497	987,000	99%	-12,497	13,000	499,749	487,252	0				
5327	大阪樟蔭女子大学生生活協同組合	138,748	208,123	1,968	248,168	47,435,000	1,185,875	1,642,166		1,642,166	1,233,000	75%	-409,166	410,000	821,083	411,917	0				
5340	和歌山大学消費生活協同組合	407,179	610,769	4,052	510,964	85,651,000	2,141,275	3,263,008		3,263,008	1,617,000	50%	-1,646,008	1,647,000	1,631,504	-14,504	15,000				
5341	和歌山県立医科大学生生活協同組合	211,998	317,997	1,682	212,103	34,635,000	865,875	1,395,975		1,395,975	652,000	47%	-743,975	744,000	697,988	-45,988	46,000				
5350	神戸大学生生活協同組合	2,059,635	3,089,453	20,832	2,626,949	377,758,000	9,443,950	15,160,352		15,160,352	15,840,000	104%	679,648	0	7,580,176	8,259,824	0				
5351	神戸市外国語大学消費生活協同組合	269,682	404,523	3,041	383,475	56,907,000	1,422,675	2,210,673		2,210,673	1,941,000	88%	-269,673	270,000	1,105,337	835,664	0				
5352	甲南大学生生活協同組合	860,251	1,290,377	10,013	1,262,656	295,990,000	7,399,750	9,952,783		9,952,783	9,871,000	99%	-81,783	82,000	4,976,392	4,894,609	0				
5353	神戸薬科大学生生活協同組合	215,939	323,909	1,925	242,746	59,270,000	1,481,750	2,048,405		2,048,405	1,495,000	73%	-553,405	554,000	1,024,203	470,798	0				
5354	神戸親和女子大学生生活協同組合	68,392	102,589	1,201	151,449	30,785,000	769,625	1,023,663		1,023,663	1,089,000	106%	65,337	0	511,832	577,169	0				
5355	甲南女子大学生生活協同組合	190,889	286,333	3,839	484,105	95,575,000	2,389,375	3,159,813		3,159,813	2,584,000	82%	-575,813	576,000	1,579,907	1,004,094	0				
5356	神戸市立工業高専生活協同組合	126,066	189,099	1,285	162,041	13,050,000	326,250	677,390		677,390	350,000	52%	-327,390	328,000	338,695	11,305	0				
5370	関西学院大学生生活協同組合	2,613,660	3,920,490	33,954	4,281,655	501,421,500	12,535,538	20,737,683		20,737,683	14,345,000	69%	-6,392,683	6,393,000	10,368,842	3,976,159	0				

全国大学生生活協同組合連合会 2025年度 出資金要請額 算出明細

出資金要請基準額100%との差額 ↓

出資金要請基準額50%との差額 ↓

		組合員出資金全国平均B1 16,814						100超 減資対象数 基準不足対象数		50%以下 85 125		要請会員数 16					
連合会 C/D	加入経過年度 加入翌年度=1、その次年度=2、次々年度=3 →	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽加入経過 率	連合会出資金		充足率	基準額との 残高の差額		経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2025年度 増資要請額
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C			残高	基準不足額						
		2023年度 A (千円)	(円) A×0.15%	2024年9月 B2(人)	(円) B1×B2×0.75%	2023年度末 C (円)	(円) C×2.5%			2024/9/末 E	(円) E/基準		(円) [A]+[B]+[C]-E	(円) 千円単位切上げ			
5371	兵庫県立大学生生活協同組合	746,741	1,120,112	7,515	947,654	152,220,000	3,805,500	5,873,266		5,873,266	5,515,000	94%	-358,266	359,000	2,936,633	2,578,367	0
5372	大手前大学生生活協同組合	105,252	157,879	2,656	334,926	53,705,000	1,342,625	1,835,430		1,835,430	2,719,000	148%	883,570	0	917,715	1,801,285	0
5373	園田学園女子大学生生活協同組合	146,154	219,232	2,320	292,556	42,495,000	1,062,375	1,574,163		1,574,163	1,453,000	92%	-121,163	122,000	787,082	665,919	0
6000	岡山大学生生活協同組合	1,849,049	2,773,574	14,657	1,848,272	276,246,000	6,906,150	11,527,996		11,527,996	9,132,000	79%	-2,395,996	2,396,000	5,763,998	3,368,002	0
6001	就実生活協同組合	170,164	255,246	2,208	278,433	50,070,000	1,251,750	1,785,429		1,785,429	1,573,000	88%	-212,429	213,000	892,715	680,286	0
6010	広島大学消費生活協同組合	2,756,203	4,134,305	17,427	2,197,573	267,145,000	6,678,625	13,010,503		13,010,503	10,453,000	80%	-2,557,503	2,558,000	6,505,252	3,947,749	0
6011	広島修道大学生生活協同組合	469,748	704,622	6,589	830,884	114,239,000	2,855,975	4,391,481		4,391,481	3,255,000	74%	-1,136,481	1,137,000	2,195,741	1,059,260	0
6012	福山市立大学生生活協同組合	93,943	140,915	1,053	132,785	21,360,000	534,000	807,700		807,700	747,000	92%	-60,700	61,000	403,850	343,150	0
6020	下関市立大学生生活協同組合	354,446	531,669	2,811	354,472	43,322,000	1,083,050	1,969,191		1,969,191	1,038,000	52.7%	-931,191	932,000	984,596	53,405	0
6021	山口大学生生活協同組合	1,404,550	2,106,825	11,467	1,446,008	191,138,000	4,778,450	8,331,283		8,331,283	4,224,000	51%	-4,107,283	4,108,000	4,165,642	58,359	0
6022	水産大学校生活協同組合	102,586	153,880	1,002	126,354	18,934,000	473,350	753,584		753,584	667,000	89%	-86,584	87,000	376,792	290,208	0
6023	梅光学院大学生生活協同組合	134,017	201,027	1,465	184,739	34,632,000	865,800	1,251,566		1,251,566	1,411,000	113%	159,434	0	625,783	785,217	0
6024	山口県立大学生生活協同組合	114,617	171,926	1,368	172,508	22,770,000	569,250	913,684		913,684	181,000	20%	-732,684	733,000	456,842	-275,842	276,000
6030	鳥取大学生生活協同組合	963,737	1,445,606	6,613	833,910	111,101,000	2,777,525	5,057,041		5,057,041	4,440,000	88%	-617,041	618,000	2,528,521	1,911,480	0
6040	島根大学生生活協同組合	883,620	1,325,431	7,136	899,862	121,257,000	3,031,425	5,256,718		5,256,718	2,479,000	47%	-2,777,718	2,778,000	2,628,359	-149,359	150,000
6050	香川大学生生活協同組合	1,006,607	1,509,911	7,048	888,765	125,440,500	3,136,013	5,534,689		5,534,689	4,219,000	76%	-1,315,689	1,316,000	2,767,345	1,451,656	0
6051	四国学院生活協同組合	54,769	82,154	1,022	128,876	21,060,000	526,500	737,530		737,530	1,038,000	141%	300,470	0	368,765	669,235	0
6060	松山大学生生活協同組合	934,202	1,401,303	6,336	798,980	115,695,000	2,892,375	5,092,658		5,092,658	5,509,000	108%	416,342	0	2,546,329	2,962,671	0
6061	愛媛大学生生活協同組合	1,800,881	2,701,322	10,520	1,326,589	213,712,000	5,342,800	9,370,711		9,370,711	8,796,000	94%	-574,711	575,000	4,685,356	4,110,645	0
6062	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学生生活協同組合	59,563	89,345	793	99,999	22,865,000	571,625	760,969		760,969	797,000	105%	36,031	0	380,485	416,516	0
6070	徳島大学生生活協同組合	1,125,653	1,688,479	9,878	1,245,632	128,021,000	3,200,525	6,134,636		6,134,636	4,676,000	76%	-1,458,636	1,459,000	3,067,318	1,608,682	0
6080	高知大学生生活協同組合	714,490	1,071,735	6,609	833,406	112,768,000	2,819,200	4,724,341		4,724,341	3,335,000	71%	-1,389,341	1,390,000	2,362,171	972,830	0
6081	高知県公立大学生生活協同組合	378,688	568,032	4,257	536,815	61,856,000	1,546,400	2,651,247		2,651,247	1,692,000	64%	-959,247	960,000	1,325,624	366,377	0
7001	福岡教育大学生生活協同組合	303,222	454,833	2,844	358,633	52,040,000	1,301,000	2,114,466		2,114,466	1,853,000	88%	-261,466	262,000	1,057,233	795,767	0
7002	九州工業大学生生活協同組合	820,094	1,230,141	6,539	824,579	122,351,000	3,058,775	5,113,495		5,113,495	3,799,000	74%	-1,314,495	1,315,000	2,556,748	1,242,253	0
7003	北九州市立大学生生活協同組合	794,950	1,192,426	8,155	1,028,359	122,166,000	3,054,150	5,274,935		5,274,935	3,854,000	73%	-1,420,935	1,421,000	2,637,468	1,216,533	0
7004	福岡女子大学生生活協同組合	87,335	131,003	964	121,562	19,654,000	491,350	743,915		743,915	358,000	48%	-385,915	386,000	371,958	-13,958	14,000
7005	九州大学生生活協同組合	2,652,506	3,978,760	27,887	3,516,596	526,040,600	13,151,015	20,646,371		20,646,371	17,476,000	85%	-3,170,371	3,171,000	10,323,186	7,152,815	0
7006	西南学院大学生生活協同組合	768,242	1,152,363	10,042	1,266,313	46,702,500	1,167,563	3,586,239		3,586,239	5,391,000	150%	1,804,761	0	1,793,120	3,597,881	0
7007	福岡県立大学生生活協同組合	121,054	181,582	1,236	155,862	18,155,800	453,895	791,339		791,339	697,000	88%	-94,339	95,000	395,670	301,331	0
7008	九州国際大学生生活協同組合	63,779	95,669	1,989	250,817	22,110,000	552,750	899,236		899,236	1,707,000	190%	807,764	0	449,618	1,257,382	0
7009	西南女学院大学生生活協同組合	133,551	200,328	1,667	210,212	25,600,000	640,000	1,050,540		1,050,540	1,440,000	137%	389,460	0	525,270	914,730	0
7020	佐賀大学生生活協同組合	676,460	1,014,691	7,692	969,974	138,518,000	3,462,950	5,447,615		5,447,615	5,010,000	92%	-437,615	438,000	2,723,808	2,286,193	0
7030	長崎大学生生活協同組合	1,614,059	2,421,089	16,774	2,115,229	224,074,000	5,601,850	10,138,168		10,138,168	8,523,000	84%	-1,615,168	1,616,000	5,069,084	3,453,916	0
7031	長崎県立大学佐世保校生活協同組合	281,073	421,610	2,593	326,982	43,577,000	1,089,425	1,838,017		1,838,017	858,000	47%	-980,017	981,000	919,009	-61,009	62,000
7032	純心大学生生活協同組合	86,934	130,402	948	119,545	16,625,000	415,625	665,572		665,572	1,090,000	164%	424,428	0	332,786	757,214	0
7033	長崎県立大学シーボルト校生活協同組合	160,190	240,285	1,395	175,912	24,905,000	622,625	1,038,822		1,038,822	1,060,000	102%	21,178	0	519,411	540,589	0
7040	熊本大学生生活協同組合	1,065,811	1,598,718	12,439	1,568,578	195,295,000	4,882,375	8,049,671		8,049,671	8,930,000	111%	880,329	0	4,024,836	4,905,165	0
7041	熊本インターカレッジコープアカデミア	59,633	89,450	2,035	256,617	8,065,000	201,625	547,692		547,692	814,000	149%	266,308	0	273,846	540,154	0
7050	大分大学生生活協同組合	646,601	969,903	6,034	760,898	105,946,000	2,648,650	4,379,451		4,379,451	4,125,000	94%	-254,451	255,000	2,189,726	1,935,275	0
7060	宮崎大学生生活協同組合	862,979	1,294,469	6,713	846,521	115,673,800	2,891,845	5,032,835		5,032,835	4,084,000	81%	-948,835	949,000	2,516,418	1,567,583	0

全国大学生協同組合連合会 2025年度 出資金要請額 算出明細

出資金要請基準額100%との差額 ↓

出資金要請基準額50%との差額 ↓

		組合員出資金全国平均B1		16,814				100超 減資対象数		基準不足対象数		50%以下		85		125		要請会員数		16				
加入 連合会 C/D	加入 経過 年度 組合員 名	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額 (円)	軽加 減入 経過 率	出資金要請 基準額 (円)	連合会出資金 残高 2024/9/末	充 足 率 E/基準	基準額と 残高の差額 (円)	基準不足額 (円)	経過措置 基準額×50% (円)	左記基準額と 残高との差額 (円)	2025年度 増資要請額 (円)							
		2023年度 A (千円)	2023年度 A × 0.15% (円)	2024年9月 B2 (人)	2024年9月 B1 × B2 × 0.75% (円)	2023年度末 C (円)	2023年度末 C × 2.5% (円)											[A]+[B]+[C] (円)	[A]+[B]+[C] × 軽減率 (円)	E (円)	[A]+[B]+[C] - E (円)	千円単位切上げ (円)	X (円)	E - X (円)
		2023年度 A (千円)	2023年度 A × 0.15% (円)	2024年9月 B2 (人)	2024年9月 B1 × B2 × 0.75% (円)	2023年度末 C (円)	2023年度末 C × 2.5% (円)											[A]+[B]+[C] (円)	[A]+[B]+[C] × 軽減率 (円)	E (円)	[A]+[B]+[C] - E (円)	千円単位切上げ (円)	X (円)	E - X (円)
7061	南九州学園生活協同組合	50,722	76,083	1,113	140,352	16,920,000	423,000	639,435		639,435	965,000	151%	325,565	0	319,718	645,283	0							
7070	鹿児島大学生協同組合	1,266,326	1,899,489	14,544	1,834,022	253,758,900	6,343,973	10,077,484		10,077,484	11,236,000	111%	1,158,516	0	5,038,742	6,197,258	0							
7071	鹿児島県立短期大学生協同組合	60,807	91,211	588	74,148	10,078,000	251,950	417,309		417,309	478,000	115%	60,691	0	208,655	269,346	0							
7080	琉球大学生協同組合	587,700	881,550	9,841	1,240,966	93,873,440	2,346,836	4,469,352		4,469,352	5,665,000	127%	1,195,648	0	2,234,676	3,430,324	0							
7081	沖縄大学生協同組合	71,992	107,988	3,118	393,185	28,448,000	711,200	1,212,373		1,212,373	782,000	65%	-430,373	431,000	606,187	175,814	0							
8000	大学生協事業連合										21,000			0	0	21,000	0							
6999	大学生協中国・四国事業連合										189,000			0	0	189,000	0							
9100	日本コープ共済生活協同組合連合会										1,000,000			0	0	1,000,000	0							
											0			0	0	0	0							
	合計	143,731,152	215,596,835	1,574,331	198,525,777	26,470,089,460	661,752,251	1,075,874,863		1,075,679,403	974,614,000	91%	-102,470,863	162,502,000	537,839,702	436,774,299	2,575,000							

4024 豊橋創造大学生協には、大学生協連加入翌年度の軽減措置(出資金基準額の2分の1)が適用されます。

5303 大阪府立大学生協と大阪市立大学生協は、2022年4月1日に合併。大阪公立大学生協となりました。

9000 全国大学生協共済生活協同組合連合会は解散となり、2022年4月加入の日本コープ共済生活協同組合連合会が会員となりました。

大学生協同組合福岡インターカレッジコープは、2023年6月に解散となりました。

滋賀大学大津地区生協と滋賀大学彦根地区生協は、2024年3月1日付けで合併(存続法人は彦根)し、滋賀大学生協同組合となります。合併後の2024年度会費は2生協の合算金額となります。

日本社会事業団生活協同組合は、2023年度末で事業を停止し、2024年9月に解散になりました。